

令和4年度 年報

# 高岡の上下水道



高岡市上下水道局

令和4年度 年報

# 高岡の上下水道

—— 市民とともに  
未来へつなぐ  
信頼の上下水道 ——



# 目 次

## 水 道 事 業

### 第 1 章 沿 革

1 水道事業のあゆみ .....	1
(1) 水道事業のあゆみ .....	1
(2) 旧簡易水道事業（福岡町地区）のあゆみ .....	10
2 水道事業の概要と認可 .....	12
(1) 水道事業の概要と認可 .....	12
(2) 旧簡易水道事業（福岡町地区）の概要と認可 .....	16

### 第 2 章 水道施設整備計画

1 第4次水道施設整備事業の推移 .....	26
------------------------	----

### 第 3 章 水 源

1 水 源 .....	28
(1) 高岡市の水源（令和5年度） .....	28
(2) 富山県西部水道用水供給事業の水源水量（令和5年度） .....	29
(3) 施設別水源水量の推移 .....	30
(4) 富山県西部水道用水供給事業における受水単価の実績 .....	32
(5) 子撫川水源の協定受給水量 .....	33

### 第 4 章 施設 の 概 要

1 施設別概要 .....	35
(1) 佐野取水場 .....	35
(2) 中田配水場 .....	35
(3) 上関浄水場 .....	36
(4) 国吉配水場 .....	36
(5) 伏木配水場 .....	37
(6) 山川配水場 .....	37
(7) 西田配水池 .....	37
(8) 頭川配水池 .....	38
(9) 西広谷配水池 .....	38
(10) 勝木原配水池 .....	38
(11) 西部調圧槽 .....	38
(12) 能町ポンプ場 .....	38
(13) 西田ポンプ場 .....	38
(14) 頭川ポンプ場 .....	39
(15) 山川第一ポンプ場 .....	39
(16) 木津取水場 .....	39
(17) 清水町配水場 .....	39
(18) 福岡浄水場 .....	40
(19) 上向田配水場 .....	40
(20) 五位浄水場 .....	41
(21) 栃丘中継井 .....	42
(22) 栃丘配水池 .....	42
(23) 花尾配水池 .....	42
(24) 小野配水池 .....	42
(25) 沢川浄水場 .....	43

(26) 上叢浄水場 .....	43
(27) 福岡南部浄水場 .....	44
(28) 本庁舎 .....	44
(29) 上関庁舎 .....	44
2 配水池有効容量 .....	45
3 導・送・配水管布設状況 .....	46
(1) 導・送・配水管管種別総延長 .....	46
(2) 導水管延長 .....	46
(3) 送水管延長 .....	46
(4) 配水管延長 .....	47
4 給水管布設件数状況 .....	47
5 震災対策 .....	49
(1) 管路全体の耐震化 .....	49
(2) 基幹管路の耐震化 .....	49
(3) 配水池の耐震化 .....	49
(4) 防災関係の備蓄状況 .....	49
【参考】旧簡易水道事業資料（福岡町地区） .....	50

## 第 5 章 業 務 統 計

1 業 務 .....	51
(1) 業務 .....	51
(2) 人口及び給水栓数 .....	52
(3) 配水分析 .....	52
(4) 一日最大・平均配水量 .....	52
(5) 配水分析フロー図 .....	53
(6) 一日配水量の配水体系 .....	54
(7) 月別配水量の分析（水源別、一日最大、一日最小、一日平均配水量） .....	56
(8) 用途別使用水量・用途別調定件数の推移 .....	57
2 量水器取付状況 .....	58
3 給水工事施工状況 .....	58
4 配水管等の修理状況 .....	58
(1) 年度別修理状況 .....	58
(2) 管区分及び箇所別修理状況 .....	59
5 漏水調査状況 .....	60
(1) 計画漏水調査の推移 .....	60
(2) 年度別漏水調査表 .....	60
(3) 計画漏水調査実施表 .....	61
6 水質検査状況 .....	62
(1) 基準項目の検査回数と設定理由 .....	62
(2) 基準項目の検査結果 .....	63
【参考】水源の水質検査結果 .....	67
(3) 臭気物質検査の結果 .....	69
(4) 毎日検査の結果 .....	70
(5) クリプトスポリジウム指標菌検査の結果 .....	70
(6) クリプトスポリジウム、ジアルジア検査の結果 .....	70
(7) 水質管理目標設定項目の目標値及び検査結果 .....	71
(8) 要検討項目の目標値及び検査結果（佐野水源） .....	73

<b>第 6 章</b>	<b>料 金</b>	
1	水道料金の変せん	74
2	水道料金と加入金	76
	(1) 水道料金表	76
	(2) 加入金	76
3	水道料金収納方法	76
4	用途別水道料金及び使用水量調定内訳	77
<b>第 7 章</b>	<b>財 務</b>	
1	水道事業収益・費用分析グラフ	78
2	損益計算書の推移	79
3	貸借対照表の推移	81
	(1) 資産の部(借方)	81
	(2) 負債及び資本の部(貸方)	83
4	収益的支出(費用構成)の推移	85
5	原価構成	87
	(1) 供給単価・給水原価の推移	87
	(2) 部門別原価構成	87
	(3) 目的別原価構成	88
6	資本的収支の推移	89
7	固定資産明細書	91
	(1) 有形固定資産明細書	91
	(2) 投資明細書	91
8	企業債明細書	93
9	キャッシュ・フロー計算書	95
10	経営分析表	96
	(1) 業務の概況	96
	(2) 収益性	96
	(3) 減価償却の状況	97
	(4) 財務比率	97
	(5) 施設の効率	98
	(6) 生産性	98
	(7) 料金に関する項目	99
	(8) 費用に関する項目	99
<b>第 8 章</b>	<b>組 織</b>	
1	機構図	100
2	職員配置図	101
3	事務分掌	102
<b>第 9 章</b>	<b>経 営 目 標</b>	
1	経営目標と年度別実績	104

# 工業用水道事業

## 第 1 章 沿 革

- 1 工業用水道事業のあゆみ ..... 105
- 2 工業用水道の事業及び工事の概要 ..... 108

## 第 2 章 工業用水道施設整備計画

- 1 第 4 次工業用水道施設整備事業の推移 ..... 110

## 第 3 章 施設の概要

- 1 石瀬ポンプ場 ..... 112
- 2 管布設状況 ..... 112

## 第 4 章 業務統計及び料金

- 1 供給水量及び契約単価 ..... 113
- 2 月別使用料金 ..... 113
- 3 供給水量の推移 ..... 114
- 4 料金の変せん ..... 115
- 5 水質検査状況 ..... 115

## 第 5 章 財 務

- 1 工業用水道事業会計の推移 ..... 116
- 2 貸借対照表の推移 ..... 118
  - (1) 資産の部（借方） ..... 118
  - (2) 負債及び資本の部（貸方） ..... 118
- 3 目的別原価構成 ..... 120
- 4 固定資産明細書 ..... 120
- 5 キャッシュ・フロー計算書 ..... 121
- 6 経営分析 ..... 122

## 第 6 章 経営目標

- 1 経営目標と年度別実績 ..... 123

# 下水道事業

## 第1章 沿革

1	下水道事業のあゆみ	124
2	下水道事業の概要と認可	128
	(1) 単独公共及び単独特定環境保全公共下水道	128
	(2) 流域関連公共下水道(旧高岡市)	130
	(3) 流域関連公共下水道(旧福岡町)	132
3	処理区別下水道計画の概要	133
	(1) 高岡処理区	134
	(2) 伏木処理区	135
	(3) 小矢部川処理区	136
	(4) 神通川左岸処理区	137
	(5) 太田処理区	138
4	流域下水道事業の概要	139
	(1) 小矢部川流域下水道事業の概要	139
	(2) 神通川左岸流域下水道事業の概要	140

## 第2章 下水道施設整備計画

1	下水道施設整備事業の状況(実績)	141
---	------------------	-----

## 第3章 施設の概要

1	施設別概要	143
	(1) 浄化センター	143
	(2) ポンプ場	145
	(3) マンホールポンプ	146
	(4) 農業集落排水施設	148
2	都市下水路	151
3	布設状況	152
	(1) 管渠	152
4	震災対策	152
	(1) 管路の耐震化	152
5	維持管理	153
	(1) 管渠維持管理状況	153
	(2) 浄化センター・地域下水処理場	154
	(3) 農業集落排水処理施設	154

## 第4章 業務統計

1	業務	155
	(1) 業務	155
	(2) 人口及び普及状況	156
	(3) 月別処理水量の分析(処理施設別、一日最大、一日最小、一日平均処理水量)	157
	(4) 用途別使用水量・用途別調定件数の推移	159
	(5) 水洗化促進補助制度・水洗化工事資金利子補給制度	160
	(6) 水洗便所改造資金貸付制度	160
2	下水道の整備状況	161
	(1) 公共下水道の整備状況	161
	(2) 下水道整備事業の概要(令和4年度)	163

3	事業場排水対策	165
	(1) 事業場排水の監視・指導状況	165
	(2) 除害施設設置状況	166
4	水質検査状況	167
	(1) 基準項目の検査回数と適用法令	167
	(2) 基準項目の検査結果	168

## 第 5 章 料 金

1	下水道使用料の变せん	172
2	下水道使用料と受益者負担金	173
	(1) 下水道使用料金表	173
	(2) 受益者負担区の状況	173
3	下水道使用料及び受益者負担金収納状況	174
	(1) 下水道使用料	174
	(2) 受益者負担金	174
4	用途別下水道使用料及び使用水量調定内訳	174

## 第 6 章 財 務

1	下水道事業収益・費用分析グラフ	175
2	損益計算書の推移	176
3	貸借対照表の推移	178
	(1) 資産の部（借方）	178
	(2) 負債及び資本の部（貸方）	180
4	収益的支出（費用構成）の推移	182
5	原価構成（汚水処理費）	184
	(1) 使用料単価・汚水処理原価の推移	184
	(2) 部門別原価構成	184
	(3) 目的別原価構成	185
6	資本的収支の推移	186
7	固定資産明細書	188
	(1) 有形固定資産明細書	188
	(2) 無形固定資産明細書	188
	(3) 投資明細書	188
8	企業債明細書	190
9	キャッシュ・フロー計算書	191
10	経営分析表	192
	(1) 業務の概況	192
	(2) 収益性	192
	(3) 減価償却の状況	193
	(4) 財務比率	193
	(5) 施設の効率	194
	(6) 生産性	194
	(7) 料金に関する項目	195
	(8) 費用に関する項目	195

## 第 7 章 経 営 目 標

1	経営目標と年度別実績	196
---	------------	-----

# 第 1 章

# 沿 革

## 1 水道事業のあゆみ

- (1) 水道事業のあゆみ
- (2) 旧簡易水道事業(福岡町地区)のあゆみ

## 2 水道事業の概要と認可

- (1) 水道事業の概要と認可
- (2) 旧簡易水道事業(福岡町地区)の概要と認可

# 第 1 章 沿 革

## 1. 水道事業のあゆみ

### (1) 水道事業のあゆみ

年 月 日	事 項
昭和	
3. 3. 30	水道敷設案を市議会へ提案し、全会一致をもって可決された。
3. 11. 6	<b>水道布設認可。</b> (計画給水人口 80,000 人、1 人 1 日給水量 111L、昭和 3 年度～昭和 6 年度、総工費 135 万円)
3. 12. 1	水道布設起工式。
4. 1. 1	水道創設工事の実施機関として、市水道部及び水道敷設委員会を設置。
5. 7. 15	主要部工事が完成し、配水池までの仮通水を行う。
6. 6. 22	<b>水道通水式典を挙行し、ここに永年に亘る市民待望の歴史的給水が開始された。</b>
7. 10. 1	水道部を市長事務局に属する水道課として発足。
18. 8.	伏木拡張事業計画を策定。(給水人口 30,000 人 1 人 1 日最大配水量 200L、昭和 18 年～昭和 20 年度、総事業費 85 万円)
19. 2. 2	<b>伏木地区拡張事業(第 1 期拡張事業)認可。</b> (計画給水人口 110,000 人、1 人 1 日最大給水量 200L、1 日最大給水量 22,000 m <sup>3</sup> )
23. 12. 1	市役所機構の改革により部制が採られ、水道部上水課と改まる。
27. 10. 1	<b>地方公営企業法の施行を機に同法の全面適用を受け、市長部局から分離し、高岡市公営企業水道部として発足、従来の官庁会計から企業会計に切り替えた。</b>
28. 6. 5	地方公営企業法適用当時の部課は、部長(管理者)、次長の下に業務、工務の 2 係制であったが、事業の膨張により既設の業務係を業務係と経理係に分離し、3 係とした。
31. 12.	第 2 期拡張事業計画を策定。(総事業費 4 億円、昭和 32 年度～昭和 34 年度)
31. 12. 24	<b>第 2 期拡張事業認可。</b> (計画給水人口 150,000 人、1 人 1 日最大給水量 320L、1 日最大給水量 48,000 m <sup>3</sup> )
32. 1. 15	市役所全体の機構改革に伴い、従前の公営企業水道部を水道局と改め、局に局長、次長を置くほか、4 課 3 業務所を設置し、業務課に庶務と業務の 2 係を、経理課に経理係を、工務課に計画と工事の 2 係を新設。
33. 5. 2	二塚、西広上簡易水道事業認可。(総工事費 500 万円、給水人口 1,050 人)
34. 3. 18	第 2 期拡張事業を変更。(昭和 35 年度までの継続事業、総事業費 4 億 3,600 万円に変更、起債 4 億 1,600 万円、自己資金 2,000 万円)
34. 4. 1	高岡市下水道条例施行規則の改正により、市長から下水道使用料認定徴収事務が委任されて下水道使用料徴収を開始。
35. 3. 15	第 2 期拡張事業を変更。(昭和 36 年度までの継続事業に変更)
35. 4. 1	集金委託実施。
35. 9. 30	大門町への上水道供給契約を締結。
35. 12.	変更認可。(計画給水人口 154,000 人、1 日最大給水量 49,280 m <sup>3</sup> )
36. 3. 15	第 2 期拡張事業を変更。(昭和 38 年度まで 2 か年延長、総事業費 5 億 6,000 万円に変更)
36. 11. 13	通水 30 周年記念式典。
37. 3. 14	第 2 期拡張事業を変更。(総事業費 6 億 1,000 万円に変更)

年 月 日	事 項
昭和	
37. 7. 20	石堤地区簡易水道事業認可。(総工費 666 万円、給水人口 1,030 人)
39. 3. 26	第 2 期拡張事業を変更。(竣工期日の延長及び総事業費 6 億 2,200 万円に変更、起債 5 億 8,900 万円、自己資金 3,300 万円)
39. 10. 1	拡張事業に伴い建設課を新設。
40. 4. 1	料金改定(平均 39.1%値上げ)を実施。 水道料金の口座振替実施。
41. 1.	第 3 期拡張事業計画を策定。(総事業費 7 億 5,000 万円、昭和 41 年度～昭和 45 年度)
41. 2. 24	<b>第 3 期拡張事業認可。</b> (計画給水人口 156,874 人、1 人 1 日最大給水量 463L、1 日最大給水量 72,600 m <sup>3</sup> )
41. 3. 31	富山県営水道用水供給事業と受水協定を締結。
42. 4. 1	電子計算機導入。
42. 5. 30	中田下山田地区の組合営簡易水道に砺波市から受水。
43. 4. 30	庄川水管橋(延長 515m)及び庄川幹線配水管布設工事(口径 600mm～900mm、延長 12,719m)の完成。
43. 6. 15	庄川幹線竣工通水式。
43. 7. 1	<b>富山県と高岡市が水道用水供給契約を締結し、富山県営水道(和田川水系)から浄水を受水。</b>
44. 3. 19	料金改定(平均 36%値上げ)議決、昭和 44 年 4 月 1 日から施行。
44. 5. 1	第 3 期拡張事業を変更。(昭和 47 年度まで 2 か年延長、総事業費 11 億 8,300 万円に変更)
44. 6. 20	中田配水場管理室(鉄筋コンクリート平屋建 133.9 m <sup>2</sup> ) 1 棟完成。
44. 7. 15	中田配水池(容量 6,500 m <sup>3</sup> ) 1 池完成。
45. 11. 5	能町業務所・ポンプ室(鉄筋コンクリート平屋建 2 棟)完成。
46. 8. 23	高岡市水道庁舎起債が認可された。
47. 2. 14	第 3 期拡張事業を変更。(昭和 48 年度まで延長、総事業費 16 億 3,800 万円に変更)
47. 7. 30	中田配水池(容量 6,500 m <sup>3</sup> ) 1 池完成。(工事費 4,175 万円)
48. 3. 29	料金改定(平均 41.9%値上げ)議決、昭和 48 年 4 月 1 日から施行。
48. 4. 1	水道事業の維持管理に万全を期すため、従来の維持管理係を維持係と管理係に分離。
49. 2.	第 4 期拡張事業計画を策定。(総事業費 20 億円、昭和 49 年度～昭和 54 年度)
49. 3. 30	<b>第 4 期拡張事業認可。</b> (計画給水人口 161,826 人、1 人 1 日最大給水量 622L、1 日最大給水量 100,700 m <sup>3</sup> ) 清水町水道公園築造工事。(昭和 49 年 6 月 30 日完成)
49. 3. 31	二塚、石堤地区簡易水道を廃止。
49. 4. 1	中田下山田簡易水道を廃止。
51. 2. 12	伏木庁舎新築工事。(総事業費 1,220 万円、昭和 51 年 5 月 31 日完成)
51. 3.	氷見市との災害対策連絡管を布設。(高岡市太田地内)
51. 3. 31	清水町(一部)、伏木業務所(赤坂地区)を売却。
51. 4. 1	第 4 期拡張事業を変更。(総事業費 36 億円に変更)
51. 5. 10	上関庁舎新築工事。(総工事費 1 億 8,200 万円、昭和 51 年 11 月 13 日完成)
51. 9. 24	料金改定(平均 43.1%値上げ)議決、昭和 51 年 10 月 1 日から施行。 加入金制度の新設議決、昭和 51 年 10 月 1 日から施行。
51. 10. 1	機構改革の実施、4 課 3 業務所 1 管理所から 7 課 2 業務所に変更した。

年 月 日	事 項
昭和	
52. 4. 1	第1次計画漏水調査の実施。(昭和52年度～昭和56年度)
52. 8. 1	集中監視制御システム設備の一部稼働。
52.10. 1	能町業務所の廃止。 隔月検針の実施。(官公署、大口契約者を除く)
52.12.15	上関庁舎量水器修理場の完成。(鉄筋平屋建 146.30 m <sup>2</sup> 、工事費 1,215 万円)
53. 3.24	料金改定(平均19.6%値上げ)議決、昭和53年4月1日から施行。 第4期拡張事業を変更。(総事業費 38 億円に変更)
53. 3.31	小矢部川水管橋工事完成。(口径 900 mm、延長 261.5m、工事費 2 億2,000 万円)
53. 5.	高岡西部無水源地域簡易水道建設事業計画の策定。(総事業費 1 億1,642 万円、昭和53年度～昭和54年度)
54. 3.31	集中監視制御システム導入。(工事費 1 億8,700 万円)
54. 4. 1	<b>富山県西部水道用水供給事業子撫川水源より浄水の受水を開始。</b> 集金制度を廃止、納付制を採用。
54. 5.26	水道50周年記念式典及び国吉配水池、水道つつじ公園、西部簡易水道の完工式。
54. 7.	高岡市頭川無水源地域簡易水道建設事業計画の策定。(総事業費 4,977 万円)
54. 7.25	氷見市細越地区への上水道供給開始。分水契約を締結。
54.10. 1	機構改革の実施、量水器センターを設ける。
55. 4. 1	給水工事の材料を公認業者持ちとする。
55. 4.13	水道局新庁舎竣工式。(地上3階延面積 1,343 m <sup>2</sup> 、工事費 2 億3,299 万円)
55. 4.	高岡南部無水源地域簡易水道建設事業計画の策定。(総事業費 1 億8,391 万円、昭和55年度～昭和56年度)
55. 9.30	伏木配水池及び集中監視制御設備の完成。(工事費 1 億5,742 万円、6,330 万円)
56. 2.	<b>第1次配水施設整備事業計画を策定。</b> (総事業費 20 億円、昭和56年度～昭和60年度) 料金改定(平均26.6%値上げ)議決、昭和56年4月1日から施行。
56. 4. 1	第2次計画漏水調査の実施。(昭和57年度～昭和59年度)
57. 3.	射水上水道企業団との災害対策連絡管を布設。(新湊市川口地内)
57. 6.30	配水制御設備工事完成。(工事費 3 億2,262 万円)
58. 3.	配水管更生事業計画を策定。
58. 9.21	料金改定(平均27.9%値上げ)議決、昭和58年10月1日から施行。
59.12. 1	射水上水道企業団と災害などの相互応援給水に関する覚書を締結。
60. 4. 1	第3次計画漏水調査の実施。(昭和60年度～昭和64年度)
60. 4.24	厚生省企画「おいしい水研究会」による水道水のおいしい都市に選定される。
60. 5.27	水道公園清水町配水塔が厚生省企画の「近代水道百選」に選定される。
61. 3.	<b>第2次配水施設整備事業計画を策定。</b> (総事業費 16 億円、昭和61年度～昭和65年度) 配水管更生事業計画を策定。(総事業費 4 億円、昭和61年度～昭和65年度)
61. 3.28	第4期拡張事業変更認可。(計画給水人口 176,900 人)
62. 4. 1	機構改革の実施により量水器センターを廃止する。
平成	
元. 3.27	消費税導入に伴う、料金改定議決、平成元年4月1日から施行。
元. 5.26	土曜閉庁実施に伴う、修繕工事委託契約を締結。
元. 7. 6	第67回 日本水道協会中部地方支部総会を開催。

年 月 日	事 項
平成	
2. 2. 9	ステンレス給水管を採用。(平成2年度から使用)
2. 4. 1	第4次計画漏水調査の実施。(平成2年度～平成6年度) 配水管工事の資材を請負業者持ちに移行。
3. 3.	<b>第3次配水施設整備事業計画を策定。</b> (総事業費 61億5,000万円、平成3年度～平成7年度)
3. 3. 20	伏木配水池(低区)に緊急遮断弁設置。(工事費 5,253万円)
3. 4. 1	検針業務一部委託。(伏木地区)
3. 6. 1	通水60周年記念式典を開催。
3. 9. 24	料金改定(平均21.5%値上げ)議決、平成3年12月1日から施行。 加入金改定議決、平成4年4月1日から施行。(資本的収入→収益的収入) (金額改定と資本的収入から収益的収入に変更)
4. 4. 1	検針業務一部委託。(野村地区など) 検針ハンディターミナルの導入。 給水設計業務を水道工事指定店に移行。
4. 6. 26	水道モニター制度を採用。
4. 7. 1	水道広報紙「うるおい」を発刊。
4. 12. 21	厚生省水質基準に関する省令の改正、平成5年12月1日から施行。 (水質基準項目26項目から46項目)
5. 4. 1	検針業務全面委託。
5. 6. 1	清水町配水塔資料館開館。
5. 8. 1	財務会計システム本稼働。
6. 4. 1	機構改革の実施により伏木業務所を統合。 3階建て建物への直結給水を開始。
7. 1. 20	阪神・淡路大震災の被災地(西宮市)への応急給水及び応急復旧活動に職員を派遣。 (期間 1月20日～2月28日、水道局職員42名、給水工事指定店職員22名)
7. 3. 27	財高岡市水道サービス公社設立。(平成7年4月1日から業務開始)
7. 4. 1	第5次計画漏水調査の実施。(平成7年度～平成12年度)
7. 12.	自動作図(CAD)設計積算システムを導入。
8. 3.	<b>第4次配水施設整備事業計画を策定。</b> (総事業費 85億5,000万円、平成8年度～平成12年度)
8. 3. 20	新集中監視制御システム設備の完成。(工事費 3億4,093万円)
8. 5.	水の缶詰(高岡銘水物語～おいしい万葉の水)を製作。
8. 11. 15	清水町配水塔資料館が「登録有形文化財」に選定される。(平成8年12月20日登録)
8. 12.	上水道震災対策計画を策定。
9. 2. 21	清水町配水塔資料館旧第3源井上屋、水源地水槽が「登録有形文化財」に選定される。 (平成9年5月7日登録)
9. 3. 26	消費税率改定に伴い料金改定議決、平成9年4月1日から施行。
9. 4. 1	中高層建築物への直結加圧給水を開始。
9. 10. 2	水道つつじ公園が「とやま花の名所」に選定される。
10. 2. 13	中田配水池に緊急遮断弁設置。(工事費 1億1,515万円)

年 月 日	事 項
平成	
10. 3.	高岡市水道施設整備コスト縮減行動計画の策定。
10. 4. 1	水道法の一部改正に伴い、指定給水装置工事事業者制度の施行。 給水設計業務の指定工事事業者への全面移行。 県企業局に水質検査業務の一部を委託。
10. 6.	高岡市給水装置設計施工基準の作成。
10. 9. 1	災害時等による応急活動の協力に関する協定締結。(高岡市管工事業協同組合・市内資材業者4社)
11. 2.	宝来町無水源地域簡易水道建設事業計画の実施。(総事業費 3,397 万円、平成 10 年度～平成 11 年度)
11. 4. 1	組織の見直しにより全課に担当制を導入。(5 課 16 係 2 担当制から 4 課 15 担当制)
11. 4.	2000 年とやま国体にあわせ水の缶詰(高岡の水)をデザイン変更。
11. 7.	J R 高岡駅前に、P R 用水飲み場を設置。
11. 9. 29	料金改定(平均 18.3%値上げ)議決、平成 11 年 12 月 1 日から施行。
11. 10. 12	中田配水場 2 号配水池補修工事完成。(2 か年継続事業費 7,140 万円)
11. 11. 10	水道局庁舎玄関のバリアフリー化工事完成。(工事費 155 万円)
12. 1. 20	能町ポンプ場受変電設備更新工事完成。(工事費 3,150 万円)
12. 4. 1	地方分権一括法による水道法の改正に伴い、高岡市水道局簡易専用水道の適正な維持管理に関する規程の施行。
12. 11.	砺波市との災害対策連絡管を布設。(高岡市戸出行兼地内)
12. 12. 26	氷見市・砺波市と災害などの相互応援給水に関する覚書を締結。
13. 3.	<b>第 5 次配水施設整備事業計画を策定。</b> (総事業費 50 億 7,380 万円、平成 13 年度～平成 17 年度)
13. 4. 1	第 6 次計画漏水調査の実施。(平成 13 年度～平成 17 年度)
13. 4. 25	国吉配水池外装補修工事完成。(2 か年継続事業費 6,357 万円)
13. 4.	通水 70 周年記念としてペットボトル「高岡の水」(500ml)の製造及び記念誌「高岡水道物語」を発刊。
13. 5. 12	水道つつじ公園内に「うるおい水車」の設置除幕式。
13. 6. 1	水道料金システムの更新。
13. 10. 31	上関・国吉配水場塩素注入設備更新工事完成。(工事費 2,888 万円)
13. 11. 15	第 26 回 日本水道協会中部支部研究発表会を開催。
13. 12. 26	「高岡市水道局ホームページ」の開設。
15. 5. 30	厚生労働省水質基準に関する省令の改正、平成 16 年 4 月 1 日から施行。 (水質基準項目 46 項目から 50 項目)
15. 9. 16	高岡市市内 LAN 接続に伴う情報ネットワーク基盤整備事業。(平成 15 年度～平成 17 年度)
15. 11.	水道つつじ公園が「富山さくらの名所」に選定される。
16. 3. 15	能町ポンプ場低圧盤及びポンプ盤更新工事完成。(工事費 3,171 万円)
16. 3. 31	財務会計システムの更新事業。
16. 4. 1	自動作図(CAD)設計積算システムの更新。
16. 4. 30	国吉配水池(PC 鋼棒定着柱)補修工事完成。(工事費 2,173 万円)
16. 8. 25	水道料金コンビニ収納サービス開始。
16. 9. 16	検針用ハンディターミナルの更新。(平成 17 年 4 月 1 日稼働)

年 月 日	事 項
平成	
16. 10. 24	新潟県中越地震の被災地（長岡市）へ応急給水及び漏水調査活動に職員を派遣。 （期間 10月24日～11月2日、職員20名）
16. 12. 14	清水町配水塔資料館外壁補修工事完成。（工事費 1,417万円）
16. 12. 17	庄川水管橋塗装塗替工事完成。（工事費 3,402万円） 伏木3号配水池外面防水塗装塗替工事完成。（工事費 1,207万円）
17. 4. 1	新潟県中越地震の被災地（長岡市）へ災害復旧対策等のため職員を派遣。 （期間 平成17年4月1日～平成18年3月31日、職員2名）
17. 9. 27	「水道ガイドライン」業務指標の算定・公表。
17. 11. 1	<b>高岡市と福岡町が合併し、新「高岡市」誕生。</b> （水道事業・工業用水道事業・簡易水道事業を設置）
18. 2. 24	能町ポンプ場ポンプ室天井部石綿除去工事完成。（工事費 441万円）
18. 3. 15	上関配水場整備工事完成。（工事費 1,097万円）
18. 4. 1	庁内清掃・警備業務の長期契約を締結。
18. 4.	住民アンケート調査の実施。（一般用 2,000世帯対象・結果7月）
18. 5. 18	<b>高岡市水道事業経営委員会を設置。</b> （要綱 18. 3. 1 施行）
19. 1. 15	伏木配水場3号配水地（PCタンク内槽）補修工事完成。（工事費 1,130万円）
19. 3. 15	上関庁舎耐震補強工事完成。（工事費 1,779万円）
19. 3. 16	高新大橋φ300mm鋼管塗装塗替・補修工事完成。（工事費 1,353万円）
19. 3. 31	<b>高岡市水道ビジョンの策定・公表。</b>
19. 3. 22	料金改定（平均 2.47%値下げ）議決、平成19年4月1日から施行。
19. 3. 25	能登半島地震の被災地（輪島市）へ応急給水活動に職員を派遣。 （期間 3月25日～4月6日、職員25名）
19. 7. 10	厚生労働省立入検査。
19. 7. 16	新潟県中越沖地震の被災地（上越市・柏崎市）へ応急給水及び漏水調査活動に職員を派遣。 （期間 7月16日～27日、職員13名）
19. 9. 14	事務事業改善委員会を設置。（要綱 19. 9. 1 施行）
19. 10. 31	本庁舎耐震診断業務委託。（141万円）
19. 12. 14	中田配水場1号配水池外面改修工事完成。（工事費 1,446万円）
19. 12. 14	千保川水管橋塗装塗替・鋼管補修工事完成。（工事費 943万円）
20. 3. 25	料金改定（平均 1.07%値下げ）議決、平成20年4月1日から施行。
20. 4. 1	民間宅地開発に係わる水道管整備の設計積算業務の民間移行。
20. 7. 1	高岡開町400年記念版ペットボトル「高岡の水」を製造。
20. 7. 31	第86回 日本水道協会中部地方支部総会を開催。
20. 12. 19	中田配水場配水池（PCタンク）補修工事完成。（工事費 2,365万円）
21. 1. 15	検針業務委託契約を締結、平成21年4月1日から施行。
21. 2. 26	高岡市管工事業協同組合と公道漏水修理工事委託契約を締結、平成21年4月1日から施行。
21. 3. 31	上関配水場2号配水池耐震補強計画業務委託。（788万円） 高岡市水道事業変更認可〔第4期拡張事業（第2回変更）〕 （給水人口176,900人 → 154,500人、1日最大給水量89,200m <sup>3</sup> → 65,300m <sup>3</sup> ）
21. 9. 12	高岡開町400年記念式典。（高岡市民会館）

年 月 日	事 項
平成	
21. 10. 13	水道料金システム端末パソコン及び検針用ハンディーターミナルの更新。 (平成 22 年 4 月 1 日稼働)
21. 12. 15	伏木高区配水池築造工事完成。(工事費 9,261 万円)
22. 3. 15	伏木配水場電気設備更新工事完成。(工事費 1 億 2,170 万円)
22. 3. 19	基幹施設耐震診断等業務委託。(中田配水池・国吉配水池・伏木 3 号配水池)(1,512 万円)
23. 1. 14	検針業務等委託契約を締結、平成 23 年 4 月 1 日から施行。(検針・開閉栓業務)
23. 3. 12	東日本大震災の被災地(茨城県龍ヶ崎市)へ応急給水活動に職員を派遣。 (期間 3 月 12 日～15 日、職員 4 名)
23. 3. 15	佐野水源紫外線処理施設整備事業の完工。(2 か年継続事業 総事業費 2 億 4,475 万円)
23. 3. 25	東日本大震災の被災地(宮城県石巻市)へ漏水調査及び応急給水活動に職員を派遣。 (期間 3 月 25 日～4 月 21 日、職員 18 名)
23. 3. 31	高岡市管工事業協同組合と水道施設等の協同保守に関する協定を締結、平成 23 年 4 月 1 日から施行。
23. 7. 30	新潟・福島豪雨の被災地(新潟県三条市)へ応急給水活動に職員を派遣。 (期間 7 月 30 日～8 月 2 日、職員 2 名)
23. 10.	通水 80 周年を記念して、パンフレット「高岡の水道施設」を作成。(2,000 部)
24. 1. 1	財高岡市水道サービス公社の解散。
24. 1. 19	高岡市水道料金等徴収業務委託契約を締結、平成 24 年 4 月 1 日から施行。
24. 3. 15	庄川水管橋耐震補強工事完成。(平成 22 年度～23 年度 総工事費 1 億 7,532 万円)
24. 8.	高岡市水道ビジョンの見直し。
24. 10. 10	日本水道協会中部地方支部合同防災訓練の開催。(上関配水場 10 月 10 日～11 日)
24. 11. 5	水道局上関庁舎外壁改修工事完成。(工事費 1,061 万円)
25. 3. 21	上関配水場電気設備更新工事完成。(平成 23 年度～24 年度 総工事費 2 億 2,800 万円)
25. 4. 1	警備業務委託の拡大に伴い職員の休日当番制の廃止。
25. 11. 15	中田配水場 1 号、2 号配水池耐震補強工事完成。(工事費 1,554 万円)
26. 3. 14	公営企業会計システムの更新。
26. 3. 20	料金改定(平均 1.17%値下げ及び消費税率改定)議決、平成 26 年 4 月 1 日から施行。 料金計算の端数処理を 10 円未満切捨てから 1 円未満切捨てに変更。
26. 4. 1	<b>高岡市上下水道事業の組織統合により、『高岡市上下水道局』が発足。</b>
26. 8.	ペットボトル「高岡の水」のラベルデザインを 3 種類に変更。
26. 11. 25	長野県神城断層地震の被災地(白馬村)へ応急給水及び応急復旧活動に職員を派遣。 (期間 11 月 25 日～28 日、職員 4 名)
27. 1. 28	高岡市水道料金等徴収業務委託契約を締結、平成 27 年 4 月 1 日から施行。
27. 1. 30	佐野取水場 取水井・調圧槽補修及び耐震補強工事完成。(工事費 2,950 万円)
27. 3. 16	能町ポンプ場流量調整弁盤更新工事完成。(工事費 7,160 万円)
27. 5. 1	(株)ジェネッツと災害等における応援業務に関する協定を締結、平成 27 年 5 月 1 日から施行。
27. 6. 1	ペットボトル「高岡の水」が 2015 モンドセレクション金賞受賞。
27. 6. 30	上下水道局本庁舎外壁改修工事完成。(工事費 3,414 万円)
28. 3. 15	小矢部川水管橋耐震補強工事完成。(工事費 8,681 万円)
29. 2. 28	国吉配水池に緊急遮断弁設置。(工事費 1 億 2,307 万円)
29. 3. 15	上関配水場集中監視設備更新及び水質自動測定装置 5 箇所設置。(工事費 4 億 3,847 万円) 高岡市水道事業譲受届出。(簡易水道事業との統合手続)

年 月 日	事 項
平成	
29. 3. 31	高岡市上下水道ビジョン（計画期間：平成29年度～平成38年度）の策定・公表。
29. 4. 1	水道事業に簡易水道事業を経営統合。
29. 9. 28	厚生労働省立入検査。
29. 11. 30	中田・上関配水区と福岡南部配水区との緊急時用連絡管を布設。（醍醐須田地内）
30. 1. 10	国吉配水池耐震補強工事完成。（工事費 1億9,422万円）
30. 1. 23	高岡市水道料金等徴収業務委託契約を締結、平成30年4月1日から施行。
30. 1. 30	北陸地方凍結災害の被災地（石川県穴水町）へ応急給水活動に職員を派遣。 （期間 1月30日～2月3日、職員4名）
30. 3. 30	水道料金システムの更新。（平成30年4月1日稼働）
31. 1. 15	伏木配水場3号配水池改修工事完成。（工事費4,997万円）
31. 3. 26	消費税率改定に伴う料金改定が議決、令和元年10月1日施行。
令和	
元. 7. 8	ペットボトル「高岡の水」のラベルデザインを変更。
元. 10. 1	水道法改正により、指定給水装置工事事業者制度に更新制施行。
元. 10. 31	国吉配水池内槽改修工事完成。（工事費6,780万円）
元. 11. 22	上下水道局本庁舎及び上関庁舎照明器具取替工事完成（LED化）。（工事費1,698万円）
元. 12. 23	自動作図（CAD）設計積算システムの更新。
2. 3. 16	中田配水場1号配水池外部改修工事完成。（工事費1,869万円）
2. 7.	新型コロナウイルス感染症の支援策として、水道の基本料金を7月検針分から6カ月分減免。 減免対象：「業務用」及び「浴場営業用」の水道利用者（国や地方公共団体の機関又は施設を除く）
2. 12. 21	高岡市上下水道局料金徴収等包括的業務委託契約を締結、令和3年4月1日から施行。
3. 1. 29	中田配水場2号配水池外部改修工事完成。（工事費2,068万円）
3. 2. 1	射水市・氷見市との災害対策連絡管布設替工事完成。（工事費672万円（相手負担分含む））
3. 2. 25	伏木配水場3号配水池ドーム防水塗装工事完成（工事費625万円）
3. 3. 5	氷見市と災害などの相互応援給水及び維持管理に関する覚書を締結。
3. 3. 15	能町ポンプ場・福岡浄水場第2水源（浸水対策）止水壁等設置工事完成（工事費2,268万円）
3. 3. 26	高岡市地域見守り活動に関する協定を締結（高岡市、高岡市上下水道局、ヴェオリア・ジェネッツ(株)北陸支店）
3. 4. 1	スマートフォン決済による納付サービスの開始。
3. 10. 9	紀ノ川に架かる水管橋（和歌山県和歌山市）崩落に伴い応急給水活動に職員を派遣。 （期間 10月9日～10月12日、職員2名）
3. 11. 24	能町ポンプ場建屋外壁・内壁改修工事完成。（工事費1,349万円）
3. 12. 1	射水市と「水道情報活用システムの共同利用に関する覚書」の取り交わし。
4. 3. 4	千保川水管橋再塗装工事完成。（工事費2,645万円（相手負担分含む））
4. 3. 15	上関浄水場計装機器更新工事完成。（配水池流入調整弁、配水流量計、和田川水系流量計）（工事費6,160万円）
4. 3.	高岡市上下水道ビジョンの見直し。
4. 4. 1	射水市と災害などの相互応援給水及び維持管理に関する覚書を締結。
4. 4. 1	富山県水道用水供給条例の改定（2部料金制への移行）に伴い、富山県西部水道用水供給事業にかかる受水協定の見直し。
4. 4. 1	「Web口座振替受付サービス」を開始。

令和	<p>4. 9. 26 令和4年台風第15号の被災地（静岡県静岡市）へ応急給水活動に職員を派遣。 （期間 9月26日～10月1日、職員6名）</p> <p>4. 12. 9 中田配水場1号配水池内部改修工事完成。（工事費7,566万円）</p> <p>4. 12. 15 国吉配水区（勝木原地区）水質監視装置設置工事完成。（工事費880万円）</p> <p>5. 1. 27 能登地方凍結災害の被災地（石川県七尾市）へ応急給水活動に職員を派遣。 （期間 1月27日～1月29日、職員2名）</p> <p>5. 3. 2 能町ポンプ場流量計取替工事完成。（工事費1,124万円）</p>
----	--

(2) 旧簡易水道事業(福岡町地区)のあゆみ

年 月 日	事 項
昭和	
36. 1. 7	三日市団地簡易水道事業の創設。(計画給水人口 200 人、1 日最大給水量 30 m <sup>3</sup> )
40. 11. 5	西干場住宅簡易水道事業の創設。 (計画給水人口 800 人、1 人 1 日最大給水量 150L、1 日最大給水量 120 m <sup>3</sup> )
	土屋簡易水道事業の変更。(昭和 28 年 3 月 21 日西五位村にて創設) (計画給水人口 150 人、1 人 1 日最大給水量 333L、1 日最大給水量 50 m <sup>3</sup> )
47. 3. 30	大滝団地簡易水道事業の創設。(計画給水人口 300 人、1 日最大給水量 45 m <sup>3</sup> )
50. 4. 1	各簡易水道事業の水道料金を統合。
50. 5. 16	<b>西干場住宅簡易水道事業から、福岡地区簡易水道事業へ名称変更。</b> (計画給水人口 4,890 人、1 人 1 日最大給水量 266L、1 日最大給水量 1,302 m <sup>3</sup> )
50. 8. 1	<b>土屋簡易水道事業から、西部地区簡易水道事業へ名称変更。</b> (計画給水人口 3,700 人、1 人 1 日最大給水量 158L、1 日最大給水量 583 m <sup>3</sup> )
51. 3.	福岡浄水場の完成。
52. 4. 1	西部地区簡易水道から給水開始のため、三日市団地簡易水道事業の廃止。 福岡地区簡易水道から給水開始のため、西干場住宅簡易水道事業の廃止。 西部地区簡易水道から給水開始のため、土屋簡易水道事業の廃止。
54. 3.	上向田配水池の完成。
54. 4. 1	<b>富山県西部水道用水供給事業子撫川水源より浄水の受水を開始。(日量 500 m<sup>3</sup>)</b> 福岡地区簡易水道から給水開始のため、大滝団地簡易水道事業の廃止。
55. 1. 11	<b>北部地区簡易水道事業の創設。</b> (計画給水人口 700 人、1 人 1 日最大給水量 300L、1 日最大給水量 210 m <sup>3</sup> )
55. 4. 1	水道料金の改定。
55. 4. 25	五位浄水場の完成。
56. 6. 15	<b>沢川地区簡易水道事業の創設。</b> (計画給水人口 160 人、1 人 1 日最大給水量 200L、1 日最大給水量 32 m <sup>3</sup> )
57. 4. 1	水道料金の改定。
57. 11.	沢川浄水場の完成。
59. 2. 24	<b>木舟団地簡易水道事業の創設。</b> (計画給水人口 208 人、1 人 1 日最大給水量 200L、1 日最大給水量 41.6 m <sup>3</sup> )
59. 3.	木舟浄水場の完成。
59. 4. 1	水道料金の改定。
62. 4. 1	水道料金の改定。
平成	
元. 4. 1	消費税導入に伴う、水道料金の改定。
2. 10. 23	上叢団地簡易水道事業の創設。 (計画給水人口 315 人、1 人 1 日最大給水量 300L、1 日最大給水量 94.5 m <sup>3</sup> )
3. 5. 1	上叢浄水場の譲渡契約。
7. 10.	一步二歩浄水場の完成。
8. 4. 1	一步二歩団地簡易水道事業の創設。 (計画給水人口 240 人、1 人 1 日最大給水量 250L、1 日最大給水量 60 m <sup>3</sup> )
9. 4. 1	消費税率改定等に伴う、水道料金の改定。

年 月 日	事 項
平成	
10. 3. 31	福岡地区簡易水道事業の変更。 (計画給水人口 4,080 人、1 人 1 日最大給水量 353L、1 日最大給水量 1,440 m <sup>3</sup> )
12. 11. 21	西部地区簡易水道事業の変更。 (計画給水人口 3,900 人、1 人 1 日最大給水量 315L、1 日最大給水量 1,230 m <sup>3</sup> ・子撫川受水量：日量 850 m <sup>3</sup> )
13. 3. 29	上叢団地簡易水道事業から上叢地区簡易水道事業に変更。 (計画給水人口 1,000 人、1 人 1 日最大給水量 315L、1 日最大給水量 315 m <sup>3</sup> )
14. 3.	上向田配水池(新配水池)の完成。
16. 11. 1	南部地区簡易水道事業の創設。(平成 17 年度～平成 25 年度、総事業費 1,938,000 千円) (計画給水人口 4,450 人、1 人 1 日最大給水量 391L、1 日最大給水量 1,740 m <sup>3</sup> )
17. 11. 1	<b>高岡市と福岡町が合併し、新「高岡市」が誕生。</b> 合併を機に地方公営企業法を適用し、企業会計とする。
18. 3.	西部地区・沢川地区簡易水道に水質自動測定装置を設置。(設備費 16,275 千円)
19. 3. 15	北部地区簡易水道に水質自動測定装置を設置。(設備費 7,403 千円)
19. 3. 22	料金改定(平均 2.47%値下げ)議決、平成 19 年 4 月 1 日から施行。
19. 10. 4	沢川地区簡易水道の原水から病原性原虫ジアルジアを検出。
20. 1. 16	沢川地区簡易水道事業変更届け出提出。(浄水処理方法の変更)
20. 3. 25	料金改定(平均 1.07%値下げ)議決、平成 20 年 4 月 1 日から施行。
20. 3. 27	沢川浄水場に T O 式上向性ろ過装置を設置。(設備費 11,214 千円)
20. 12. 22	南部地区簡易水道事業の給水開始式を開催。 平成 20 年 12 月 24 日から併用開始のため、木舟団地簡易水道事業の廃止。
24. 3. 25	南部地区簡易水道から給水開始のため、一步二歩団地簡易水道事業の廃止。
26. 3. 20	料金改定(平均 1.17%値下げ及び消費税率改定)議決、平成 26 年 4 月 1 日から施行。 料金計算の端数処理を 10 円未満切捨てから 1 円未満切捨てに変更。
26. 4. 1	<b>高岡市上下水道事業の組織統合により、『高岡市上下水道局』が発足。</b>
26. 12. 10	南部地区簡易水道と上叢地区簡易水道間に災害対策連絡管を布設。(工事費 12,614 千円)
29. 3. 31	<b>高岡市簡易水道事業の廃止。(平成 29 年 4 月 1 日から水道事業に経営統合)</b>

## 2. 水道事業の概要と認可

### (1) 水道事業の概要と認可

事業名	主なる工事内容
創設	<p>取水井（φ300mm）3井・導水管（φ250mm～φ300mm）1,782m            急速ろ過槽（キャンデー一式）            配水塔29.4m（鉄筋コンクリート造・容量360m<sup>3</sup>）            配水池2池・ベンチュリーメーター（φ50mm）1基            配水ポンプ6台・ディーゼル発電機2基            配水管（φ100mm～φ500mm）40,995m            取・配水ポンプ室・機関室・ろ過室・公舎一式・電気設備一式</p>
伏木地区 拡張事業	<p>取水井（φ300mm）3井・導水管（φ250mm～φ400mm）1,695m            送水ポンプ（45馬力）2台            送水管（φ450mm）4,577m・吸水槽1基            加圧ポンプ（75馬力）2台・伏木低区配水池（容量1,500m<sup>3</sup>）1池            伏木高区配水池1池・配水管（φ75mm～φ450mm）16,608m</p>
第2期 拡張事業	<p>取水井（内径3～5m）4井・調圧槽1基            水中モーターポンプ（40馬力）6台・導水管（φ700mm）4,060m            上関配水池（容量4,500m<sup>3</sup>）2池・吸水井1井            配水ポンプ（75馬力）4台・伏木低区配水池（容量1,500m<sup>3</sup>）1池            送水管（φ400mm）4,300m・配水管（φ100mm～φ700mm）71,490m            ディーゼル発電機（上関500KVA・佐野100KVA）2基            上関配水場及び佐野取水場建築一式・電気設備一式</p>
第3期 拡張事業	<p>庄川水管橋515m・中田配水池（容量6,500m<sup>3</sup>）2池            塩素滅菌機一式・配水管（φ100mm～φ900mm）177,574m            送水管（φ600mm）1,000m・計装設備一式            管理室建築108.54m<sup>2</sup>・配水場用地20,600m<sup>2</sup></p>
第4期 拡張事業	<p>小矢部川水管橋261.5m・国吉配水池（容量6,000m<sup>3</sup>）2槽            伏木低区配水池（容量1,500m<sup>3</sup>）1池            配水管（φ75mm～φ900mm）90,690m            集中監視制御システム設備一式・管理室1棟・配水場等用地42,252m<sup>2</sup></p>
第1次配水施設 整備事業	<p>配水管整備（φ50mm～φ400mm）72,275m            配水制御設備一式</p>
第2次配水施設 整備事業	<p>配水管整備（φ50mm～φ450mm）58,297m            佐野水源地・中田配水池・伏木配水池・能町ポンプ場等の設備改良            伏木配水池緊急遮断弁設置</p>
第3次配水施設 整備事業	<p>配水管整備（φ40mm～φ700mm）213,892m            集中監視制御設備の更新</p>
第4次配水施設 整備事業	<p>配水管整備（φ40mm～φ700mm）131,267m            地震災害対策〈上水道震災対策計画の策定、中田配水池緊急遮断弁設置、基幹施設の耐震診断〉            給水管のステンレス化5,424件</p>
第5次配水施設 整備事業	<p>配水管整備（φ40mm～φ700mm）89,471m            基幹施設の整備〈場内連絡管布設替〉            給水管のステンレス化4,916件</p>

事業費	着手年月	完工年月	認可事項			
			認可年月日	計画給水人口	一人一日最大給水量	一日最大給水量
(円) 計画 1,350,000 変更 1,148,732	昭和 3.12	昭和 6.6	昭和 3.11.6	(人) 80,000	(L) 111	(m <sup>3</sup> ) 8,880
計画 850,000 変更 221,675,000	19.4	31.11	変更 19.2.2	110,000	200	22,000
計画 400,000,000 変更 436,000,000 変更 変更 560,000,000 変更 610,000,000 変更 622,000,000	32.4	35.3 36.3 37.3 39.3 39.10	変更 31.12.24   変更 35.12.27	150,000   154,000	320	48,000   49,280
計画 750,000,000 変更 1,183,000,000 変更 1,638,000,000	41.4	46.3 48.3 49.3	変更 41.2.24	156,874	463	72,600
計画 2,000,000,000 変更 3,600,000,000 変更 3,800,000,000	49.4	55.3 56.3	変更 49.3.30	161,826	622	100,700
計画 2,000,000,000	56.4	61.3				
計画 1,600,000,000	61.4	平成 3.3	変更 61.3.28	176,900	504	89,200
計画 6,150,000,000 実績 9,030,442,893	平成 3.4	8.3				
計画 8,550,000,000 (H9.10事業費の見直し 8,043,000,000) 実績 6,955,624,000	8.4	13.3				
計画 5,073,800,000 実績 5,549,876,000	13.4	18.3				

事業名	主なる工事内容	
配水施設 整備事業	老朽管整備 給水管のステンレス化 管路整備 基幹施設の整備 消火栓整備 未普及地域整備	3,336m 878件 7,634m 〈配水池補修、上関庁舎耐震補強等〉 29件 1,438m
第1次水道施設 整備事業	老朽管の整備 管路の整備 未普及地域の整備 基幹施設の整備 給水管のステンレス化 消火栓の整備  佐野水源紫外線処理 施設整備	15,348m 27,116m 1,435m 〈配水池補修、耐震強化、耐震診断等〉 4,197件  21,000m <sup>3</sup> /日
第2次水道施設 整備事業	老朽管の整備 管路の整備 未普及地域の整備 基幹施設の整備 給水管のステンレス化 消火栓の整備	24,939m 30,915m 2,000m 〈配水池補修、耐震強化、耐震診断等〉 4,897件
第3次水道施設 整備事業	老朽管の整備 基幹管路の整備 管路の整備 未普及地域の整備 基幹施設の整備 給水管のステンレス化 消火栓の整備	16,848m 8,426m 15,777m 1,880m 〈耐震補強、耐震診断等〉 4,391件
第4次水道施設 整備事業	老朽管の整備 基幹管路の整備 管路の整備 未普及地域の整備 基幹施設の整備 給水管のステンレス化 消火栓の整備	21,055m 9,483m 19,515m 2,270m 〈耐震補強、耐震診断等〉 4,656件

事業費	着手年月	完工年月	認可事項			
			認可年月日	計画給水人口	一人一日最大給水量	一日最大給水量
(円) 計画 958,268,000 実績 860,667,000	平成 18. 4	平成 19. 3				
計画 3,460,000,000 実績 3,959,694,000	19. 4	24. 3	変更 21. 3. 31	154,500	423	65,300
計画 6,431,952,000 実績 6,249,953,000	24. 4	29. 3	変更 29. 3. 15	155,400	354	55,050
計画 6,171,766,000 実績 6,207,454,000	29. 4	令和 4. 3				
計画 8,477,650,000	令和 4. 4	令和 9. 3				

(2) 旧簡易水道事業(福岡町地区)の概要と認可

事業名	主なる工事内容
<p>西干場住宅簡易水道事業（創設）</p> <p>（福岡地区簡易水道事業に事業変更）</p>	<p>新設（深井戸 φ100mm×63m）福岡1545番地</p>
<p>大滝団地簡易水道事業（創設）</p> <p>（福岡地区簡易水道事業に統合）</p>	<p>新設（深井戸 φ250mm×50m）大滝288番地</p>
<p>福岡地区簡易水道事業 （変更・西干場住宅簡易水道事業から名称変更） 厚生省国庫補助事業</p> <p>福岡地区簡易水道事業（変更） 厚生労働省国庫補助事業</p> <p>（高岡市水道事業に統合）</p>	<p>区域拡張（深井戸 φ300mm×80m）荒屋敷303番地 （水源施設） 水源さく井 φ300mm×80m 水源ピット 1式 取水ポンプ 1台 滅菌機 2台 滅菌室 1棟 加圧ポンプ 4台 圧力タンク 1基 流量計 1基 流量計ピット 一式 自家発電装置 ディーゼルエンジン 1台 自家発電室 1棟 計装機器 主幹盤、取水ポンプ盤、加圧ポンプ盤、 補機盤、計器盤 一式 （配水管） φ50mm～φ200mm 16,188m （給水施設） φ13mm～φ40mm 780箇所 （消火栓） φ65mm 単口地下式 66基</p> <p>区域拡張 （水源施設） 水源さく井 φ300mm×149.5m 水源ピット 一式 取水場内配管・整備 門柵 取水ポンプ設備 電気設備・計装設備 導水管 φ150mm 267m 塩素滅菌設備 浄水場上屋 増設 場内配管・整備 浄水場門扉・門柵 配水ポンプ設備 電気計装設備 中央監視設備 （配水管） φ50mm～φ200mm 18,799.5m （消火栓） φ65mm 単口地下式 44基</p>

事業費	着工年月	完工年月	認 可 事 項			
			認可年月日	計画給水 人 口	一人一日 最大給水量	一 日 最大給水量
(円) 3,500,000	昭和40.1	昭和40.3	昭和40.11.5	(人) 800	(L) 150	(m <sup>3</sup> ) 120
			(廃止) 昭和52.4.1	【福岡地区簡易水道事業から給水が開始された日】		
3,200,000	昭和46.9	昭和47.3	昭和47.3.30	300	150	45
			(廃止) 昭和54.4.1	【福岡地区簡易水道事業から給水が開始された日】		
205,000,000 281,368,000	昭和50.8	昭和52.3	昭和50.5.16	4,890	266	1,302
分担金 国庫支出金 県支出金 町費 うち起債	42,774,000 58,370,000 22,373,000 157,851,000 152,700,000	昭和50～51				
450,000,000 662,206,000	平成10.4	平成18.3	平成10.3.31	4,080	353	1,440
国庫支出金 県支出金	161,824,000 66,220,000	平成10～17				
			(廃止) 平成29.3.31			

事業名	主なる工事内容
三日市団地簡易水道事業（創設）  （西部地区簡易水道事業に統合）	新設（浅井戸 φ760mm×4.8m）三日市546番地
土屋簡易水道事業（創設）西五位村  土屋簡易水道事業（変更）  （西部地区簡易水道事業に統合）	新設（表流水）土屋  水源変更（浅井戸 φ1,500mm×4.86m）土屋18
西部地区簡易水道事業 （変更・土屋簡易水道事業から名称変更） 厚生省国庫補助事業          西部地区簡易水道事業（変更） 厚生労働省国庫補助事業          （高岡市水道事業に経営統合）	区域拡張（浄水受水）上向田283 （水源施設） 滅菌機 2台 滅菌室 1棟 配水池 2連 1池 流量計 1基 道路築造 計装機器 主幹盤、計器盤 一式 流入管 φ200mm (DIP-K) （配水管）φ50mm～φ300mm 31,719.2m （給水施設）φ13mm～φ40mm 712箇所 （消火栓）φ65mm 単口地下式 85基  水量拡張 配水池増設 流入管 φ150mm (DIP-K) 緊急遮断弁設置 門扉・門柵 計装設備 道路改修

事業費	着工年月	完工年月	認 可 事 項			
			認可年月日	計画給水 人 口	一人一日 最大給水量	一 日 最大給水量
(円) 1,465,000	昭和35.10	昭和36.1	昭和36.1.7	(人) 200	(L) 150	(m <sup>3</sup> ) 30
			(廃止) 昭和52.4.1	【西部地区簡易水道事業から給水が開始された日】		
1,845,000	昭和27.7 昭和39.12	昭和28.3 昭和40.3	昭和28.3.21 昭和40.11.5	150	333	50
			(廃止) 昭和52.4.1	【西部地区簡易水道事業から給水が開始された日】		
334,010,000 450,866,000	昭和50.9	昭和54.3	昭和50.8.1	3,700	158	583
分担金 国庫支出金 県支出金 町費 うち起債	54,386,000 121,300,000 35,790,000 239,390,000 215,400,000	昭和50～53				
49,700,000 66,098,000	平成13.1	平成14.3	平成12.11.21	3,900	315 (協定受給水量850)	1,230
国庫支出金 県支出金	16,100,000 6,440,000	平成12～13				
			(廃止) 平成29.3.31			

事業名	主なる工事内容
<p>北部地区簡易水道事業（創設） 農林水産省国庫補助事業</p> <p>（高岡市水道事業に経営統合）</p>	<p>新設（表流水）五位字堀切214番地・子撫川右岸 （農村総合整備モデル事業・営農飲雑用水供給事業） （水源施設） 取水井 一式 導水管 537m 前処理施設 一式 薬品注入設備 一式 機械設備 一式 自家発電機 ディーゼルエンジン 1台 急速ろ過機 2基 浄水池 1池 浄水場上屋 1棟 配水ポンプ 3台 接合井 1井（栃丘） 配水池 3池（栃丘・花尾・小野） （送配水管）φ50mm～φ150mm 10,314.5m （給水施設）φ13mm～φ40mm 180箇所 （消火栓）φ65mm 単口地下式 30基</p> <p>（水源施設） 電気設備 1式 薬注設備 1式 機械設備 1式</p>
<p>沢川地区簡易水道事業（創設） 厚生省国庫補助事業</p> <p>（高岡市水道事業に経営統合）</p>	<p>新設（伏流水）沢川上山98番地2 （水源施設） 取水井 2井 φ2,000mm×5.5m 取水ポンプ 2台 導水管 209.9m 着水井 1井 急速ろ過機 2基 滅菌機 2台 浄水場上屋 1棟 計装機器 主幹盤 一式 流量計 1基 緊急遮断弁設置 （配水管）φ50mm～φ150mm 2,356.6m （給水施設）φ13mm～φ25mm 47箇所 （消火栓）φ65mm 単口地下式 12基</p> <p>緩速ろ過装置 2台 電気機械設備、場内配管、防護柵、土木工事</p>

事業費	着工年月	完工年月	認 可 事 項				
			認可年月日	計画給水 人 口	一人一日 最大給水量	一 日 最大給水量	
(円) 198,000,000 202,400,000	昭和54.7 (昭和 50.11)	昭和56.3	昭和55.1.11	(人) 700	(L) 300	(m <sup>3</sup> ) 210	
国庫支出金 県支出金	94,000,000 37,600,000	昭和54~55					
町費 分担金 起債	18,800,000 17,100,000 34,900,000						
46,300,000 62,685,000	平成13.1						平成14.3
国庫支出金 県支出金	12,825,000 7,695,000	平成12~13	(廃止) 平成29.3.31				
(円) 72,070,000 69,074,000	昭和56.10	昭和58.3	昭和56.6.15	(人) 160	(L) 200	(m <sup>3</sup> ) 32	
国庫支出金 県支出金 町費 起債	22,074,000 13,244,000 1,456,000 32,300,000	昭和56~57					
19,991,203	平成19.12						平成20.4

事業名	主なる工事内容
<p>上叢団地簡易水道事業（創設） （株高岡地所寄付採納）</p> <p>上叢地区簡易水道事業 （変更・上叢団地簡易水道事業から名称変更） 厚生労働省国庫補助事業</p> <p>（高岡市水道事業に経営統合）</p>	<p>新設 （水源施設） 水源さく井 φ250mm×80m 取水ポンプ 1台 滅菌機 1台 配水ポンプ 2台 浄水場上屋 1棟 圧力タンク 1基 計装機器 主幹盤 一式 流量計 1基 （配水管）φ50mm～φ100mm 1,056.2m （給水施設）φ13mm～φ20mm 67箇所</p> <p>区域拡張 （水源施設） 取水ポンプ設備 塩素滅菌設備 配水池・上屋 増設 場内配管・整備 門扉・門柵 配水ポンプ設備 電気計装設備 中央監視設備 （配水管）φ50mm～φ200mm 6,477.7m （給水施設）φ13mm～φ20mm 79箇所 （消火栓）φ65mm 単口地下式 19基</p>

事業費	着工年月	完工年月	認 可 事 項			
			認可年月日	計画給水 人 口	一人一日 最大給水量	一 日 最大給水量
(円) 43,300,000	平成2.10	平成3.4	平成2.10.23	(人) 315	(L) 300	(m <sup>3</sup> ) 94.5
178,836,000 235,614,000	平成13.4	平成17.3	平成13.3.29	1,000	315	315
国庫支出金 県支出金	76,075,000 22,822,000	平成13~16				
			(廃止) 平成29.3.31			

事業名	主なる工事内容
木舟団地簡易水道事業（創設） （富山県土地開発公社寄付採納）  （南部簡易水道事業に統合）	新設（深井戸 φ200mm×80m）木舟133 （水源施設） 水源さく井 φ200mm×80m 取水ポンプ 1台 滅菌機 1台 配水ポンプ 2台 浄水場上屋 1棟 計装機器 主幹盤 一式 流量計 1基 （配水管）φ50mm～φ100mm 857m （給水施設）φ13mm～φ20mm 48箇所
一歩二歩団地簡易水道事業（創設） （アルスホーム(株)寄付採納）  （南部簡易水道事業に統合）	新設 （水源施設） 水源さく井 φ250mm×30m 取水ポンプ 1台 滅菌機 2台 配水ポンプ 2台 浄水場上屋 1棟 圧力タンク 1基 計装機器 主幹盤 一式 流量計 1基 （配水管）φ50mm～φ100mm 903.5m （給水施設）φ13mm～φ20mm 67箇所
南部地区簡易水道事業（創設） 厚生労働省国庫補助事業  （高岡市水道事業に経営統合）	統合簡水 （水源施設・建設計画） 水源井戸改良 φ250mm×220m 水源ピット 一式 導水管 取水ポンプ設備 浄水場上屋 1棟 取水場内配管・整備 浄水場門扉・門柵 配水池築造 塩素滅菌設備 場内配管・整備 配水ポンプ設備 電気設備・計装設備 可変電設備 非常用発電設備 中央監視設備  （配水管）φ50mm～φ250mm 56,600m （給水施設）φ13mm～φ50mm （消火栓）φ65mm 単口地下式 180基

事業費	着工年月	完工年月	認 可 事 項			
			認可年月日	計画給水 人 口	一人一日 最大給水量	一 日 最大給水量
(円) 22,700,000	昭和59.2	昭和60.3	昭和59.2.24	(人) 208	(L) 200	(m <sup>3</sup> ) 41.6
			(廃止) 平成20.12.24	【南部地区簡易水道事業から給水が開始された日】		
30,442,000	平成7.7	平成7.10	平成8.4.1	240	250	60
			(廃止) 平成20.3.25	【南部地区簡易水道事業から給水が開始された日】		
1,938,000,000	平成17.4	平成28.3	平成16.11.1	4,450	391	1,740
分担金等 国庫支出金 県支出金 起債	33,560,000 645,600,000 96,840,000 1,162,000,000	平成17~28				
			(廃止) 平成29.3.31			

## 第 2 章

# 水道施設整備計画

水道  
施設  
整備  
計画

### 1 第4次水道施設整備事業の推移

## 第 2 章 水道施設整備計画

### 1. 第 4 次水道施設整備事業の推移

年 度		令和 4 年度		令和 5 年度	
		事業量	金額 (千円)	事業量	金額 (千円)
老 朽 管 の 整 備	計 画	4,255 m	269,475	4,200 m	267,600
	実 績	3,986 m	279,554		
基 幹 管 路 の 整 備	計 画	1,560 m	546,055	2,510 m	717,345
	実 績	1,536 m	516,481		
管 路 の 整 備	計 画	3,915 m	407,993	3,900 m	378,700
	実 績	2,327 m	251,950		
未 普 及 地 域 の 整 備	計 画	270 m	33,882	500 m	32,000
	実 績		※ 5,497		
基 幹 施 設 の 整 備	計 画		58,080		95,000
	実 績	616 m	51,725		
給 水 管 の ス テ ン レ ス 化	計 画	936 件	318,054	930 件	297,030
	実 績	779 件	283,665		
消 火 栓 の 整 備	計 画	18 基	12,668	16 基	9,281
	実 績	10 基	6,915		
事 務 費	計 画		63,255		63,625
	実 績		62,882		
計	計 画	10,000 m	1,709,462	11,110 m	1,860,581
	実 績	8,465 m	1,458,669		
財 源	地 方 債	計 画		665,000	732,000
		実 績		539,000	
内 源	そ の 他	計 画		241,408	271,709
		実 績		224,641	
一 般 財 源	計 画		803,054		856,872
	実 績		695,028		
合 計	計 画		1,709,462		1,860,581
	実 績		1,458,669		
累 積 進 捗 率 (%)	計 画		20.2		42.1
	実 績		17.2		

※舗装工事のみ

令和6年度		令和7年度		令和8年度		計	
事業量	金額(千円)	事業量	金額(千円)	事業量	金額(千円)	事業量	金額(千円)
4,200 m	267,600	4,200 m	267,600	4,200 m	267,600	21,055 m	1,339,875
						3,986 m	279,554
2,573 m	513,895	1,375 m	363,615	1,465 m	440,655	9,483 m	2,581,565
						1,536 m	516,481
3,900 m	378,700	3,900 m	378,700	3,900 m	378,700	19,515 m	1,922,793
						2,327 m	251,950
500 m	32,000	500 m	32,000	500 m	32,000	2,270 m	161,882
							5,497
	175,000		249,300		11,000		588,380
							51,725
930 件	297,030	930 件	297,030	930 件	297,030	4,656 件	1,506,174
						779 件	283,665
16 基	9,281	16 基	9,281	16 基	9,281	82 基	49,792
						10 基	6,915
	67,998		65,932		66,379		327,189
							62,882
11,173 m	1,741,504	9,975 m	1,663,458	10,065 m	1,502,645	52,323 m	8,477,650
						8,465 m	1,458,669
	704,000		655,000		548,000		3,304,000
							539,000
	211,233		201,758		225,354		1,151,462
							224,641
	826,271		806,700		729,291		4,022,188
							695,028
	1,741,504		1,663,458		1,502,645		8,477,650
							1,458,669
	62.7		82.3		100.0		

## 第 3 章

# 水 源

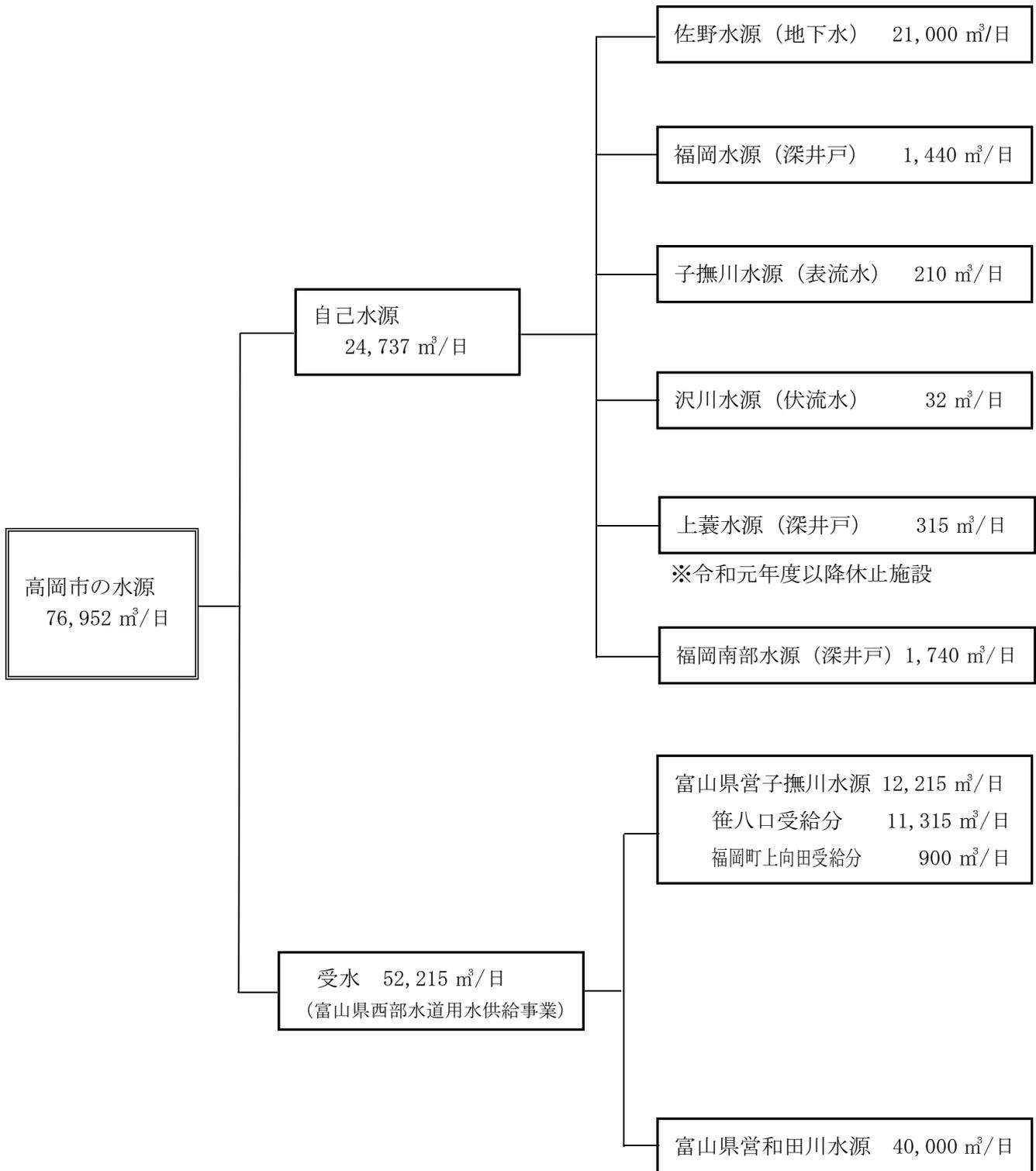
### 1 水 源

- (1) 高岡市の水源（令和 5 年度）
- (2) 富山県西部水道用水供給事業の水源水量（令和 5 年度）
- (3) 施設別水源水量の推移
- (4) 富山県西部水道用水供給事業における受水単価の実績
- (5) 子撫川水源の協定受給水量

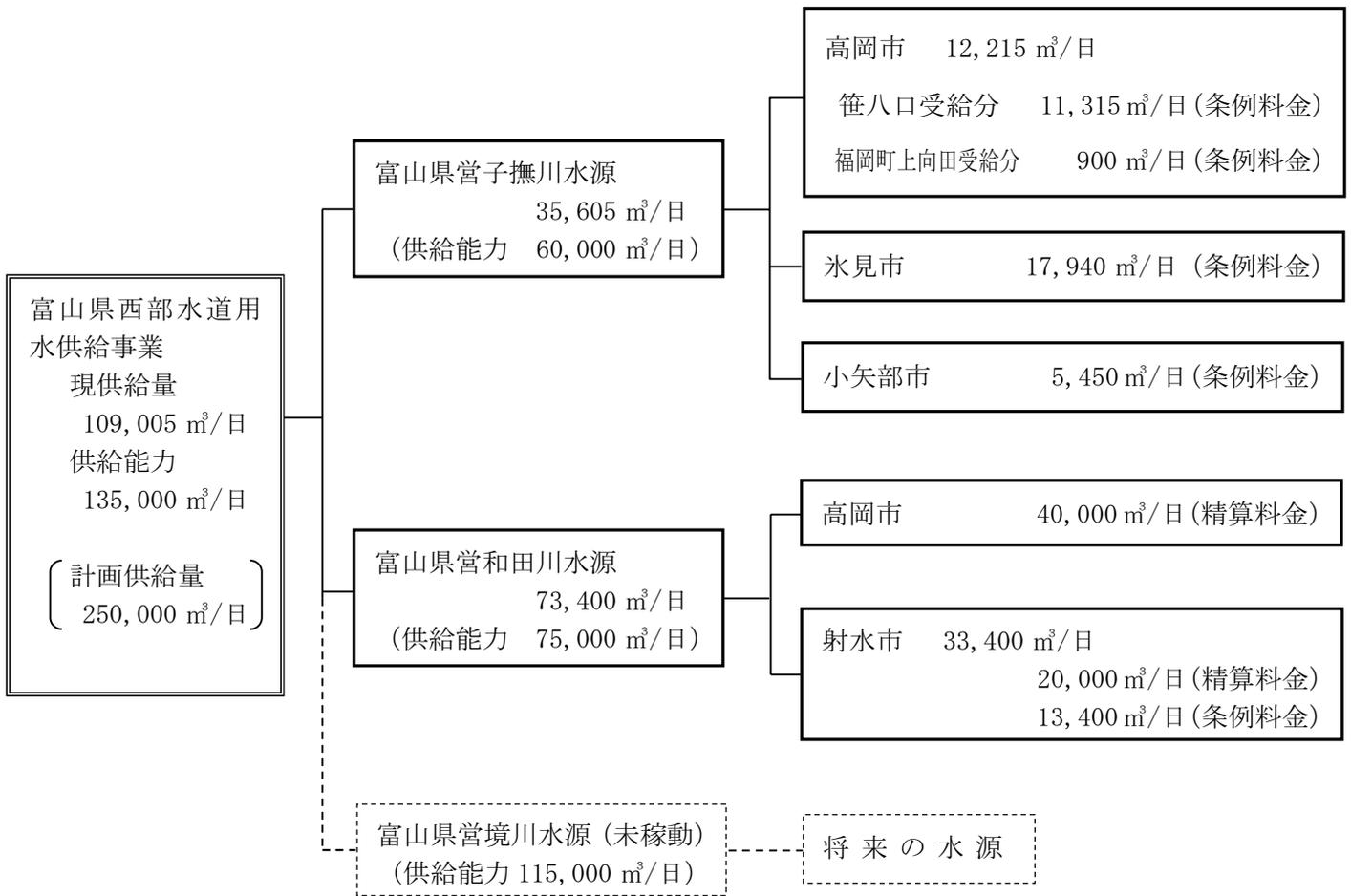
# 第 3 章 水 源

## 1. 水 源

### (1) 高岡市の水源（令和 5 年度）



(2) 富山県西部水道用水供給事業の水源水量（令和5年度）



※各事業体の条例料金の対象水量は、1日最大受水量を記載。

## (3) 施設別水源水量の推移

(単位：m<sup>3</sup>/日)

年 度	自 己 水 源				県 受 水			合 計
	清水町水源	佐野水源	千保川水源	小 計	和田川水源	子撫川水源	小 計	
昭和6年	9,286	—	—	9,286	—	—	—	9,286
16	11,980	—	—	11,980	—	—	—	11,980
22	16,600	—	—	16,600	—	—	—	16,600
24	19,030	—	—	19,030	—	—	—	19,030
29	17,523	—	3,000	20,523	—	—	—	20,523
31	16,671	—	13,000	29,671	—	—	—	29,671
33	13,320	9,020	10,000	32,340	—	—	—	32,340
35	12,720	18,200	5,000	35,920	—	—	—	35,920
37	11,350	34,320	3,000	48,670	—	—	—	48,670
38	10,500	42,460	—	52,960	—	—	—	52,960
41	8,940	40,320	—	49,260	—	—	—	49,260
43	7,600	38,700	—	46,300	13,300	—	13,300	59,600
45	5,700	35,700	—	41,400	26,600	—	26,600	68,000
47	3,300	35,700	—	39,000	40,000	—	40,000	79,000
49	2,300	35,200	—	37,500	40,000	—	40,000	77,500
54	800	35,000	—	35,800	40,000	5,000	45,000	80,800
56	600	34,700	—	35,300	40,000	8,800	48,800	84,100
57	500	34,500	—	35,000	40,000	8,800	48,800	83,800
58	400	34,300	—	34,700	40,000	8,800	48,800	83,500
59	—	34,100	—	34,100	40,000	8,800	48,800	82,900
60	—	34,500	—	34,500	40,000	9,400	49,400	83,900
61	—	34,500	—	34,500	40,000	10,300	50,300	84,800
62	—	34,500	—	34,500	40,000	10,300	50,300	84,800
63	—	34,500	—	34,500	40,000	11,700	51,700	86,200
平成元年	—	34,500	—	34,500	40,000	11,700	51,700	86,200
2	—	34,500	—	34,500	40,000	13,300	53,300	87,800
3	—	34,500	—	34,500	40,000	13,300	53,300	87,800
4	—	34,500	—	34,500	40,000	14,200	54,200	88,700
5	—	34,500	—	34,500	40,000	14,200	54,200	88,700
6	—	24,000	—	24,000	40,000	15,100	55,100	79,100
7	—	24,000	—	24,000	40,000	15,100	55,100	79,100
8	—	24,000	—	24,000	40,000	13,600	53,600	77,600
9	—	24,000	—	24,000	40,000	13,600	53,600	77,600
10	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
11	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
12	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
13	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
14	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
15	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
16	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
17	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
18	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
19	—	24,000	—	24,000	40,000	15,200	55,200	79,200
20	—	24,000	—	24,000	40,000	14,590	54,590	78,590
21	—	24,000	—	24,000	40,000	14,590	54,590	78,590
22	—	21,000	—	21,000	40,000	14,590	54,590	75,590
23	—	21,000	—	21,000	40,000	13,860	53,860	74,860
24	—	21,000	—	21,000	40,000	13,860	53,860	74,860
25	—	21,000	—	21,000	40,000	13,860	53,860	74,860
26	—	21,000	—	21,000	40,000	13,540	53,540	74,540
27	—	21,000	—	21,000	40,000	13,540	53,540	74,540
28	—	21,000	—	21,000	40,000	13,540	53,540	74,540

(単位：m<sup>3</sup>/日)

年 度	自 己 水 源							県 受 水				合 計
	佐野水源	福岡水源	子撫川水源	沢川水源	上叢水源	福岡 南部水源	小 計	和田川水源	子撫川水源		小 計	
									笹八口	福岡町上向田		
平成29年	21,000	1,440	210	32	315	1,740	24,737	40,000	13,540	1,100	54,640	79,377
30	21,000	1,440	210	32	315	1,740	24,737	40,000	12,590	1,100	53,690	78,427
令和元年	21,000	1,440	210	32	315	1,740	24,737	40,000	12,590	1,100	53,690	78,427
2	21,000	1,440	210	32	315	1,740	24,737	40,000	12,590	1,100	53,690	78,427
3	21,000	1,440	210	32	315	1,740	24,737	40,000	11,800	1,000	52,800	77,537
4	21,000	1,440	210	32	315	1,740	24,737	40,000	11,500	1,000	52,500	77,237

(4) 富山県西部水道用水供給事業における受水単価の実績

年 度	和田川水源（精算料金）			子撫川水源（条例料金）		
	協定受水量（m <sup>3</sup> /日）	精算総括費用（円）	精算単価（円）	協定受水量（m <sup>3</sup> /日）	受水費（円）	単価（円）
昭和44年	13,300	51,015,526	10.57	—	—	—
45	26,600	66,879,494	8.04	—	—	—
46	26,600	88,386,361	8.82	—	—	—
47	40,000	102,587,800	8.03	—	—	—
48	40,000	109,874,781	7.54	—	—	—
49	40,000	130,773,474	8.96	—	—	—
50	40,000	143,725,862	9.82	—	—	—
51	40,000	156,694,323	10.73	—	—	—
52	40,000	167,962,854	11.50	—	—	—
53	40,000	172,664,318	11.83	—	—	—
54	40,000	170,144,627	11.62	5,000	73,200,000	40
55	40,000	190,476,172	13.05	5,000	73,000,000	40
56	40,000	199,750,194	13.68	8,800	128,480,000	40
57	40,000	205,339,612	14.06	8,800	160,600,000	50
58	40,000	206,200,397	14.08	8,800	161,040,000	50
59	40,000	218,783,154	14.99	8,800	160,600,000	50
60	40,000	229,343,027	15.70	9,400	205,860,000	60
61	40,000	248,461,314	17.01	10,300	225,570,000	60
62	40,000	245,611,225	16.77	10,300	245,037,000	65
63	40,000	269,338,511	18.45	11,700	277,582,500	65
平成元年	40,000	260,139,149	17.82	11,700	298,935,000	70
2	40,000	289,117,418	19.80	13,300	339,815,000	70
3	40,000	309,468,223	21.14	13,300	365,085,000	75
4	40,000	316,628,676	21.69	14,200	367,441,500	75
5	40,000	325,040,916	22.26	14,200	414,640,000	80
6	40,000	338,060,745	23.15	15,100	389,152,000	80
7	40,000	350,084,026	23.91	15,100	469,761,000	85
8	40,000	365,158,601	25.01	13,600	421,940,000	85
9	40,000	366,043,802	25.07	13,600	446,760,000	90
10	40,000	361,929,727	24.79	15,200	499,320,000	90
11	40,000	400,555,000	27.44	15,200	500,688,000	90
		393,101,901	26.92			
12	40,000	415,996,901	28.49	15,200	499,320,000	90
		388,366,830	26.60			
13	40,000	396,003,928	27.12	15,200	527,060,000	95
		399,136,958	27.34			
14	40,000	405,922,958	27.80	15,200	527,060,000	95
		387,225,437	26.52			
15	40,000	403,467,437	27.63	15,200	528,504,000	95
		412,990,847	28.29			
16	40,000	415,092,847	28.43	15,200	499,320,000	90
		413,320,503	28.31			
17	40,000	421,758,503	28.89	15,200	494,527,500	90
		441,159,398	30.22			
18	40,000	453,072,398	31.03	15,200	471,580,000	85
		407,756,556	27.93			
19	40,000	404,797,556	27.65	15,200	472,872,000	85
		442,692,324	30.24			
20	40,000	425,681,324	29.16	22,100	399,401,250	75
		437,531,955	29.97	14,590		
21	40,000	415,798,000	28.48	22,100	399,401,250	75
		412,698,865	28.27	14,590		
22	40,000	418,790,670	28.68	22,100	399,401,250	75
		401,874,534	27.53	14,590		
23	40,000	404,304,534	27.62	22,100	355,093,200	70
		391,733,113	26.83	13,860		
24	40,000	392,972,113	26.92	22,100	354,123,000	70
		391,136,095	26.79	13,860		
25	40,000	381,189,095	26.11	22,100	354,123,000	70
		394,019,543	26.99	13,860		
26	40,000	353,209,543	24.19	22,100	319,320,300	65
		349,313,987	23.93	13,540		
27	40,000	395,435,987	27.01	22,100	320,190,000	65
		353,136,526	24.12	13,540		
28	40,000	363,681,526	24.91	22,100	319,320,300	65
		384,836,105	26.36	13,540		
29	40,000	375,538,105	25.72	23,100	340,412,800	65
		383,816,338	26.29	14,640		
30	40,000	351,454,338	24.07	23,100	319,988,500	65
		345,724,494	23.68	13,690		
令和元年	40,000	346,397,494	23.66	23,100	320,866,650	65
		353,790,637	24.17	13,690		
2	40,000	373,273,637	25.57	23,100	319,988,500	65
		359,099,592	24.60	13,690		
3	40,000	335,450,592	22.98	23,100	300,789,450	65
		315,611,995	21.62	12,800		
4	40,000	325,037,995	22.26	8,600	278,771,940	60
		—	—	12,500	(20)	

- ※ 子撫川の受水量は、平成20年3月変更分以降から月単位の基本水量（1日最大受水量）が設定された。  
上段が協定水量、下段が基本水量。
- ※ 令和4年度～ 子撫川について基礎水量と1日計画受水量の2部料金制となった。  
受水量：上段 基礎水量（笹八口と福岡町上向田受給分の合計）、下段 月別計画受水量の最大水量を記載  
受水単価：上段 基礎水量単価、下段 計画受水量単価
- ※ 精算総括費用、受水費及び受水単価には消費税相当額を含まず。
- ※ 平成29年度以降の子撫川水源には福岡町上向田受給分を含む。

## (5) 子撫川水源の協定受給水量

## 笹八口受給分

(単位：m<sup>3</sup>/日)

年 度	S54. 4 協定締結	S61. 4 変 更	H3. 4 変 更	H8. 4 変 更	H11. 4 変 更	H14. 3 一部変更	H16. 3 一部変更	H18. 3 一部変更	H20. 3 変 更	H23. 3 変 更	H26. 3 変 更	H30. 3 変 更	R3. 4 変 更	R4. 4 変 更	単価 (円) (超過単価)
S54年	5,000														40
55	5,000														40
56	11,000														40
57	11,000														50
58	11,000														50
59	17,000														50
60	17,000														60
61	17,000	10,300													60
62	24,000	10,300													65
63	24,000	11,700													65
H元年		11,700													70
2		13,300													70
3		13,300	13,300												75
4		15,100	14,200												75
5		15,100	14,200												80
6		17,100	15,100												80
7		17,100	15,100												85
8		19,400	16,600	13,600											85
9		19,400	16,600	13,600											90
10		22,000	18,200	15,200											90
11		22,000	18,200	15,200	15,200										90
12		24,000	20,000	17,000	15,200										90
13			20,000	17,000	15,200										95
14			21,900	18,900	17,000	15,200									95
15			21,900	18,900	17,000	15,200									95
16			24,000	21,000	18,900	18,900	15,200								90
17				21,000	18,900	18,900	15,200								90
18				22,100	21,000	21,000	21,000	15,200							85
19					21,000	21,000	21,000	15,200							85
20					22,100	22,100	22,100	22,100	22,100						75 (150)
21~22									22,100						75 (150)
23~25										22,100					70 (140)
26~29											22,100				65 (130)
30~R 2												22,100			65 (130)
3													22,100		65 (130)
4														8,600	60 (20)
5														11,500	60 (20)
														8,600	60 (20)
														11,315	60 (20)

※ 平成20年3月変更分以降から月単位の基本水量（1日最大受水量）と超過単価が設定された。

受水量：上段 協定水量、下段 基本水量、受水単価：上段 基本単価、下段 超過単価。

※ 平成26～令和3年度の基本水量は、月別基本水量の最大受水量を記載。

※ 令和4年度～ 基礎水量と1日計画受水量の2部料金制となった。

受水量：上段 基礎水量（笹八口と福岡町上向田受給分の合計）、下段 月別計画受水量の最大水量を記載

受水単価：上段 基礎水量単価、下段 計画受水量単価

令和4年度の月別基本水量 (単位：m<sup>3</sup>/日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11,410	11,440	11,410	11,500	11,500	11,440
10月	11月	12月	1月	2月	3月
11,440	11,410	11,500	11,500	11,500	11,507

年間受水量 4,184,097m<sup>3</sup>

福岡町上向田受給分

(単位：m<sup>3</sup>/日)

年 度	S54. 4 協定締結	S61. 4 変 更	H3. 4 変 更	H8. 4 変 更	H11. 4 変 更	H14. 3 一部変更	H16. 3 一部変更	H18. 3 一部変更	H20. 3 変 更	H23. 3 変 更	H26. 3 変 更	H30. 3 変 更	R3. 4 変 更	R4. 4 変 更	単価 (円) (超過単価)
S 54年	500														40
55	500														40
56	600														40
57	600														50
58	600														50
59	700														50
60	700														60
61	700	500													60
62	800	500													65
63	800	500													65
H元年		500													70
2		500													70
3		550	500												75
4		550	520												75
5		550	520												80
6		600	550												80
7		600	550												85
8		600	590	800											85
9		700	590	800											90
10		700	640	850											90
11		700	640	850	850										90
12		800	690	900	850										90
13			690	900	850										95
14			740	950	900	850									95
15			740	950	900	850									95
16			800	1,000	950	950	850								90
17				1,000	950	950	850								90
18				1,000	1,000	1,000	1,000	850							85
19					1,000	1,000	1,000	850							85
20					1,000	1,000	1,000	1,000	1,000						75 (150)
21~22									1,000 850						75 (150)
23~25										1,000 810					70 (140)
26~29											1,000 1,100				65 (130)
30~R 2												1,000 1,100			65 (130)
3													1,000 1,000		65 (130)
4														8,600 1,000	60 (20)
5														8,600 900	60 (20)

※ 平成20年3月変更以降から月単位の基本水量（1日最大受水量）と超過単価が設定された。

受水量：上段－協定水量、下段－基本水量、受水単価：上段－基本単価、下段－超過単価。

※ 平成26～令和3年度の基本水量は、月別基本水量の最大受水量を記載。

※ 令和4年度～ 基礎水量と1日計画受水量の2部料金制となった。

受水量：上段 基礎水量（笹八口と福岡町上向田受給分の合計）、下段 月別計画受水量の最大水量を記載

受水単価：上段 基礎水量単価、下段 計画受水量単価

令和4年度の月別基本水量 (単位：m<sup>3</sup>/日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
900	900	900	900	900	900
10月	11月	12月	1月	2月	3月
900	900	1,000	1,000	1,000	900

年間受水量 337,500m<sup>3</sup>

# 第 4 章

## 施設の概要

### 1 施設別概要

- |             |               |              |
|-------------|---------------|--------------|
| (1) 佐野取水場   | (11) 西部調圧槽    | (21) 栃丘中継井   |
| (2) 中田配水場   | (12) 能町ポンプ場   | (22) 栃丘配水池   |
| (3) 上関浄水場   | (13) 西田ポンプ場   | (23) 花尾配水池   |
| (4) 国吉配水場   | (14) 頭川ポンプ場   | (24) 小野配水池   |
| (5) 伏木配水場   | (15) 山川第一ポンプ場 | (25) 沢川浄水場   |
| (6) 山川配水場   | (16) 木津取水場    | (26) 上蓑浄水場   |
| (7) 西田配水池   | (17) 清水町配水場   | (27) 福岡南部浄水場 |
| (8) 頭川配水池   | (18) 福岡浄水場    | (28) 本庁舎     |
| (9) 西広谷配水池  | (19) 上向田配水場   | (29) 上関庁舎    |
| (10) 勝木原配水池 | (20) 五位浄水場    |              |

### 2 配水池有効容量

### 3 導・送・配水管布設状況

- (1) 導・送・配水管管種別総延長
- (2) 導水管延長
- (3) 送水管延長
- (4) 配水管延長

### 4 給水管布設件数状況

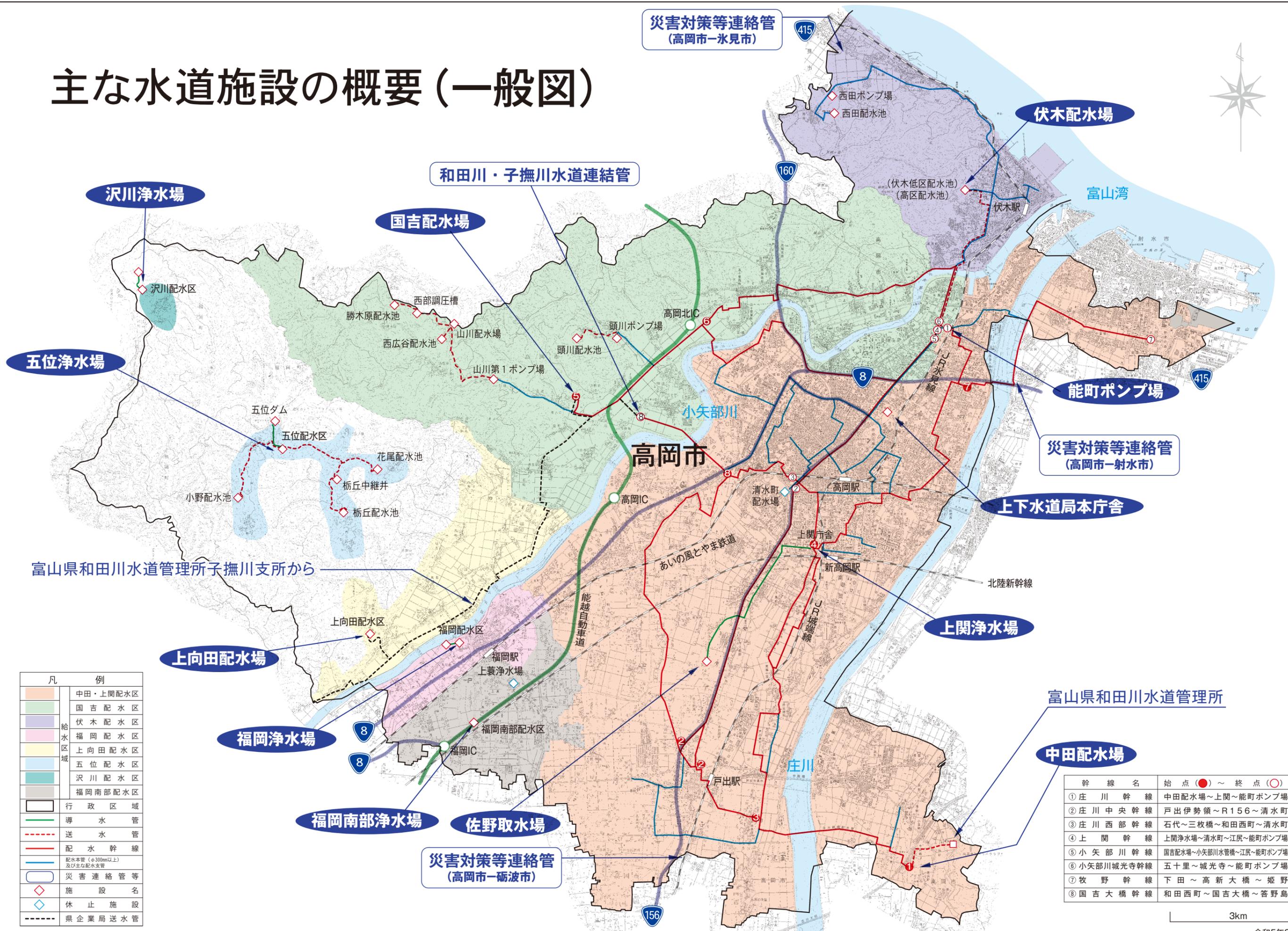
### 5 震災対策

- (1) 管路全体の耐震化
- (2) 基幹管路の耐震化
- (3) 配水池の耐震化
- (4) 防災関係の備蓄状況

【参考】 旧簡易水道事業資料（福岡町地区）

# 主な水道施設の概要 (一般図)

災害対策等連絡管  
(高岡市-氷見市)



富山県和田川水道管理所子撫川支所から

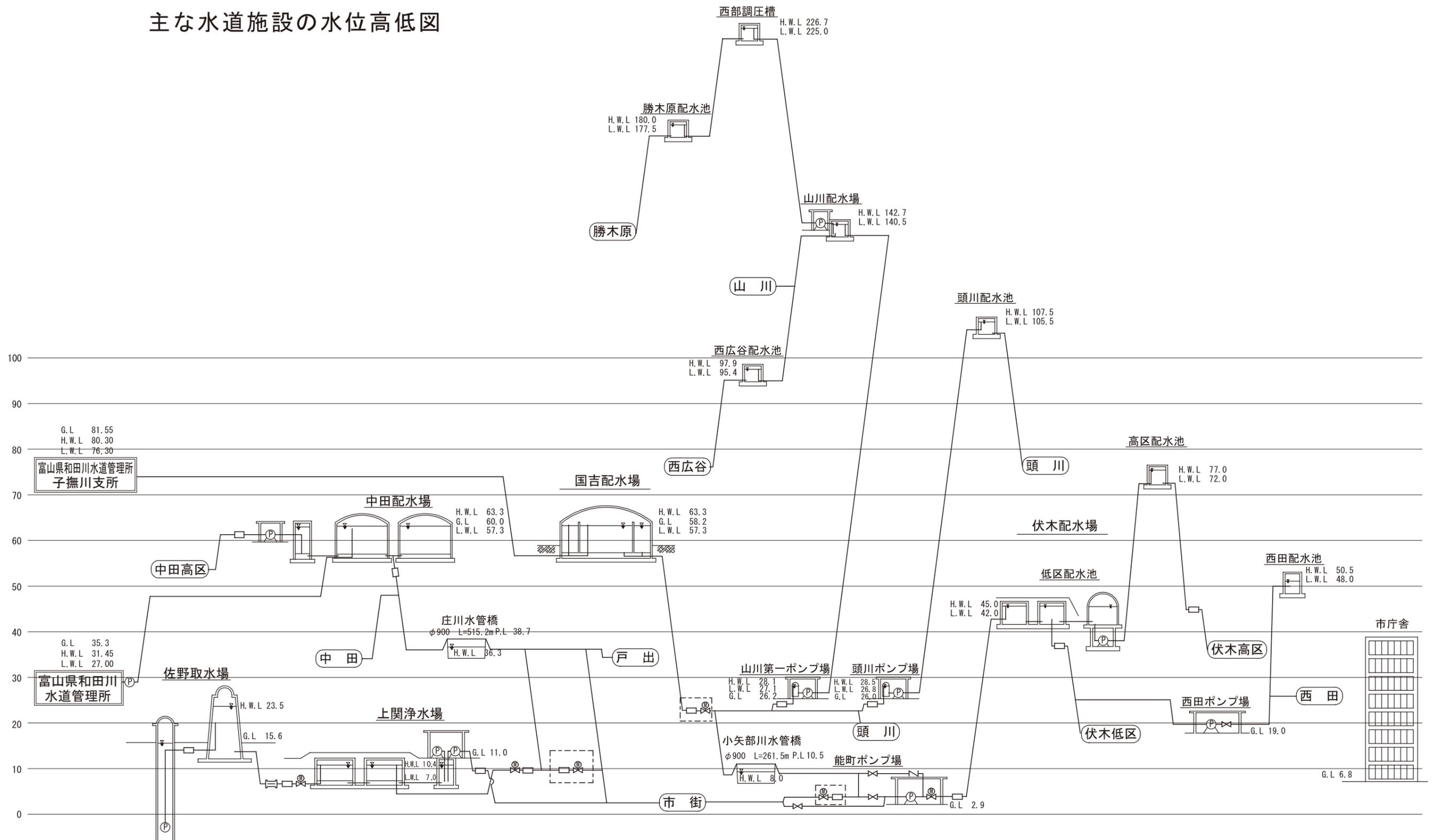
富山県和田川水道管理所

凡	例
[Orange Box]	中田・上関配水区
[Green Box]	国吉配水区
[Purple Box]	伏木配水区
[Pink Box]	福岡配水区
[Yellow Box]	上向田配水区
[Light Blue Box]	五位配水区
[Teal Box]	沢川配水区
[Light Purple Box]	福岡南部配水区
[Black Outline]	行政区域
[Green Line]	導水管
[Red Dashed Line]	送水管
[Red Solid Line]	配水幹線
[Blue Solid Line]	配水本管 (φ300mm以上) 及び主な配水支管
[Blue Outline]	災害連絡管等
[Red Diamond]	施設名
[Blue Diamond]	休止施設
[Black Dashed Line]	県企業局送水管

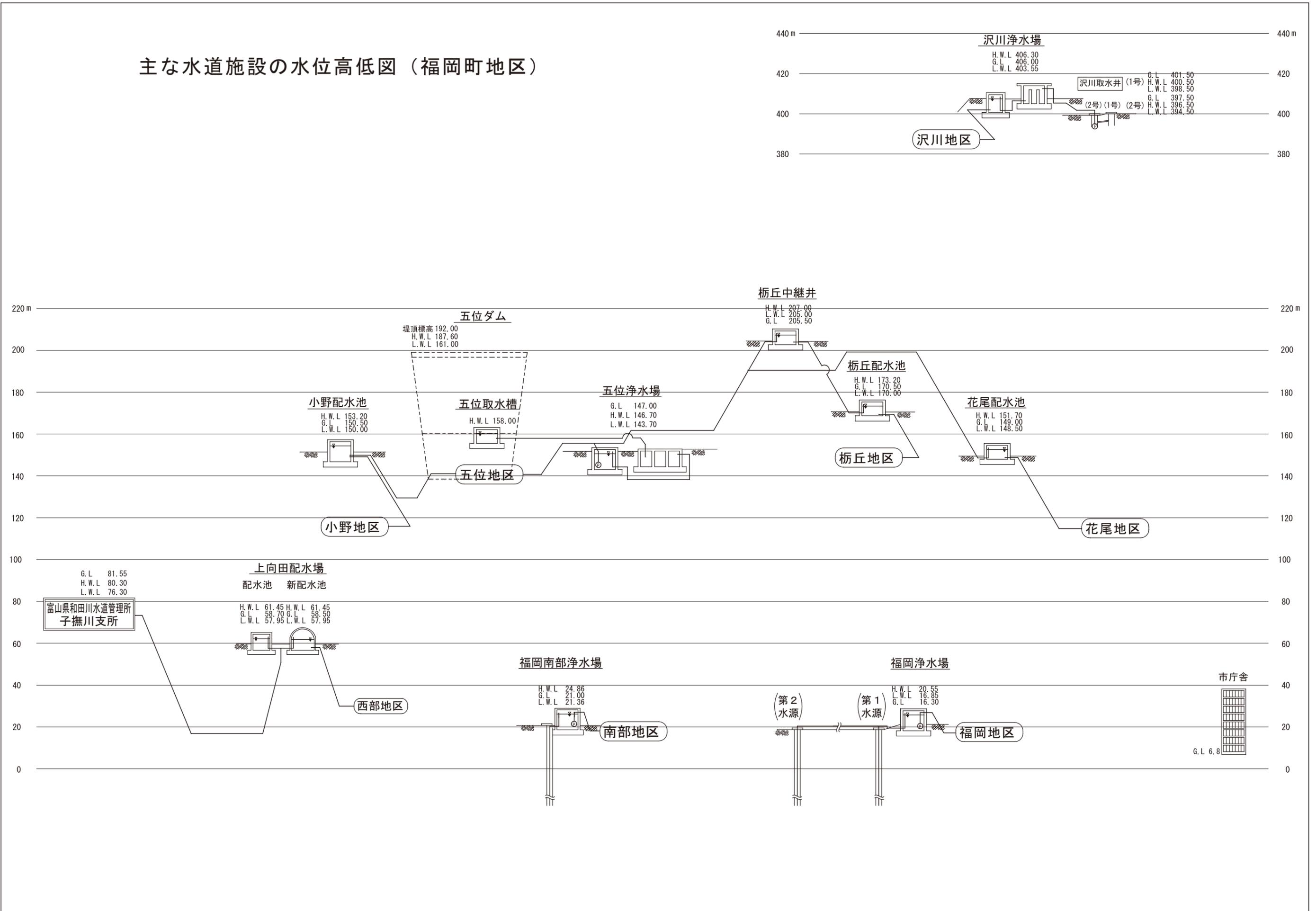
幹線名	始点 (●) ~ 終点 (○)
① 庄川幹線	中田配水場 ~ 上関 ~ 能町ポンプ場
② 庄川中央幹線	戸出伊勢領 ~ R156 ~ 清水町
③ 庄川西部幹線	石代 ~ 三枚橋 ~ 和田西町 ~ 清水町
④ 上関幹線	上関浄水場 ~ 清水町 ~ 江尻 ~ 能町ポンプ場
⑤ 小矢部川幹線	国吉配水場 ~ 小矢部川水管橋 ~ 江尻 ~ 能町ポンプ場
⑥ 小矢部川城光寺幹線	五十里 ~ 城光寺 ~ 能町ポンプ場
⑦ 牧野幹線	下田 ~ 高新大橋 ~ 姫野
⑧ 国吉大橋幹線	和田西町 ~ 国吉大橋 ~ 答野島

3km

# 主な水道施設の水位高低図



# 主な水道施設の水位高低図（福岡町地区）



## 第4章 施設の概要

### 1. 施設別概要

#### (1) 佐野取水場

所在地	西藤平蔵281・282		
敷地面積	11,670㎡		
建設年度	昭和31年～昭和38年		
送水方法	自然流下		
施設 取水井 内径・深度 取水ポンプ能力	2号井 4m×19.4m 150A×3.75 <sup>3</sup> /分 ×20m×22kW×1台 200A×5.5 <sup>3</sup> /分 ×20m×30kW×1台	3号井 3m×19.5m 150A×3.75 <sup>3</sup> /分 ×20m×22kW×1台 200A×4.5 <sup>3</sup> /分 ×20m×30kW×1台	4号井 3m×19.5m  200A×4.5 <sup>3</sup> /分 ×20m×30kW×1台
型式 構造	水中ポンプ 浅井戸鉄筋コンクリート		
調圧槽 内径 有効水深 有効容量	7m 9.9m 381 <sup>3</sup>		
監視計装機器	pH計(0～14) 監視カメラ×2台 取水井流量計(超音波流量計) 水位計(投込み圧力式)4台		

#### (2) 中田配水場

所在地	東保新120		
敷地面積	18,518㎡		
建設年度	昭和43年～昭和47年(第3期拡張)		
配水方法	自然流下(市内)	ポンプ加圧(中田高区)	
施設 配水池 有効容量 構造	内径 37.4m×6m 6,500 <sup>3</sup> ×2池 プレストレストコンクリート HWL63.3m LWL57.3m GL60.0m	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバータ方式配水ポンプ 能力 100A×0.9<sup>3</sup>/分 ×30m×11kW×2台</li> <li>型式 うず巻きポンプ</li> <li>自家発電設備 ディーゼル発電装置 40kVA(AC200V-60Hz)</li> </ul>	
緊急遮断弁	φ900mm油圧式配水用バタフライ弁 1基 φ300mm油圧式配水池連絡用バタフライ弁 1基		
送水管区間 口径 管種 距離	富山県和田川水道管理所から φ600mm ダクタイル鋳鉄管 鋼管 計 954m 13m 967m		
監視計装機器	配水流量計(超音波流量計) 高区配水流量計(電磁流量計φ80mm) 水位計(投込み圧力式)×2台 高区配水圧力計(0～0.5MPa) 水質自動測定装置(濁度・色度・残留塩素)[上牧野] 監視カメラ×2台		

(3) 上関浄水場

所在地	京田188
敷地面積	18,505㎡
建設年度	昭和34年～昭和38年（第2期拡張）
配水方法	ポンプ加圧
施設 配水池 有効容量 構造 配水ポンプ能力 型式 取水調整弁 圧力調整弁 流入調整弁 消毒設備 自家発電設備	34m×39m×3.4m×2池 4,500㎡×2池 HWL10.4m LWL7.0m GL11.0m 鉄筋コンクリート インバータ方式 150A×6㎡/分×35m×55kW×4台 うず巻きポンプ φ350mmバタフライ弁×2基 φ400mmモノバーコントロール弁 φ300mmモノバーコントロール弁 紫外線照射装置（11,000㎡/日）×2台 次亜塩素酸ナトリウム注入装置（120mL/分）×2台 可搬式ディーゼル発電装置（集中監視システム専用） 25kVA（AC200V-60Hz 三相）
導水管区間 口径 管種 距離	佐野取水場から φ700mm φ600mm ダクタイル鋳鉄管 鋼管 耐震継手管 計 112m 34m 4,124m 4,270m
監視計装機器	配水流量計（電磁流量計φ400mm） 和田川水系流量計（電磁流量計φ300mm） 配水池流入流量計（電磁流量計φ150mm） 取水流量計（電磁流量計φ300mm）×2台 残留塩素計（0～2mg/L） 水位計（投込み圧力式） 配水圧力計（0.0～1.0MPa） 圧力調整弁二次圧力計（0.0～1.0MPa） 取水濁度計（0～10度） 圧力調整弁一次圧力計（0.0～1.0MPa）

(4) 国吉配水場

所在地	笹八口字男撲1-2
敷地面積	40,840㎡
建設年度	昭和49年～昭和54年（第4期拡張）
配水方法	自然流下
施設 配水池 有効容量 構造 配水流量調整弁 消毒設備 高架配管	内径 50.6m×6.0m（同心円二重タンク） HWL63.3m LWL57.3m GL58.2m 6,000㎡×2槽 プレストレストコンクリート φ600mmインラインスリーブ弁 次亜塩素酸ナトリウム注入装置（60mL/分）×2台 φ900mm 赤色 配水管 φ450mm 銀色 排水管 φ800mm 青色 送水管（富山県企業局） 延長 150m
緊急遮断弁	φ700mm油圧式配水用バタフライ弁 1基
監視計装機器	配水流量計（電磁流量計φ600mm） 水位計（投込み圧力式）×2台 受水残留塩素計（0～2mg/L） 配水残留塩素計（0～2mg/L） 水質自動測定装置（濁度・色度・残留塩素）〔能町・勝木原〕 監視カメラ×2台

## (5) 伏木配水場

所在地	伏木一宮17			
敷地面積	12,205㎡			
建設年度	昭和26年～昭和36年	昭和54年～昭和55年	平成21年	
配水方法	自然流下			
施設 配水池 有効容量	21.3m×24.9m×3m×2池 1,500㎡×2池 (低区)HWL45.0m LWL42.0m	内径25.5m×3m×1池 1,500㎡×1池 (低区階層式)HWL45.0m LWL42.0m	10.0m×10.0m×5m×2槽 500㎡×2槽 (高区)HWL77.0m LWL72.0m	
送水ポンプ能力	150A×2.0㎡/分×41m ×30kW×2台			
型式 構造 自家発電設備	鉄筋コンクリート	うず巻きポンプ プレストレストコンクリート ディーゼル発電装置 125kVA (AC220V-60Hz)	地上式ステンレス鋼板	
緊急遮断弁	φ450mm重力式配水用 バタフライ弁 2基 φ250mm重力式配水池連絡用 バタフライ弁 2基			
送水管区間 口径 管種 距離	能町ポンプ場から φ300mm 耐震継手管 8m	φ400mm 耐震継手管 1,760m	ダクタイル鋳鉄管 1,618m	鋼管 330m 計 3,716m
監視計装機器	低区配水流量計 (超音波流量計) 水位計 (投込み圧力式) ×3台 配水残留塩素計 (0~2mg/L) 監視カメラ×3台 高区配水流量計 (超音波流量計) 水位計 (圧力式) 水質自動測定装置 (濁度・色度・残留塩素) [太田]			

## (6) 山川配水場

所在地	山川字大窪569-2
敷地面積	223㎡
建設年度	昭和53年～昭和54年
配水方法	自然流下
送水方法	ポンプ加圧
施設 配水池 有効容量	6m×3.2m×2.2m×2槽 42㎡×2槽 HWL142.7m LWL140.5m
構造 送水ポンプ能力	鉄筋コンクリート φ40mm×111L/分×128m ×7.5kW×2台
型式	うず巻きポンプ
送水管区間 口径 管種 距離	山川第一ポンプ場から φ75mm ダクタイル鋳鉄管 ポリエチレン管 計 628m 1,147m 1,775m
監視計装機器	水位計 (投込み圧力式)

## (7) 西田配水池

所在地	太田184
敷地面積	借地
建設年度	昭和34年
配水方法	自然流下
施設 配水池 有効容量	4.0m×4.0m×2.5m×1池 40㎡×1池 HWL50.5m LWL48.0m
構造	鉄筋コンクリート
監視計装機器	水位計 (投込み圧力式)

## (8) 頭川配水池

所在地	頭川字上野3494-2
敷地面積	236㎡
建設年度	昭和54年
配水方法	自然流下
施設 配水池 有効容量 構造	6m×4m×2m×1池 48㎡×1池 HWL107.5m LWL105.5m 鉄筋コンクリート
送水管区 間 口 管 種 種 離	頭川ポンプ場から φ50mm ビニル管 鋼管 計 790m 49m 839m
監視計装機器	水位計（投込み圧力式）

## (10) 勝木原配水池

所在地	勝木原字棚原146
敷地面積	238㎡
建設年度	昭和53年～昭和54年
配水方法	自然流下
施設 配水池 有効容量 構造	6m×3.2m×2.5m×2槽 48㎡×2槽 HWL180.0m LWL177.5m 鉄筋コンクリート
送水管区 間 口 管 種 種 離	西部調圧槽から φ50mm ポリエチレン管 397m
監視計装機器	水位計（投込み圧力式）

## (12) 能町ポンプ場（伏木低区送水ポンプ）

所在地	荻布字前向162-5
敷地面積	849㎡
建設年度	昭和19年～昭和24年 昭和45年（建替）
送水方法	ポンプ加圧
施設 送水ポンプ能力 型式 送水流量調整弁 水系連絡調整弁 消毒設備	φ150mm×4.0m <sup>3</sup> /分×47m ×55kW×3台 うず巻きポンプ φ200mm モノバコントロール弁 φ300mm モノバコントロール弁 次亜塩素酸ナトリウム 注入装置（30mL/分）×2台
監視計装機器	送水流量計（超音波流量計） 水系流量計（電磁流量計φ200mm） 送水残留塩素計（0～2mg/L） 送水圧力計（0.0～1.0MPa） 水系調整弁二次圧力計（0.0～0.6MPa） 能町一次圧力計（0.0～1.0MPa）

## (9) 西広谷配水池

所在地	山川字大窪771-1
敷地面積	290㎡
建設年度	昭和53年～昭和54年
配水方法	自然流下
施設 配水池 有効容量 構造	6m×3.2m×2.5m×2槽 48㎡×2槽 HWL97.9m LWL95.4m 鉄筋コンクリート
監視計装機器	水位計（投込み圧力式）

## (11) 西部調圧槽

所在地	山川字奥割91-2
敷地面積	68㎡
建設年度	昭和53年～昭和54年
配水方法	自然流下
施設 調圧槽 有効容量 構造	3m×2m×1.7m×1槽 10.2㎡×1槽 HWL226.7m LWL225.0m 鉄筋コンクリート
送水管区 間 口 管 種 種 離	山川配水場から φ50mm ポリエチレン管 鋼管 計 661m 410m 1,071m
監視計装機器	水位計（投込み圧力式）

## (13) 西田ポンプ場

所在地	太田243
敷地面積	借地
建設年度	昭和34年 平成元年（建替）
送水及び配水方法	ポンプ加圧（送配水）
施設 送配水ポンプ能力 型式 送水流量調整弁	φ80mm×0.5m <sup>3</sup> /分×43m ×7.5kW×2台 うず巻きポンプ φ75mm コンフロー弁

## (14) 頭川ポンプ場

所在地	頭川字上野1992
敷地面積	155m <sup>2</sup>
建設年度	昭和54年
送水方法	ポンプ加圧
施設 送水ポンプ能力	φ40mm×80L/分×97m ×5.5kW×2台
型式	うず巻きポンプ

## (15) 山川第一ポンプ場

所在地	山川字道所田151
敷地面積	388m <sup>2</sup>
建設年度	昭和53年～昭和54年
送水方法	ポンプ加圧
施設 送水ポンプ能力	φ40mm×200L/分×146m ×11kW×2台
型式 直結送水エンジン	うず巻きポンプ ディーゼルエンジン 26PS 3600rpm
消毒設備	次亜塩素酸ナトリウム 注入装置 (30mL/分) ×1台

## (16) 木津取水場

所在地	木津881	木津555	木津688
敷地面積	555m <sup>2</sup>	343m <sup>2</sup>	379m <sup>2</sup>
建設年度	昭和3年～昭和6年		昭和16年
導水方法	自然流下		
施設 取水井	1号井	2号井	4号井
内径	φ300mm	φ300mm	φ300mm
深度	190m	190m	90m

※ 平成2年度以降休止施設。

## (17) 清水町配水場

所在地	清水町1丁目7-30		
敷地面積	6,321m <sup>2</sup>		
建設年度	昭和3年・昭和24年		
配水方法	ポンプ加圧		
施設 配水池 有効容量 構造	21m×30m×4m×2池 2,500m <sup>3</sup> ×2池 鉄筋コンクリート		
導水管区間	1号井から配水池	2号井から配水池	4号井から2号井
内径	φ300mm	φ250mm	φ250mm
管種	铸铁管	铸铁管	铸铁管
距離	1,024m	428m	330m

※ 平成2年度以降休止施設。

## (18) 福岡浄水場

所在地	福岡町荒屋敷303・304	福岡町荒屋敷308-2 (福岡第2水源)
敷地面積	546m <sup>2</sup>	100m <sup>2</sup>
建設年度	昭和50年～昭和51年	平成11年～平成12年
水源	地下水 (深井戸)	地下水 (深井戸)
取水井	福岡第1水源・1号取水ポンプ	福岡第2水源・2号取水ポンプ
内径・深度	φ300mm×80.0m	φ300mm×149.5m
取水ポンプ能力	100A×1.02m <sup>3</sup> /分 ×25m×11kW×1台	100A×1.20m <sup>3</sup> /分 ×60m×18.5kW×1台
型式	水中うず巻きポンプ	水中うず巻きポンプ
導水管		導水管延長267m (ダクタイル鋳鉄管 φ150mm)
消毒設備	次亜塩素酸ナトリウム注入装置 (22.8mL/分) ×2台	
配水方法	ポンプ加圧	
ポンプ能力	インバータ方式 65A×0.67m <sup>3</sup> /分×40m×7.5kW×4台	
型式	水中うず巻きポンプ	
自家発電設備	ディーゼル発電装置 85kVA (AC200V-60Hz)	
配水池構造	鉄筋コンクリート 13.25m×5.00m×3.70m×2槽 HWL20.55m LWL16.85m GL16.30m	
有効容量	245m <sup>3</sup> ×2槽	
監視計装機器	配水流量計 (電磁流量計 φ150mm) 配水圧力計 (0.0～1.0MPa) 水質自動測定装置 (濁度・色度・残留塩素) [福岡町大野]	配水残留塩素計 (0～1mg/L)

## (19) 上向田配水場

所在地	福岡町上向田吉国200-2外	
敷地面積	4,943m <sup>2</sup>	
建設年度	昭和53年	平成12年～平成13年
水源	浄水受水：富山県和田川水道管理所 子撫川支所	浄水受水：富山県和田川水道管理所 子撫川支所
管理室	上向田配水池 3.25m×3.25m	上向田新配水池
消毒設備	次亜塩素酸ナトリウム注入装置 (22.8mL/分) ×1台	
配水方法	自然流下	
配水池構造	地下埋設鉄筋コンクリート 3.50m×9.00m×3.50m×2槽 HWL61.45m LWL57.95m GL58.70m	プレストレストコンクリート 内径13.50m×3.50m×1池 HWL61.45m LWL57.95m GL58.50m
有効容量	110m <sup>3</sup> ×2槽	500m <sup>3</sup> ×1池
監視計装機器	配水流量計 (電磁流量計 φ150mm) 水質自動測定装置 (濁度・色度・残留塩素・水圧) [福岡町赤丸]	配水残留塩素計 (0～2mg/L)

## (20) 五位浄水場

所在地	福岡町五位堀切181 (五位取水井)	福岡町五位島崎1405外
敷地面積	18㎡	788㎡
建設年度	昭和54年～昭和55年	昭和54年～昭和55年
水源	ダム水 (五位ダム) 五位取水槽	
水利権	*別記	
導水方法	自然流下	
導水管	HWL 158.00m 導水管延長550m (硬質塩化ビニル管 φ100mm)	
浄水施設 流入弁 凝集装置 消毒設備		φ100mm電動開閉機付マディハイバルブ PAC注入装置 (22.8mL/分) ×2台 前次亜塩素酸ナトリウム注入 装置 (22.8mL/分) ×2台
混和池 容量 フラッシュミキサ フロック形成池		1.00m × 1.00m × 2.40m × 1池 2.4m <sup>3</sup> 0.75kW × 1機
容量 フロキュレータ 沈殿池 容量 消毒設備		1.60m × 1.60m × 2.40m × 1池 HWL150.60m GL150.70m 6.1m <sup>3</sup> 0.4kW × 1機 2.30m × 12.70m × 2.00m × 1池 58.4m <sup>3</sup>
ろ過機 処理能力		中後次亜塩素酸ナトリウム注入装置 (22.8mL/分) ×2台 内径1680mm × 3006mm × 2機 462m <sup>3</sup> /日
配水施設 配水方法		ポンプ加圧 (五位・小野方面には、減圧弁設置)
ポンプ能力 型式 自家発電設備		40A × 0.20m <sup>3</sup> /分 × 83m × 7.5kW × 3台 水中うず巻きポンプ ディーゼル発電装置 40kVA (AC200V-60Hz)
配水池構造		地下埋設鉄筋コンクリート 10.00m × 3.70m × 3.00m × 1池 HWL146.70m LWL143.70m GL147.00m
有効容量		111m <sup>3</sup> × 1池
監視計装機器	原水濁度計 (0～100度) 沈澱水残留塩素計 (0～2mg/L) 配水流量計 (電磁流量計 φ75mm) 水質自動測定装置 (濁度・色度・残留塩素) [福岡町小野]	高感度配水濁度計 (0～100度) 配水残留塩素計 (0～2mg/L)

\*別記：子撫川に於いて取得している福岡用水の水利権が五位ダムによる用水供給が開始されるに至る時点で、流水占用の権利を放棄。農林水産大臣が取得している五位ダム取水口の水利権に含まれていることを確認。最大取水量は230m<sup>3</sup>/日

## (21) 栢丘中継井

所在地	福岡町花尾南谷49
敷地面積	6㎡
建設年度	昭和54年～昭和55年
送水方法	自然流下
中継井構造	鉄筋コンクリート (1.50m×1.50m×2.00m) HWL207.00m LWL205.00m GL205.50m
送配水管口径	送水φ100mm 配水φ100mm

## (22) 栢丘配水池

所在地	福岡町栢丘上田2841
敷地面積	281㎡
建設年度	昭和54年～昭和55年
配水方法	自然流下
配水池構造	鉄筋コンクリート 4.75m×3.45m×3.20m×1池 HWL173.20m LWL170.00m GL170.50m
有効容量	52.4㎡×1池
送配水管口径	送水φ100mm 配水φ150mm
監視計装機器	配水流量計(電磁流量計φ100mm)

## (23) 花尾配水池

所在地	福岡町花尾西谷内73
敷地面積	173㎡
建設年度	昭和54年～昭和55年
配水方法	自然流下
配水池構造	鉄筋コンクリート 4.20m×4.20m×3.20m×1池 HWL151.70m LWL148.50m GL149.00m
有効容量	56.4㎡×1池
送配水管口径	送水φ75mm 配水φ100mm
監視計装機器	配水流量計(電磁流量計φ75mm)

## (24) 小野配水池

所在地	福岡町小野後尾1-2
敷地面積	206㎡
建設年度	昭和55年
配水方法	自然流下
配水池構造	鉄筋コンクリート 4.70m×4.70m×3.20m×1池 HWL153.20m LWL150.00m GL150.50m
有効容量	70.6㎡×1池
送配水管口径	送水φ75mm 配水φ100mm
監視計装機器	配水流量計(電磁流量計φ75mm)

## (25) 沢川浄水場

所在地	福岡町沢川上山98-2・98-3 (沢川取水井)	福岡町沢川幕金平等5-10
敷地面積	256㎡	385㎡
建設年度	昭和57年～昭和58年	昭和57年～昭和58年・平成19年
水源	地下水(伏流水)	
取水井	沢川取水井	
内径・深度	沢川水源(ライナープレート・浅井戸) 1号・2号取水ポンプ φ2,000mm×5.5m×2井(1号井・2号井) HWL400.50m LWL398.50m GL401.50m(1号井) HWL396.50m LWL394.50m GL397.50m(2号井)	
取水ポンプ能力	40A×0.27m <sup>3</sup> /分×1.5kW×2台	
型式	水中うず巻きポンプ	
導水管	導水管延長210m(硬質塩化ビニル管φ50)	
浄水施設 着水井 容量 消毒設備		0.80m×3.50m×1.30m×1池 3.6m <sup>3</sup> 次亜塩素酸ナトリウム注入装置 (22.8mL/分)×2台 上向性ろ過方式 緩速ろ過池×2基 31.2m <sup>3</sup> /日
ろ過機 処理能力		
配水方法		自然流下
配水池構造		半地下埋設鉄筋コンクリート 3.44m×3.44m×2.75m×2槽 HWL406.30m LWL403.55m GL406.00m 32.5m <sup>3</sup> ×2槽
有効容量		
監視計装機器		配水流量計(電磁流量計φ100mm) 配水濁度計(0～200度)
	水質自動測定装置(濁度・色度・残留塩素・水圧)[福岡町沢川]	

## (26) 上蓑浄水場

所在地	福岡町上蓑16-39	
敷地面積	124㎡	
建設年度	平成2年～平成3年	平成13年～平成14年
水源	地下水(深井戸)	
取水井	上蓑水源・取水ポンプ	
内径・深度	φ250mm×80.0m	
取水ポンプ能力	80A×0.66m <sup>3</sup> /分×35m×5.5kW×1台	
型式	水中うず巻きポンプ	
消毒設備	次亜塩素酸ナトリウム注入装置(22.8mL/分)×2台	
配水方法	ポンプ加圧	
ポンプ能力	インバータ方式	
型式	65A×0.66m <sup>3</sup> /分×45m×11kW×2台 水中うず巻きポンプ	
配水池構造	鉄筋コンクリート 3.00m×5.00m×2.30m×2槽 HWL18.35m LWL16.05m GL18.20m	鉄筋コンクリート 2.20m×1.10m×2.30m×2槽 HWL18.35m LWL16.05m GL18.20m
有効容量	34.5m <sup>3</sup> ×2槽	5.5m <sup>3</sup> ×2槽
監視計装機器	配水流量計(電磁流量計φ150mm) 配水残留塩素計(0～1mg/L)	配水圧力計(0.0～1.0MPa)

※ 令和元年度以降休止施設。

## (27) 福岡南部浄水場

所在地	福岡町大滝1386
敷地面積	2,058㎡
建設年度	平成20年
水源	地下水（深井戸）
取水井 内径・深度	福岡南部水源・取水ポンプ φ250mm×200.0m
取水ポンプ能力 型式	100A×1.208m <sup>3</sup> /分×16m×7.5kW×1台 水中うず巻きポンプ
消毒設備	次亜塩素酸ナトリウム注入装置（22.8mL/分）×2台
配水方法 ポンプ能力 型式 自家発電設備	ポンプ加圧 インバータ方式 100A×0.807m <sup>3</sup> /分×50m×15kW×2台 うず巻きポンプ ディーゼル発電装置 100kVA（AC200V-60Hz）
配水池構造 有効容量	地上式ステンレス鋼板 5.00m×6.00m×3.50m×2槽 HWL24.86m LWL21.36m GL21.00m 105m <sup>3</sup> ×2槽
監視計装機器	配水流量計（電磁流量計φ150mm） 配水残留塩素計（0～2mg/L） 取水流量計（電磁流量計φ100mm） 配水圧力計（0.0～1.0MPa） 水質自動測定装置（濁度・色度・残留塩素）[福岡町木舟]

## (28) 本庁舎

所在地	広小路7-50
延面積	1,343㎡
建設	昭和55年3月完成
構造	鉄筋コンクリート地上3階

## (29) 上関庁舎

所在地	京田188
延面積	1,083㎡
建設	昭和51年11月完成
構造	鉄筋コンクリート地上3階

## 2. 配水池有効容量

配 水 池 名	有 効 容 量	備 考
中田配水池	6,500m <sup>3</sup> × 2池	13,000 m <sup>3</sup> 耐震性能有 (耐震補強)
上関配水池	4,500m <sup>3</sup> × 2池	9,000 m <sup>3</sup>
国吉配水池	6,000m <sup>3</sup> × 2槽	12,000 m <sup>3</sup> 耐震性能有 (耐震補強)
伏木配水池 (高区)	500m <sup>3</sup> × 2槽	1,000 m <sup>3</sup> 耐震性能有 (更新)
伏木配水池 (低区)	1,500m <sup>3</sup> × 3池	4,500 m <sup>3</sup>
山川配水池	42m <sup>3</sup> × 2槽	84 m <sup>3</sup>
西田配水池	40m <sup>3</sup> × 1池	40 m <sup>3</sup>
頭川配水池	48m <sup>3</sup> × 1池	48 m <sup>3</sup>
西広谷配水池	48m <sup>3</sup> × 2槽	96 m <sup>3</sup>
勝木原配水池	48m <sup>3</sup> × 2槽	96 m <sup>3</sup>
福岡配水池	245m <sup>3</sup> × 2槽	490 m <sup>3</sup>
上向田配水池	110m <sup>3</sup> × 2槽	220 m <sup>3</sup>
上向田新配水池	500m <sup>3</sup> × 1池	500 m <sup>3</sup> 耐震性能有
五位配水池	111m <sup>3</sup> × 1池	111 m <sup>3</sup>
栃丘配水池	52.4m <sup>3</sup> × 1池	52.4 m <sup>3</sup>
花尾配水池	56.4m <sup>3</sup> × 1池	56.4 m <sup>3</sup>
小野配水池	70.6m <sup>3</sup> × 1池	70.6 m <sup>3</sup>
沢川配水池	32.5m <sup>3</sup> × 2槽	65 m <sup>3</sup>
福岡南部配水池	105m <sup>3</sup> × 2槽	210 m <sup>3</sup> 耐震性能有
合 計		41,639.4 m <sup>3</sup>

※下記の配水池は令和元年度より休止。

上蓑配水池	34.5m <sup>3</sup> × 2槽	69 m <sup>3</sup>	
上蓑新配水池	5.5m <sup>3</sup> × 2槽	11 m <sup>3</sup>	
合 計		80 m <sup>3</sup>	

### 3. 導・送・配水管布設状況

#### (1) 導・送・配水管管種別総延長

(単位：m)

管種 \ 種別	導水管	送水管	配水管	計	構成比(%)
耐震継手管	4,170	3,532	261,060	268,762	21.1
ダクタイル鋳鉄管	380	2,293	539,243	541,916	42.7
老朽鋳鉄管	—	—	1,059	1,059	0.1
鋼管	140	461	32,009	32,610	2.6
硬質塩化ビニル管	869	6,193	367,346	374,408	29.5
ポリエチレン管	—	2,228	48,420	50,648	4.0
計	5,559	14,707	1,249,137	1,269,403	100.0

#### (2) 導水管延長

(単位：m)

管種 \ 口径	φ50mm	φ100mm	φ150mm	φ600mm	φ700mm	計	構成比(%)
耐震継手管	—	46	—	4,124	—	4,170	75.1
ダクタイル鋳鉄管	—	—	268	—	112	380	6.8
鋼管	—	74	32	34	—	140	2.5
硬質塩化ビニル管	253	616	—	—	—	869	15.6
計	253	736	300	4,158	112	5,559	100.0

#### (3) 送水管延長

(単位：m)

管種 \ 口径	φ50mm	φ75mm	φ100mm	φ150mm	φ300mm	φ400mm	φ600mm	計	構成比(%)
耐震継手管	—	1,088	—	15	8	2,421	—	3,532	24.1
ダクタイル鋳鉄管	—	—	3	—	—	1,336	954	2,293	15.6
鋼管	409	—	39	—	—	—	13	461	3.1
硬質塩化ビニル管	821	2,235	3,128	9	—	—	—	6,193	42.1
ポリエチレン管	1,081	1,147	—	—	—	—	—	2,228	15.1
計	2,311	4,470	3,170	24	8	3,757	967	14,707	100.0

(4) 配水管延長

管種	口径							
	φ 50mm	φ 75mm	φ 100mm	φ 150mm	φ 200mm	φ 250mm	φ 300mm	φ 350mm
耐震継手管	—	28,644	105,620	68,719	22,522	5,752	10,251	476
ダクタイル鋳鉄管	—	8,162	178,923	215,160	56,846	24,653	16,547	5,721
老朽鋳鉄管	—	—	111	74	459	—	304	—
鋼管	22,710	465	1,193	1,445	1,181	149	2,716	61
硬質塩化ビニル管	311,684	26,359	18,572	8,511	2,220	—	—	—
ポリエチレン管	48,355	37	28	—	—	—	—	—
計	382,749	63,667	304,447	293,909	83,228	30,554	29,818	6,258

※ φ 900mm配水管延長に庄川・小矢部川の水管橋の延長含む。

4. 給水管布設件数状況

(単位：件)

管種	件数	構成比 (%)
鉛管	1,932	2.8
銅管	1,881	2.7
ステンレス管	44,363	64.1
硬質塩化ビニル管	19,963	28.9
鋼管	322	0.5
その他	722	1.0
計	69,183	100.0

(単位：m)

φ 400mm	φ 450mm	φ 500mm	φ 600mm	φ 700mm	φ 800mm	φ 900mm	計	構成比 (%)
4,765	4,945	3,352	5,984	30	—	—	261,060	20.8
14,612	1,974	172	2,587	6,351	1,158	6,377	539,243	43.2
—	—	48	63	—	—	—	1,059	0.1
128	18	24	—	138	—	1,781	32,009	2.6
—	—	—	—	—	—	—	367,346	29.4
—	—	—	—	—	—	—	48,420	3.9
19,505	6,937	3,596	8,634	6,519	1,158	8,158	1,249,137	100.0

## 〈参 考〉

水管橋	庄 川	φ 900mm	L=515.0m	鋼 管	建設年度	昭和43年度
	小矢部川	φ 900mm	L=261.5m	鋼 管	建設年度	昭和52年度

## 5. 震災対策

### (1) 管路全体の耐震化

	令和3年度	令和4年度
管路総延長(再掲)	1,264,944 m	1,269,403 m
耐震化延長	319,899 m	327,130 m
耐震化率	25.3 %	25.8 %

### (2) 基幹管路の耐震化

	令和3年度	令和4年度
基幹管路延長	110,158 m	110,849 m
耐震化延長	43,596 m	44,678 m
耐震化率	39.6 %	40.3 %

※ 基幹管路とは、導水管、送水管、配水本管（φ300mm以上の配水管）を総称したものの。

### (3) 配水池の耐震化

	令和3年度	令和4年度
配水池総有効容量	41,639.4 m <sup>3</sup>	41,639.4 m <sup>3</sup>
耐震化有効容量	26,710 m <sup>3</sup>	26,710 m <sup>3</sup>
耐震化率	64.1 %	64.1 %

※ 中田配水池、伏木高区配水池、国吉配水池、上向田新配水池、福岡南部配水池は耐震化済。

### (4) 防災関係の備蓄状況

(令和5年3月31日現在)

種別	品目	規格・仕様	保有数量	備考
車両	給水車	2m <sup>3</sup>	1台	
	給水タンク積載用トラック		3台	ダンプ2台、平ボディ1台
給水容器	給水タンク	2m <sup>3</sup>	5基	ステンレス製4、アルミ製1
	〃	1.5m <sup>3</sup>	1基	アルミ製1
	〃	1m <sup>3</sup>	5基	アルミ製1、樹脂製4
	仮設水槽	1m <sup>3</sup>	2基	ビニル製2
	飲料水袋	6L	10,600袋	
直管	K形铸铁管	φ600～φ900	3本	
継手類	K形継輪	φ250～φ900	13個	
	K形離脱防止金具	φ250～φ900	25組	
補修用具	補修用クランプ	φ250～φ900	15個	
	フクロジョイント	φ300～φ400	3個	

【参考】 旧簡易水道事業資料（福岡町地区）

(1) 管種別総延長

（令和5年3月31日現在）

（単位：m）

種別 管種	導水管	送水管	配水管	計	構成比 （%）
耐震継手管	46	493	30,535	31,074	22.0
ダクタイル鋳鉄管	268	3	27,279	27,550	19.6
鋼管	106	49	2,782	2,937	2.1
硬質塩化ビニル管	869	5,372	69,132	75,373	53.5
ポリエチレン管	—	—	3,916	3,916	2.8
計	1,289	5,917	133,644	140,850	100.0

(2) 管路口径別総延長

（令和5年3月31日現在）

（単位：m）

口径 管種	φ50mm	φ75mm	φ100mm	φ150mm	φ200mm	φ350mm	計	構成比 （%）
耐震継手管	—	9,731	11,792	8,432	1,119	—	31,074	22.0
ダクタイル鋳鉄管	—	2,999	3,029	16,341	5,181	—	27,550	19.6
鋼管	2,012	203	492	140	68	22	2,937	2.1
硬質塩化ビニル管	28,797	27,022	18,098	1,456	—	—	75,373	53.5
ポリエチレン管	3,879	37	—	—	—	—	3,916	2.8
計	34,688	39,992	33,411	26,369	6,368	22	140,850	100.0

(3) 震災対策

管路全体の耐震化（令和5年3月31日現在）

管路総延長	140,850 m
耐震化延長	35,220 m
耐震化率	25.0 %

基幹管路の耐震化（令和5年3月31日現在）

基幹管路延長	7,228 m
耐震化延長	593 m
耐震化率	8.2 %

※ 基幹管路とは、導水管、送水管、配水本管（φ300mm以上の配水管）を総称したもの。

配水池の耐震化（令和5年3月31日現在）

配水池総有効容量	1775.4 m <sup>3</sup>
耐震化有効容量	710.0 m <sup>3</sup>
耐震化率	40.0 %

※ 上向田新配水池、福岡南部配水池は耐震済。

# 第 5 章

## 業 務 統 計

- 1 業 務
  - (1) 業務
  - (2) 人口及び給水栓数
  - (3) 配水分析
  - (4) 一日最大・平均配水量
  - (5) 配水分析フロー図
  - (6) 一日配水量の配水体系
  - (7) 月別配水量の分析（水源別、一日最大、一日最小、一日平均配水量）
  - (8) 用途別使用水量・用途別調定件数の推移
- 2 量水器取付状況
- 3 給水工事施工状況
- 4 配水管等の修理状況
  - (1) 年度別修理状況
  - (2) 管区分及び箇所別修理状況
- 5 漏水調査状況
  - (1) 計画漏水調査の推移
  - (2) 年度別漏水調査表
  - (3) 計画漏水調査実施表
- 6 水質検査状況
  - (1) 基準項目の検査回数と設定理由
  - (2) 基準項目の検査結果
  - (3) 臭気物質検査の結果
  - (4) 毎日検査の結果
  - (5) クプトスポリジウム指標菌検査の結果
  - (6) クプトスポリジウム、ジアルジア検査の結果
  - (7) 水質管理目標設定項目の目標値及び検査結果
  - (8) 要検討項目の目標値及び検査結果（佐野水源）

## 第 5 章 業 務 統 計

### 1. 業 務

#### (1) 業 務

項 目		年 度		増 減 (△)	
		令 和 4 年 度	令 和 3 年 度		
行政区域内人口 (人)		165,033	166,641	△ 1,608	
総世帯数 (戸)		69,958	69,544	414	
A	給水区域内人口 (人)	165,021	166,630	△ 1,609	
B	給水人口 (人)	149,686	151,057	△ 1,371	
給水栓数 (栓)		68,248	67,797	451	
B/A	普及率 (%)	90.7	90.7	0.0	
C	総配水量 (m <sup>3</sup> )	15,771,796	16,052,817	△ 281,021	
一日最大配水量 (m <sup>3</sup> )		1/27 66,013	12/31 51,536	14,477	
一日最小配水量 (m <sup>3</sup> )		1/1 37,920	9/18 40,653	△ 2,733	
一日平均配水量 (m <sup>3</sup> )		43,210	43,980	△ 770	
D	総有収水量 (m <sup>3</sup> ) (使用水量)	14,468,964	14,665,938	△ 196,974	
用途別 水量	家庭用 (m <sup>3</sup> )	11,017,377	11,171,745	△ 154,368	
	業務用	官公署用 (m <sup>3</sup> )	545,465	556,175	△ 10,710
		営業用 (m <sup>3</sup> )	2,167,275	2,170,340	△ 3,065
		工場用 (m <sup>3</sup> )	704,575	729,664	△ 25,089
		業務用計 (m <sup>3</sup> )	3,417,315	3,456,179	△ 38,864
	浴場営業用 (m <sup>3</sup> )	2,541	8,895	△ 6,354	
	臨時使用 (m <sup>3</sup> )	371	0	371	
	船舶給水栓 (m <sup>3</sup> )	13,657	11,377	2,280	
	分水 (m <sup>3</sup> )	17,703	17,742	△ 39	
	D/C	有収率 (%)	91.7	91.4	0.3
配水能力 (m <sup>3</sup> /日)		77,237	77,537	△ 300	
消火栓 (基)		4,915	4,906	9	

※給水区域内人口とは厚生労働大臣の認可をうけ給水を行っている区域内の人口。  
(市外へ給水している人口を含み、市外から給水を行っている人口を除く)

## (2) 人口及び給水柱数

\*各年度3月末現在

年 度	給水区域内人口 (人)	総世帯数 (戸)	給水柱数 (柱)	給水人口 (人)	普及率 (%)
平成30年度	171,149	68,575	66,458	155,013	90.6
令和元年度	169,515	68,925	66,888	153,583	90.6
令和2年度	168,384	69,565	67,247	152,606	90.6
令和3年度	166,630	69,544	67,797	151,057	90.7
令和4年度	165,021	69,958	68,248	149,686	90.7

## (3) 配水分析

年度	総配水量	有効水量						無効水量	
		有収水量		無収水量		計		漏水・その他	
	(m <sup>3</sup> )	(m <sup>3</sup> )	(%)	(m <sup>3</sup> )	(%)	(m <sup>3</sup> )	(%)	(m <sup>3</sup> )	(%)
H30	16,330,530	14,732,162	90.2	684,760	4.2	15,416,922	94.4	913,608	5.6
R元	16,135,837	14,538,882	90.1	645,053	4.0	15,183,935	94.1	951,902	5.9
2	16,552,577	14,838,759	89.6	718,101	4.3	15,556,860	94.0	995,717	6.0
3	16,052,817	14,665,938	91.4	672,428	4.1	15,338,366	95.5	714,451	4.5
4	15,771,796	14,468,964	91.7	752,369	4.8	15,221,333	96.5	550,463	3.5

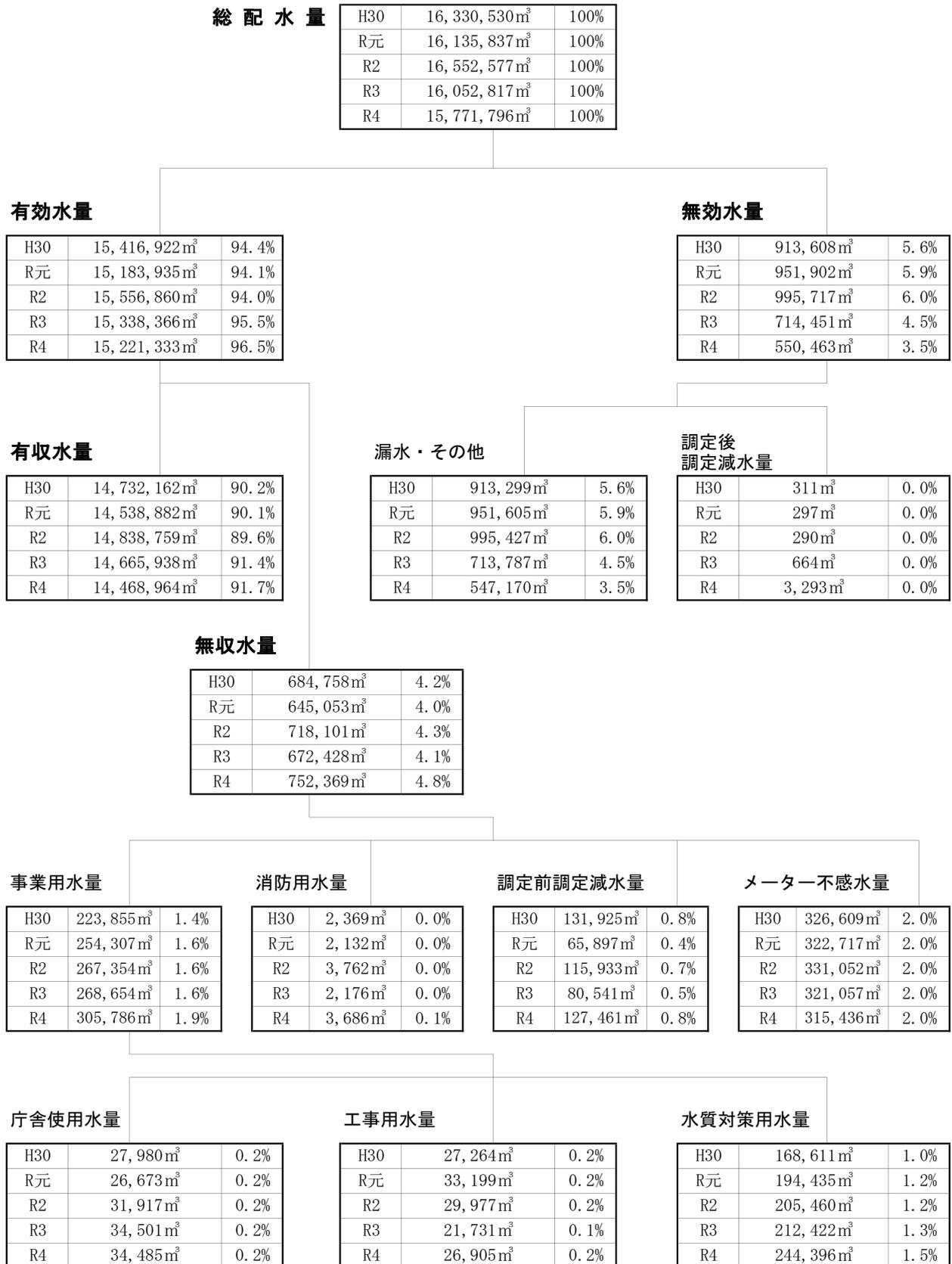
## (4) 一日最大・平均配水量

項目 \ 年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一日最大配水量 (m <sup>3</sup> )	50,031	50,546	55,454	51,536	66,013
一日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	44,741	44,087	45,350	43,980	43,210
一人年間配水量 (m <sup>3</sup> )	105	105	108	106	105
一人一日最大配水量 (L)	323	329	363	341	441
一人一日平均配水量 (L)	289	287	297	291	288
一人年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	95	95	97	97	97
一人一日平均有収水量 (L)	260	259	266	265	265

## 【参考】

給水人口15～30万都市：一人一日最大配水量 353 L (総務省編「令和3年度地方公営企業年鑑」)  
 " : 一人一日平均配水量 323 L ( " )  
 " : 一人一日平均有収水量 291 L ( " )

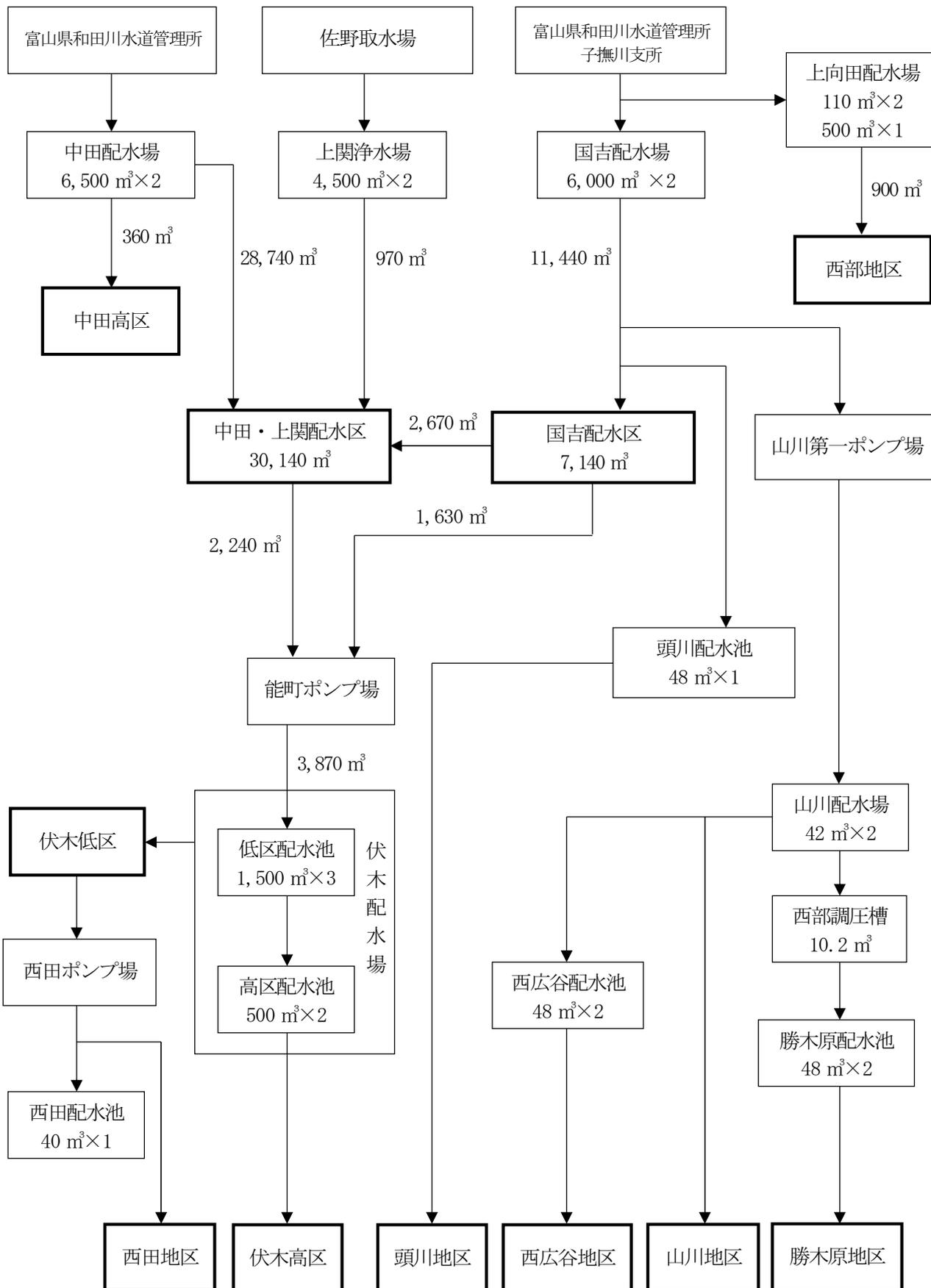
(5) 配水分析フロー図

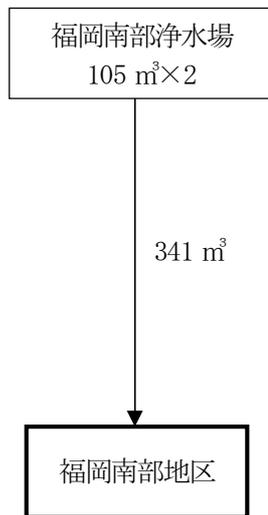
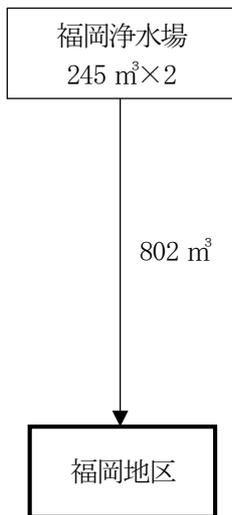
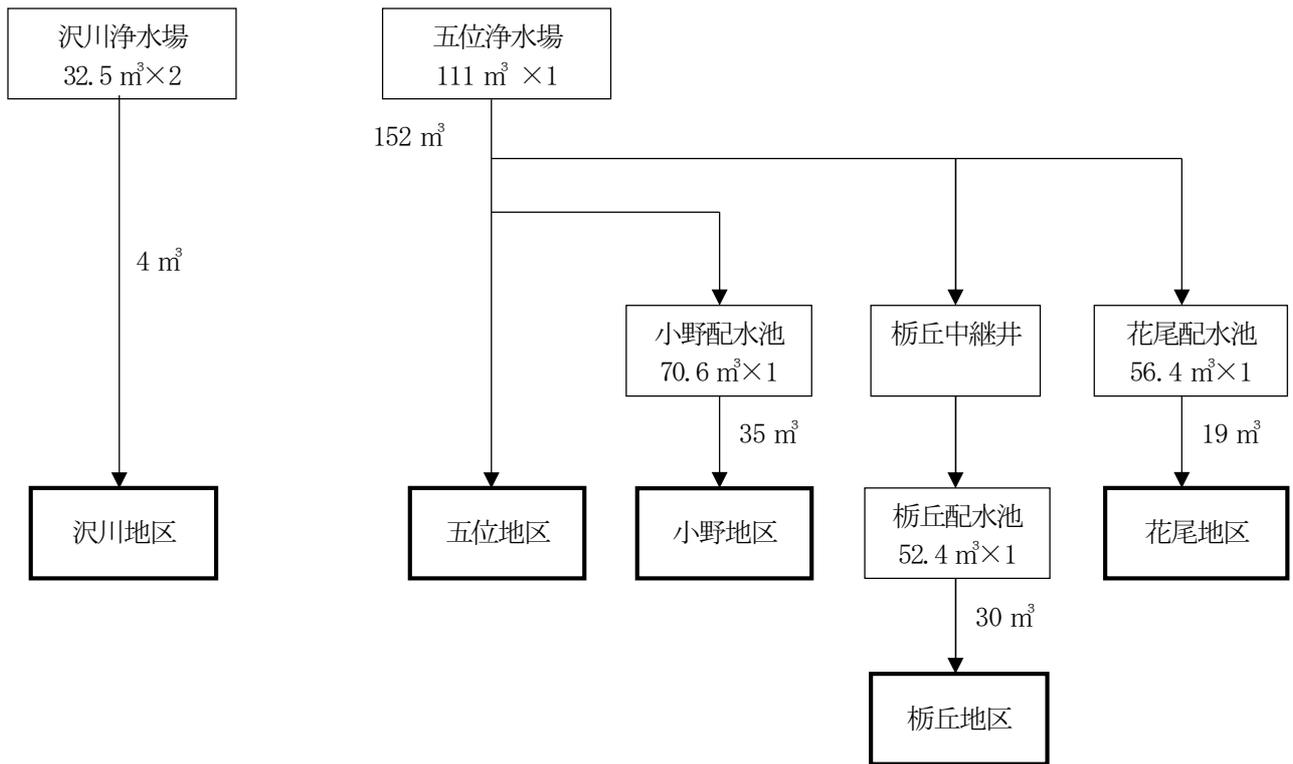


※ 平成29年度に福岡町地区簡易水道事業を統合

(6) 一日配水量の配水体系

一日平均配水量 (43,210 m<sup>3</sup>/日) に最も近い日である5月10日の配水体系を示します。





## (7) 月別配水量の分析 (水源別、一日最大、一日最小、一日平均配水量の分析)

月	配水量				一日最大 配水量 (m <sup>3</sup> )	一日最小 配水量 (m <sup>3</sup> )	一日平均 配水量 (m <sup>3</sup> )	最大 稼働率 (%)	施設 利用率 (%)
	和田川水源 (m <sup>3</sup> )	子撫川水源 (m <sup>3</sup> )	自己水源 (m <sup>3</sup> )	計 (m <sup>3</sup> )					
4	873,300	358,347	55,254	1,286,901 (1,327,462)	4/12 43,912 (4/20 45,735)	4/16 41,305 (4/17 42,347)	42,897 (44,249)	56.9 (58.6)	55.5 (56.6)
5	897,600	375,311	54,726	1,327,637 (1,369,746)	5/18 44,466 (5/15 46,461)	5/1 40,589 (5/2 42,035)	42,827 (44,185)	57.6 (59.5)	55.4 (56.6)
6	873,900	362,006	53,302	1,289,208 (1,330,159)	6/29 43,955 (6/1 46,456)	6/11 39,738 (6/19 41,603)	42,974 (44,339)	56.9 (59.5)	55.6 (56.8)
7	881,800	386,217	48,071	1,316,088 (1,369,726)	7/1 43,295 (7/14 46,202)	7/17 38,235 (7/4 41,672)	42,454 (44,185)	56.1 (59.1)	55.0 (56.6)
8	869,400	378,916	53,091	1,301,407 (1,342,359)	8/2 42,458 (8/4 45,491)	8/20 38,027 (8/14 41,505)	41,981 (43,302)	55.0 (58.2)	54.4 (55.4)
9	847,200	363,268	63,062	1,273,530 (1,289,562)	9/29 42,459 (9/7 44,593)	9/3 39,055 (9/18 40,653)	42,451 (42,985)	55.0 (57.1)	55.0 (55.0)
10	889,400	374,191	61,613	1,325,204 (1,336,805)	10/19 42,537 (10/21 44,440)	10/9 38,552 (10/9 41,527)	42,749 (43,123)	55.1 (56.9)	55.3 (55.2)
11	852,100	365,790	56,885	1,274,775 (1,295,531)	11/10 43,094 (11/17 44,256)	11/20 40,155 (11/27 42,088)	42,493 (43,184)	55.8 (56.7)	55.0 (55.3)
12	912,100	377,617	57,518	1,347,235 (1,374,679)	12/23 47,147 (12/31 51,536)	12/11 40,613 (12/4 41,916)	43,459 (44,344)	61.0 (66.0)	56.3 (56.8)
1	969,500	379,738	78,840	1,428,078 (1,407,975)	1/27 66,013 (1/14 48,566)	1/1 37,920 (1/9 42,447)	46,067 (45,419)	85.5 (62.2)	59.6 (58.1)
2	879,900	341,111	59,943	1,280,954 (1,268,496)	2/1 52,013 (2/6 48,682)	2/25 42,331 (2/12 43,111)	45,748 (45,303)	67.3 (62.3)	59.2 (58.0)
3	889,600	381,404	49,775	1,320,779 (1,340,317)	3/1 43,869 (3/9 44,780)	3/25 40,377 (3/20 40,969)	42,606 (43,236)	56.8 (57.3)	55.2 (55.4)
計	10,635,800 [67.4%]	4,443,916 [28.2%]	692,080 [4.4%]	15,771,796 [100.0%] (16,052,817)	4年度最大 1/27 66,013 (12/31 51,536)	4年度最小 1/1 37,920 (9/18 40,653)	4年度 一日平均 43,210 (43,980)	4年度 85.5 (66.0)	4年度 55.9 (56.3)

※ ( ) 内は、令和3年度数値

## (8) 用途別使用水量・用途別調定件数の推移

年 度 用途別		平成30年度 使用水量 (m <sup>3</sup> )	令和元年度 使用水量 (m <sup>3</sup> )	令和2年度 使用水量 (m <sup>3</sup> )	令和3年度 使用水量 (m <sup>3</sup> )	令和4年度	
						使用水量 (m <sup>3</sup> )	構成比率 (%)
一般用	家庭用	11,002,710	10,924,009	11,388,095	11,171,745	11,017,377	76.1
業務用	官公署用	671,211	628,751	524,226	556,175	545,465	3.8
	営業用	2,313,285	2,264,510	2,163,906	2,170,340	2,167,275	15.0
	工場用	709,781	688,945	730,000	729,664	704,575	4.9
	小計	3,694,277	3,582,206	3,418,132	3,456,179	3,417,315	23.7
浴場営業用		10,342	7,306	5,394	8,895	2,541	0.0
臨時使用		0	0	3	0	371	0.0
船舶給水栓		11,531	11,172	9,019	11,377	13,657	0.1
分 水		13,302	14,189	18,116	17,742	17,703	0.1
合 計		14,732,162	14,538,882	14,838,759	14,665,938	14,468,964	100.0

年 度 用途別		平成30年度 調定件数 (件)	令和元年度 調定件数 (件)	令和2年度 調定件数 (件)	令和3年度 調定件数 (件)	令和4年度	
						調定件数 (件)	構成比率 (%)
一般用	家庭用	363,719	366,096	367,114	370,036	372,903	91.6
業務用	官公署用	3,713	3,733	3,749	3,794	3,778	0.9
	営業用	29,544	29,348	22,520	29,138	29,192	7.2
	工場用	1,136	1,139	961	1,159	1,161	0.3
	小計	34,393	34,220	27,230	34,091	34,131	8.4
浴場営業用		92	82	60	75	58	0.0
臨時使用		0	0	3	0	3	0.0
船舶給水栓		18	18	18	18	16	0.0
分 水		12	12	12	12	12	0.0
合 計		398,234	400,428	394,437	404,232	407,123	100.0

## 2. 量水器取付状況

(単位：個)

区分		口径									計
		13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	
前年度末取付数		13,349	48,541	4,482	86	984	243	77	33	2	67,797
取付数	新設・改造	30	380	17	4	10	1	0	0	0	442
	開栓	102	465	32	0	10	2	1	0	0	612
取り外し数(△)		279	243	62	2	15	1	0	1	0	603
令和5年3月末取付数		13,202	49,143	4,469	88	989	245	78	32	2	68,248

## 3. 給水工事施工状況

(単位：件)

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新設		1,003	806	570	655	891
改造		795	644	622	773	665
計		1,798	1,450	1,192	1,428	1,556

## 4. 配水管等の修理状況

### (1) 年度別修理状況

(単位：件)

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
配水管		90	70	73	77	70
配水補助管		45	50	49	69	53
給水管		468	345	399	427	474
計		603	465	521	573	597

※ 配水補助管（口径50mm以下の配水管における修理件数）  
給水管（配水管の分岐から量水器までの修理件数で、量水器以降の給水装置は含まない。）

(2) 管区分及び箇所別修理状況

① 配水本支管

(単位：件)

	直 営	委 託	計
直 管 ( 継 手 含 む )	5	7	12
仕 切 弁 等	1	1	2
消 火 栓	9	2	11
空 気 弁	4	0	4
仕 切 弁 土 留	5	11	16
消 火 栓 土 留	4	7	11
空 気 弁 土 留	2	4	6
水 道 跡 舗 装 等	5	3	8
計	35	35	70

② 配水補助管

(単位：件)

	直 営	委 託	計
直 管 ( 継 手 含 む )	9	28	37
G 仕 切 弁 等	1	4	5
分 水 栓 等	0	1	1
仕 切 弁 土 留	1	4	5
水 道 跡 舗 装 等	2	3	5
計	13	40	53

③ 給水管 (分岐～量水器)

(単位：件)

	直 営	委 託	計
直 管 ( 継 手 含 む )	114	59	173
止 水 栓 等	17	4	21
分 水 栓 等	2	14	16
止 水 栓 ボ ッ ク ス	4	3	7
メーター (バルブ含む)	188	65	253
水 道 跡 舗 装 等	2	2	4
計	327	147	474

## 5. 漏水調査状況

### (1) 計画漏水調査の推移

計画名	計画期間	調査延長 (km)	修理件数 (件)	発見水量 (m <sup>3</sup> /日)	目標有収率 (%)	達成有収率 (%)	作業方法
第1次計画 漏水調査	昭和52年 ～ 昭和56年	482	1,266	9,949	74.4	78.7	・直接計量 ・間接計量 ・止水栓音聴
第2次計画 漏水調査	昭和57年 ～ 昭和59年	209	384	2,505	80.5	82.3	・間接計量 ・弁栓音聴 ・止水栓音聴
第3次計画 漏水調査	昭和60年 ～ 平成元年	590	471	4,528	83.1	86.3	・間接計量 ・弁栓音聴 ・止水栓音聴
第4次計画 漏水調査	平成2年 ～ 平成6年	1,231	613	4,630	87.5	86.9	・間接計量 ・弁栓音聴・止水栓音聴 ・流量計監視法
第5次計画 漏水調査	平成7年 ～ 平成12年	1,874	456	3,109	87.7	87.0	・間接計量 ・止水栓音聴
第6次計画 漏水調査	平成13年 ～ 平成18年	2,269	380	1,992	87.1	88.9	・弁栓音聴 ・止水栓音聴 ・流量計監視法
新第1次計画 漏水調査	平成19年 ～ 平成23年	1,607	267	3,318	90.0	90.0	・弁栓音聴 ・止水栓音聴 ・漏水監視装置
新第2次計画 漏水調査	平成24年 ～ 平成28年	1,806	220	1,084	90.6	90.6	・弁栓音聴 ・止水栓音聴 ・漏水監視装置
新第3次計画 漏水調査	平成29年 ～ 令和5年	—	—	—	94.7	—	・弁栓音聴 ・止水栓音聴 ・漏水監視装置

※ 新第3次計画漏水調査では目標・達成有収率を有効率にする

### (2) 年度別漏水調査表

項目	年度					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
調査件数(戸)	29,625	28,126	28,876	19,871	28,975	
調査延長(m)	500,686	489,480	504,084	206,237	209,320	
調査時間(H)	548	513	546	777	798	
漏水発見件数(件)	56	42	49	116	110	
漏水修理件数(件)	56	42	49	116	110	
発見水量(m <sup>3</sup> /日)	285	167	575	819	760	

## (3) 計画漏水調査実施表

No.	調査校下名 (町名)	給水戸数 (戸)	調査延長 (m)	調査月 (月)	調査時間 (H)	発見件数 (件)	発見水量 (m <sup>3</sup> /日)
1	伏木 (伏木古府二・三丁目、東一宮)	900	0	5・7・9・10	7	3	8.64
2	古府 (伏木古府一・二丁目、高美町、伏木矢田)	499	0	4・5・10	7	0	0.00
3	万葉 (二上院内、下二上、五十里東町他)	607	0	4・6・7・10・11	7	0	0.00
4	国吉 (岩坪、佐加野、佐加野新町)	147	4,735	4・5・6・7・11	21	0	0.00
5	能町 (新能町、荻布、江尻、旭ヶ丘、米島、角)	1,857	0	5・6・7・9・10・11	7	5	74.40
6	野村 (野村第二・四、上石瀬、石瀬本町)	2,714	1,243	4・5・6・9・10・11	21	7	31.20
7	成美 (五福町、明野町、大町、大坪町三丁目、京町他)	1,335	1,030	4・6・8・10	14	5	47.04
8	高陵 (未広町、桐木町、定塚町、中川町、中川園町、高陵町、明園町、中川栄町)	2,467	0	4・5・6・7・8・9・10・11	14	20	65.52
9	下関 (駅南一・二・三・五丁目)	2,909	2,243	4・5・6・7・9	28	15	74.16
10	博労 (永楽町、千石町、関大町、大工中町、清水町一・二・三丁目、博労町、博労本町)	2,344	2,497	4・5・7・8・9・10・11	21	8	31.92
11	南条	650	498	4・5・6・7・8	14	0	0.00
12	木津	1,475	802	4・5・6・9・11	14	3	43.92
13	中田 (下麻生伸町)	401	4,594	4・5・6・7・9・11	49	7	172.80
14	二塚 (上黒田新町)	158	1,516	4・5・6・7・9	14	4	41.52
15	川原 (内免一・二丁目)	994	0	4・7・10	7	3	21.84
16	西条 (波岡)	2,027	2,187	4・5・6・10	21	7	31.68
17	横田 (宮田町、千石町、西町、横田二丁目、扇町、羽広一・二丁目、和田)	2,248	1,134	4・5・7・10	21	6	4.80
18	五位	306	1,857	4・5・6・7・8・9	28	2	2.64
19	千鳥丘	10	2,493	4・5・6・8	21	0	0.00
20	戸出東部 (戸出町一・二・三丁目)	497	4,263	4・5・6・8・9	49	1	0.24
21	戸出西部 (戸出町五・六丁目)	1,066	6,726	4・5・7・8・11	56	4	26.40
22	牧野 (姫野第二、第三、下牧野)	1,829	0	4・10	7	8	55.92
旧簡易水道地区(福岡、上向田、五位、沢川)		1,535	49,597	5・7・8・9・11	84	2	25.44
配水幹線 (庄川、庄川中央、庄川西部、上関、牧野、小矢部川、小矢部川城光寺、国吉大橋幹線)		-	66,262	6・7・8	140	0	0.00
国道沿線		-	55,643	6・7・8	126	0	0.00
総計		28,975	209,320		798	110	760.08

## 6. 水質検査状況

### (1) 基準項目の検査回数と設定理由

番号	項目	区分	検査回数					検査回数の設定理由
			原水 注1		給水栓			
			佐野	C地区※1	A地区※2	B地区※3	C地区※4	
1	一般細菌	微生物	1回/月		1回/月			注2
2	大腸菌							
3	カドミウム及びその化合物	金属	1回/年	1回/年	1回/年	1回/3年	1回/年	注3
4	水銀及びその化合物							
5	セレン及びその化合物				4回/年			注4
6	鉛及びその化合物							
7	ヒ素及びその化合物				1回/年	1回/3年	1回/年	注3
8	六価クロム化合物							
9	亜硝酸態窒素	非金属	1回/年	1回/年	4回/年			注4
10	シアン化物イオン及び塩化シアン							
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素							
12	フッ素及びその化合物	金属	1回/年	1回/年	1回/3年	1回/年	注3	
13	ホウ素及びその化合物							
14	四塩化炭素	一般有機化学物質	1回/年	1回/年	1回/3年	1回/年	注3	
15	1,4-ジオキサン							
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン							
17	ジクロロメタン							
18	テトラクロロエチレン							
19	トリクロロエチレン							
20	ベンゼン							
21	塩素酸							消毒副生成物
22	クロロ酢酸							
23	クロロホルム							
24	ジクロロ酢酸							
25	ジブロモクロロメタン							
26	臭素酸							
27	総トリハロメタン							
28	トリクロロ酢酸							
29	ブロモジクロロメタン							
30	ブロモホルム							
31	ホルムアルデヒド							
32	亜鉛及びその化合物	色	1回/年	1回/年	1回/3年	1回/年	注3	
33	アルミニウム及びその化合物							
34	鉄及びその化合物	味覚色	1回/月	1回/年	1回/月		注5	
35	銅及びその化合物							
36	ナトリウム及びその化合物				1回/月		県の指導により	
37	マンガン及びその化合物	1回/年	1回/3年	1回/年	注3			
38	塩化物イオン	味覚	1回/月	1回/年		1回/月		注2
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）							
40	蒸発残留物	発泡	1回/年	1回/年	1回/年	4回/年	AB地区:注5 C地区:注4	
41	陰イオン界面活性剤							
42	ジェオスミン	におい	1回/年	1回/年	1回/月		原因生物発生時期には 地下水源を除く配水区に1箇所 1回/月以上に回数を増やす	
43	2-メチルイソボルネオール							
44	非イオン界面活性剤	におい	1回/年	1回/年	1回/年	1回/3年	1回/年	注3
45	フェノール類							
46	有機物（全有機炭素（TOC）の量）	一般性状	1回/月	1回/年	1回/月			注2
47	pH値							
48	味							
49	臭気							
50	色度							
51	濁度							

注1：原水の水質検査については、「少なくとも年1回は定期的に全項目を実施のこと」と定められている。

注2：概ね1ヶ月に1回以上の検査と定められている項目。

注3：過去3年間の水質検査結果が基準値の1/10以下のときは、概ね3年に1回以上とすることが可能な項目。

ただし、水源ごとの確認のため原水及びA地区、C地区は1年に1回検査を実施。

注4：概ね3ヶ月に1回以上の検査と定められている項目。

注5：過去3年間の水質検査結果が基準値の1/5以下のときは、概ね1年に1回以上とすることが可能な項目。

※1：原水水質検査C地区：福岡第1水源、福岡第2水源、子撫川水源（伏流水）、沢川水源、福岡南部水源の5箇所

※2：給水栓水質検査A地区：立野地区、上関地区、米島地区、西田地区の4箇所。

※3：給水栓水質検査B地区：柴野地区、西広谷地区、頭川地区、牧野地区の4箇所。

※4：給水栓水質検査C地区：福岡町大野地区、福岡町赤丸地区、福岡町小野地区、福岡町沢川地区、福岡町木舟地区の5箇所。

## (2) 基準項目の検査結果 (検査機関: 富山県和田川水道管理所)

番号	項目	基準値	立野地区			上関地区		
			最高	最低	平均	最高	最低	平均
1	一般細菌	100/mL以下	0	0	0	0	0	0
2	大腸菌	検出されないこと			検出 0回			検出 0回
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下			0.0003未満			0.0003未満
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下			0.00005未満			0.00005未満
5	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
6	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
8	六価クロム化合物	0.02mg/L以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下			0.004未満			0.004未満
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下			0.17			0.60
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下			0.08			0.08未満
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下			0.1未満			0.1未満
14	四塩化炭素	0.002mg/L以下			0.0002未満			0.0002未満
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下			0.005未満			0.005未満
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下			0.004未満			0.004未満
17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下			0.002未満			0.002未満
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
19	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
20	ベンゼン	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
21	塩素酸	0.6mg/L以下	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.08	0.06未満	0.06未満
22	クロロ酢酸	0.02mg/L以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
23	クロロホルム	0.06mg/L以下	0.015	0.002	0.007	0.002	0.001未満	0.001未満
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.005	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
25	ジブromokロロメタン	0.01mg/L以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
26	臭素酸	0.01mg/L以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.018	0.003	0.010	0.003	0.001未満	0.001
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.006	0.003未満	0.004	0.003未満	0.003未満	0.003未満
29	ブromोजクロロメタン	0.03mg/L以下	0.003	0.001	0.002	0.001	0.001未満	0.001未満
30	ブromホルム	0.09mg/L以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下			0.01未満			0.01未満
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下			0.02			0.01未満
34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満
35	銅及びその化合物	1.0mg/L以下			0.01未満			0.02
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下			5.2			5.6
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下			0.001未満			0.001未満
38	塩化物イオン	200mg/L以下	8.6	5.2	7.0	6.3	5.6	5.9
39	カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	300mg/L以下	28	24	26	46	39	42
40	蒸発残留物	500mg/L以下			56			92
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下			0.02未満			0.02未満
42	ジェオスミン	0.00001mg/L以下			0.000001			0.000001未満
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下			0.000001未満			0.000001未満
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下			0.005未満			0.005未満
45	フェノール類	0.005mg/L以下			0.0005未満			0.0005未満
46	有機物 (全有機炭素 (TOC) の量)	3mg/L以下	0.5	0.3未満	0.3未満	0.4	0.3未満	0.3未満
47	pH値	5.8以上8.6以下	7.5	7.4	7.4	7.3	6.9	7.0
48	味	異常でないこと			異常なし			異常なし
49	臭気	異常でないこと			異常なし			異常なし
50	色度	5度以下	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満
51	濁度	2度以下	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満
	水温 (°C)		30.0	5.8	16.6	20.9	9.8	15.0
	残留塩素 (mg/L)		0.65	0.43	0.57	0.58	0.27	0.47

米島地区			西田地区			福岡町大野地区		
最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
0	0	0	0	0	0	0	0	0
		検出 0回			検出 0回			検出 0回
		0.0003未満			0.0003未満			0.0003未満
		0.00005未満			0.00005未満			0.00005未満
		0.001未満			0.001未満			0.001未満
0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		0.001未満			0.001未満			0.002
0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		0.004未満			0.004未満			0.004未満
0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		0.44			0.34			0.16
		0.08未満			0.08未満			0.08
		0.1未満			0.1未満			0.1未満
		0.0002未満			0.0002未満			0.0002未満
		0.005未満			0.005未満			0.005未満
		0.004未満			0.004未満			0.004未満
		0.002未満			0.002未満			0.002未満
		0.001未満			0.001未満			0.001未満
		0.001未満			0.001未満			0.001未満
		0.001未満			0.001未満			0.001未満
0.08	0.06未満	0.06未満	0.07	0.06未満	0.06未満	0.10	0.06未満	0.06未満
0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
0.023	0.003	0.012	0.022	0.003	0.012	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.007	0.003未満	0.003未満	0.003	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
0.003	0.002	0.003	0.003	0.002	0.002	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.035	0.010	0.022	0.033	0.008	0.021	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.015	0.003未満	0.008	0.012	0.003未満	0.007	0.003未満	0.003未満	0.003未満
0.010	0.004	0.007	0.009	0.003	0.006	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満
		0.01未満			0.01未満			0.01未満
		0.01未満			0.01			0.01未満
0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03	0.03未満	0.03未満	0.06	0.03未満	0.03未満
		0.02			0.01未満			0.01未満
		9.7			7.6			15.6
		0.001未満			0.001未満			0.001未満
15.0	12.3	13.4	11.9	9.3	10.6	7.7	7.5	7.6
25	18	21	28	22	25	88	84	86
		72			69	160	140	148
		0.02未満			0.02未満			0.02未満
		0.000001未満			0.000001未満			0.000001未満
		0.000001未満			0.000001未満			0.000001未満
		0.005未満			0.005未満			0.005未満
		0.0005未満			0.0005未満			0.0005未満
0.8	0.4	0.6	0.6	0.3	0.5	0.3未満	0.3未満	0.3未満
7.3	6.9	7.1	7.4	7.3	7.4	8.1	7.9	7.9
		異常なし			異常なし			異常なし
		異常なし			異常なし			異常なし
1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満
0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満
28.3	6.3	17.3	26.7	7.0	16.8	27.5	6.2	16.3
0.56	0.17	0.41	0.49	0.13	0.32	0.62	0.40	0.52

番号	項 目	基 準 値	福岡町赤丸地区			福岡町小野地区		
			最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均
1	一般細菌	100/mL以下	1	0	0	2	0	0
2	大腸菌	検出されないこと			検出 0回			検出 0回
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下			0.0003未満			0.0003未満
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下			0.00005未満			0.00005未満
5	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
6	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
8	六価クロム化合物	0.02mg/L以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下			0.004未満			0.004未満
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下			0.15			0.25
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下			0.08未満			0.08未満
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下			0.1未満			0.1未満
14	四塩化炭素	0.002mg/L以下			0.0002未満			0.0002未満
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下			0.005未満			0.005未満
16	シス-1,2-ジクロロエチン及びトランス-1,2-ジクロロエチン	0.04mg/L以下			0.004未満			0.004未満
17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下			0.002未満			0.002未満
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
19	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
20	ベンゼン	0.01mg/L以下			0.001未満			0.001未満
21	塩素酸	0.6mg/L以下	0.07	0.06未満	0.06未満	0.24	0.08	0.16
22	クロロ酢酸	0.02mg/L以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
23	クロロホルム	0.06mg/L以下	0.024	0.004	0.012	0.012	0.003	0.010
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.005	0.003未満	0.003未満	0.011	0.003未満	0.003未満
25	ジブromクロロメタン	0.1mg/L以下	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
26	臭素酸	0.01mg/L以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.039	0.012	0.024	0.024	0.010	0.020
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.014	0.003	0.008	0.012	0.003未満	0.007
29	ブromジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.012	0.005	0.008	0.009	0.004	0.007
30	ブromホルム	0.09mg/L以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下			0.01未満			0.01未満
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下			0.01未満			0.01未満
34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.05	0.03未満	0.03未満
35	銅及びその化合物	1.0mg/L以下			0.01未満			0.01未満
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下			10.7			9.7
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下			0.001未満			0.001未満
38	塩化物イオン	200mg/L以下	15.1	12.2	13.3	14.2	11.5	12.6
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/L以下	26	18	21	24	15	19
40	蒸発残留物	500mg/L以下	56	49	51	58	39	49
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下			0.02未満			0.02未満
42	ジェオスミン	0.00001mg/L以下			0.000001未満			0.000001未満
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下			0.000001未満			0.000001未満
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下			0.005未満			0.005未満
45	フェノール類	0.005mg/L以下			0.0005未満			0.0005未満
46	有機物（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/L以下	0.8	0.4	0.6	0.7	0.4	0.5
47	pH値	5.8以上8.6以下	7.2	7.0	7.1	7.2	6.9	7.0
48	味	異常でないこと			異常なし			異常なし
49	臭気	異常でないこと			異常なし			異常なし
50	色度	5度以下	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満
51	濁度	2度以下	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満
	水温（℃）		22.0	6.8	13.6	26.0	6.5	16.5
	残留塩素（mg/L）		0.51	0.12	0.33	0.67	0.22	0.37

福岡町沢川地区			福岡町木舟地区		
最高	最低	平均	最高	最低	平均
0	0	0	0	0	0
		検出 0回			検出 0回
		0.0003未満			0.0003未満
		0.00005未満			0.00005未満
		0.001未満			0.001未満
0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		0.001未満			0.001未満
0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
		0.004未満			0.004未満
0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
		0.55			0.58
		0.08未満			0.08未満
		0.1未満			0.1未満
		0.0002未満			0.0002未満
		0.005未満			0.005未満
		0.004未満			0.004未満
		0.002未満			0.002未満
		0.001未満			0.001未満
		0.001未満			0.001未満
0.08	0.06未満	0.06未満	0.12	0.06未満	0.06未満
0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
0.003	0.001未満	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
0.003	0.002	0.003	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.011	0.004	0.007	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
0.004	0.002	0.003	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満
		0.01			0.01未満
		0.01未満			0.01未満
0.09	0.05	0.06	0.08	0.03未満	0.03未満
		0.02			0.01未満
		6.6			10.7
		0.002			0.001未満
8.5	7.0	7.6	8.8	8.5	8.7
17	13	15	110	100	103
51	33	40	170	140	150
		0.02未満			0.02未満
		0.000001未満			0.000001未満
		0.000001未満			0.000001未満
		0.005未満			0.005未満
		0.0005未満			0.0005未満
0.4	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満
6.8	6.3	6.6	7.9	7.8	7.9
		異常なし			異常なし
		異常なし			異常なし
1	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満	1度未満
0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満
24.8	5.5	15.3	28.2	6.3	17.4
0.57	0.28	0.41	0.70	0.35	0.50

【参考】水源の水質検査結果（検査機関：富山県薬剤師会）

基準項目	佐野取水場			福岡第1水源
	最高	最低	平均	5月24日
1 一般細菌	4	0	1	1
2 大腸菌			検出 0回	不検出
3 カドミウム及びその化合物			0.0003未満	0.0003未満
4 水銀及びその化合物			0.00005未満	0.00005未満
5 セレン及びその化合物			0.001未満	0.001未満
6 鉛及びその化合物			0.001未満	0.001未満
7 ヒ素及びその化合物			0.001未満	0.001
8 六価クロム化合物			0.002未満	0.002未満
9 亜硝酸態窒素			0.004未満	0.004未満
10 シアン化物イオン及び塩化シアン			0.001未満	0.001未満
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0.65	0.22
12 フッ素及びその化合物			0.08未満	0.06
13 ホウ素及びその化合物			0.1未満	0.1未満
14 四塩化炭素			0.0002未満	0.0001未満
15 1,4-ジオキサン			0.005未満	0.005未満
16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン			0.004未満	0.002未満
17 ジクロロメタン			0.002未満	0.001未満
18 テトラクロロエチレン			0.001未満	0.001未満
19 トリクロロエチレン			0.001未満	0.001未満
20 ベンゼン			0.001未満	0.0005未満
21 塩素酸				
22 クロロ酢酸				
23 クロロホルム				
24 ジクロロ酢酸				
25 ジブromokロロメタン				
26 臭素酸				
27 総トリハロメタン				
28 トリクロロ酢酸				
29 ブロモジクロロメタン				
30 ブロモホルム				
31 ホルムアルデヒド				
32 亜鉛及びその化合物			0.01未満	0.005未満
33 アルミニウム及びその化合物			0.01未満	0.02未満
34 鉄及びその化合物	0.12	0.03未満	0.03未満	0.03未満
35 銅及びその化合物			0.01未満	0.005未満
36 ナトリウム及びその化合物			5.3	14.0
37 マンガン及びその化合物			0.001未満	0.005未満
38 塩化物イオン	5.5	4.9	5.2	7.7
39 カルシウム、マグネシウム等（硬度）	45	41	43	82.7
40 蒸発残留物			86	136
41 陰イオン界面活性剤			0.02未満	0.02未満
42 ジェオスミン			0.000001未満	
43 2-メチルイソボルネオール			0.000001未満	
44 非イオン界面活性剤			0.005未満	0.002未満
45 フェノール類			0.0005未満	0.0005未満
46 有機物（全有機炭素（TOC）の量）	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満
47 pH値	7.1	6.7	6.9	7.6
48 味				
49 臭気			異常なし	異常なし
50 色度	1.0	1度未満	1度未満	0.5度未満
51 濁度	0.5	0.1度未満	0.1度未満	0.1度未満
検査実施項目数			39項目	37項目
水温（℃）	17.0	11.3	14.0	16.0
残留塩素（mg/l）	-	-	-	-

※ 原水のため消毒副生成物及び味の項目検査は省略



## (3) 臭気物質検査の結果 (検査機関: 富山県薬剤師会)

(単位:mg/L)

採水地点 項目名 採水年月日	立野		米島		西田	
	ジエオスミン	2-メチルイソボルネオール	ジエオスミン	2-メチルイソボルネオール	ジエオスミン	2-メチルイソボルネオール
令和4年4月20日	0.000001	0.000001未満	0.000002	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
5月17日	0.000001	0.000001未満	0.000001	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
6月22日	0.000002	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
7月20日	0.000002	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
8月2日、8月23日	0.000001	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
9月5日、9月14日	0.000001	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
10月19日	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
11月15日	0.000002	0.000001未満	0.000002	0.000001未満	0.000002	0.000001未満
12月14日	0.000002	0.000001未満	0.000002	0.000001未満	0.000002	0.000001未満
令和5年1月17日	0.000001	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
2月13日	0.000001	0.000001未満	0.000001	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
3月15日	0.000002	0.000001未満	0.000001	0.000001未満	0.000001	0.000001未満

(単位:mg/L)

採水地点 項目名 採水年月日	福岡町赤丸		福岡町小野	
	ジエオスミン	2-メチルイソボルネオール	ジエオスミン	2-メチルイソボルネオール
令和4年4月25日	0.000002	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
5月25日	0.000001	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
6月2日	0.000002	0.000001未満	0.000001	0.000001未満
7月11日、7月12日	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
8月1日、8月30日	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
9月14日	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
10月5日	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
11月16日	0.000002	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
12月13日	0.000002	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
令和5年1月19日	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
2月9日	0.000001	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
3月14日	0.000001	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満

(4) 毎日検査の結果（検査：一般市民及び自動計器）

検査地点	色	濁り	消毒の残留効果
上牧野地区（中田・上関配水区）	0/365	0/365	0/365
荻布地区（国吉配水区）	0/365	0/365	0/365
勝木原地区（国吉配水区）	0/365	0/365	0/365
太田地区（伏木配水区）	0/365	0/365	0/365
福岡町大野地区	0/365	0/365	0/365
福岡町赤丸地区	0/365	0/365	0/365
福岡町小野地区	0/365	0/365	0/365
福岡町沢川地区	0/365	0/365	0/365
福岡町木舟地区	0/365	0/365	0/365

・記載は、不適回数／検査回数

(5) クリプトスポリジウム指標菌検査の結果（検査機関：富山県薬剤師会）

採水年月日：令和4年6月2日（佐野取水場）、14日（五位浄水場、沢川浄水場）

採水地点 項目名	佐野取水場2号井	佐野取水場3号井	佐野取水場4号井	五位浄水場	沢川浄水場
大腸菌	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
嫌気性芽胞菌	0CFU/100mL	0CFU/100mL	0CFU/100mL	0CFU/100mL	0CFU/100mL

※ CFUとは、CoLony Forming Unitの略称で菌数の単位。

(6) クリプトスポリジウム、ジアルジア検査の結果（検査機関：富山県薬剤師会）

採水年月日：令和4年6月2日（佐野取水場）、14日（五位浄水場、沢川浄水場）

採水地点 項目名	佐野取水場2号井	佐野取水場3号井	佐野取水場4号井	五位浄水場	沢川浄水場
クリプトスポリジウム	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ジアルジア	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

## (7) 水質管理目標設定項目の目標値及び検査結果（検査機関：富山県衛生研究所）

## ・佐野水源

採水年月日：令和4年9月28日

番号	項目名	目標値	検査結果	検査回数
1	アンチモン及びその化合物	0.02mg/l以下	0.001mg/l未満	1回/年
2	ウラン及びその化合物	0.002mg/l以下（暫定）	0.0002mg/l未満	1回/年
3	ニッケル及びその化合物	0.02mg/l以下	0.001mg/l未満	1回/年
4	欠番			
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/l以下	0.0001mg/l未満	1回/年
6	欠番			
7	欠番			
8	トルエン	0.4mg/l以下	0.001mg/l未満	1回/年
9	フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）	0.08mg/l以下	0.008mg/l未満	1回/年
10	亜塩素酸	0.6mg/l以下		消毒前のため検査を省略
11	欠番			
12	二酸化塩素	0.6mg/l以下		消毒前のため検査を省略
13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/l以下（暫定）	0.001mg/l未満	1回/年
14	抱水クロラール	0.02mg/l以下（暫定）	0.001mg/l未満	1回/年
15	農薬類（総農薬方式）	検出値/目標値の和=1以下	1未満	1回/年
16	残留塩素	1mg/l以下		消毒前のため検査を省略
17	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	10mg/l以上100mg/l以下		基準項目として検査を実施
18	マンガン及びその化合物	0.01mg/l以下		
19	遊離炭酸	20mg/l以下		速やかな検査体制がとれないため検査を減じている
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/l以下	0.001mg/l未満	1回/年
21	メチル-t-ブチルエーテル	0.02mg/l以下	0.001mg/l未満	1回/年
22	有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	3mg/l以下		基準項目として検査を実施
23	臭気強度（TON）	3以下		
24	蒸発残留物	30mg/l以上200mg/l以下		
25	濁度	1度以下		
26	pH値	7.5程度		
27	腐食性（ランゲリア指数）	-1程度以上		速やかな検査体制がとれないため検査を減じている
28	従属栄養細菌	2,000CFU/ml以下（暫定）	2CFU/ml	1回/年
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/l以下	0.001mg/l未満	
30	アルミニウム及びその化合物	0.1mg/l以下		基準項目として検査を実施
31	パーフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びパーフルオロオクタン酸（PFOA）	2つの和で0.00005mg/l以下		県では検査できないため検査を減じている

採水年月日：令和4年5月17日（農薬類のみ検査）

項目名	目標値	検査結果	用途
カフェンストロール	0.008mg/l以下	0.00008mg/l未満	除草剤
クロメプロップ	0.02mg/l以下	0.0002mg/l未満	除草剤
シメトリン	0.03mg/l以下	0.0003mg/l未満	除草剤
ダイムロン	0.8mg/l以下	0.008mg/l未満	除草剤
ピラゾリネート（ピラゾレート）	0.02mg/l以下	0.0002mg/l未満	除草剤
ピリブチカルブ	0.02mg/l以下	0.0002mg/l未満	除草剤
プレチラクロール	0.05mg/l以下	0.0005mg/l未満	除草剤
プロモブチド	0.1mg/l以下	0.001mg/l未満	除草剤
ベンズビシクロン	0.09mg/l以下	0.0009mg/l未満	除草剤
ベンフレセート	0.07mg/l以下	0.0007mg/l未満	除草剤

・子撫川水源

採水年月日:令和4年9月28日

番号	項目名	目標値	検査結果	検査回数
1	アンチモン及びその化合物	0.02mg/1以下	0.001mg/1未満	1回/年
2	ウラン及びその化合物	0.002mg/1以下(暫定)	0.0002mg/1未満	1回/年
3	ニッケル及びその化合物	0.02mg/1以下	0.001mg/1未満	1回/年
4	欠番			
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/以下		
6	欠番			
7	欠番			
8	トルエン	0.4mg/1以下		
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08mg/1以下	0.008mg/1未満	1回/年
10	亜塩素酸	0.6mg/1以下		消毒前のため検査を省略
11	欠番			
12	二酸化塩素	0.6mg/1以下		消毒前のため検査を省略
13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/1以下(暫定)	0.001mg/1	1回/年
14	抱水クロラール	0.02mg/1以下(暫定)	0.001mg/1	1回/年
15	農薬類(総農薬方式)	検出値/目標値の和=1以下	1未満	1回/年
16	残留塩素	1mg/1以下		消毒前のため検査を省略
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10mg/1以上100mg/1以下		基準項目として検査を実施
18	マンガン及びその化合物	0.01mg/1以下		
19	遊離炭酸	20mg/1以下		速やかな検査体制がとれないため検査を減じている
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/1以下	0.001mg/1未満	1回/年
21	メチル-tert-ブチルエーテル	0.02mg/1以下		表流水は検査を省略
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/1以下		基準項目として検査を実施
23	臭気強度(TON)	3以下		
24	蒸発残留物	30mg/1以上200mg/1以下		
25	濁度	1度以下		
26	pH値	7.5程度		
27	腐食性(ランゲリア指数)	-1程度以上		速やかな検査体制がとれないため検査を減じている
28	従属栄養細菌	2,000CFU/ml以下(暫定)	$1.8 \times 10^3$ CFU/ml	1回/年
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/1以下		
30	アルミニウム及びその化合物	0.1mg/1以下		基準項目として検査を実施
31	パーフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びパーフルオロオクタン酸(PFOA)	2つの和で0.00005mg/1以下		県では検査できないため検査を減じている

採水年月日:令和4年5月17日(農薬類のみ検査)

項目名	目標値	検査結果	用途
カフェンストロール	0.008mg/1以下	0.00008mg/1未満	除草剤
クロメプロップ	0.02mg/1以下	0.0002mg/1未満	除草剤
シメトリン	0.03mg/1以下	0.0003mg/1未満	除草剤
ダイムロン	0.8mg/1以下	0.008mg/1未満	除草剤
ピラズリネート(ピラズレート)	0.02mg/1以下	0.0002mg/1未満	除草剤
ピリプチカルブ	0.02mg/1以下	0.0002mg/1未満	除草剤
プレチラクロール	0.05mg/1以下	0.0005mg/1未満	除草剤
プロモブチド	0.1mg/1以下	0.001mg/1未満	除草剤
ベンゾビスクロン	0.09mg/1以下	0.0009mg/1未満	除草剤
ベンフレゼート	0.07mg/1以下	0.0007mg/1未満	除草剤

## (8) 要検討項目の目標値及び検査結果 (検査機関: 富山県衛生研究所)

## ・佐野水源

採水年月日: 令和4年9月28日

番号	項目名	目標値 (mg/l)	結果	検査回数
1	銀		0.001mg/l未満	1回/年
2	バリウム	0.7	0.07mg/l未満	1回/年
3	ビスマス		0.001mg/l未満	1回/年
4	モリブデン	0.07	0.007mg/l未満	1回/年
5	アクリルアミド	0.0005		検査体制を整備中
6	アクリル酸			
7	17-β-エストラジオール	0.00008 (暫定値)		
8	エチニル-エストラジオール	0.00002 (暫定値)		
9	エチレンジアミン四酢酸 (EDTA)	0.5	0.01mg/l未満	1回/年
10	エピクロロヒドリン	0.0004 (暫定値)	0.00004mg/l未満	1回/年
11	塩化ビニル	0.002	0.0002mg/l未満	1回/年
12	酢酸ビニル		0.001mg/l未満	1回/年
13	2,4-トルエンジアミン			検査体制を整備中
14	2,6-トルエンジアミン			
15	N,N-ジメチルアニリン		0.001mg/l未満	1回/年
16	スチレン	0.02	0.001mg/l未満	1回/年
17	ダイオキシン類	1pg-TEQ/L (暫定値)		検査体制を整備中
18	トリエチレンテトラミン			
19	ノニルフェノール	0.3 (暫定値)	0.03mg/l未満	1回/年
20	ビスフェノールA	0.1 (暫定値)	0.01mg/l未満	
21	ヒドラジン		0.02mg/l未満	
22	1,2-ブタジエン			検査体制を整備中
23	1,3-ブタジエン			
24	フタル酸ジ (n-ブチル)	0.01	0.001mg/l未満	1回/年
25	フタル酸ブチルベンジル	0.5	0.05mg/l未満	1回/年
26	ミクロキスチン-LR	0.0008 (暫定値)		検査体制を整備中
27	有機すざ化合物	0.0006 (暫定値)		
28	ブロモクロロ酢酸		0.01mg/l未満	1回/年
29	ブロモジクロロ酢酸		0.03mg/l未満	1回/年
30	ジブロモクロロ酢酸		0.03mg/l未満	1回/年
31	ブロモ酢酸		0.005mg/l未満	1回/年
32	ジブロモ酢酸		0.005mg/l未満	1回/年
33	トリブロモ酢酸		0.03mg/l未満	1回/年
34	トリクロロアセトニトリル		0.001mg/l未満	1回/年
35	ブロモクロロアセトニトリル		0.001mg/l未満	1回/年
36	ジブロモアセトニトリル	0.06	0.001mg/l未満	1回/年
37	アセトアルデヒド		0.002mg/l未満	1回/年
38	MX	0.001		検査体制を整備中
39	キシレン	0.4	0.001mg/l未満	1回/年
40	過塩素酸	0.025		検査体制を整備中
41	パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)			
42	パーフルオロオクタン酸 (PFOA)			
43	N-ニトロソジメチルアミン (NDMA)	0.0001		
44	アニリン	0.02		
45	キノリン	0.0001		
46	1,2,3-トリクロロベンゼン	0.02		
47	ニトリロ三酢酸 (NTA)	0.2		

※ 富山県水道水質管理計画に基づき、隔年実施。

## 第 6 章

# 料 金

- 1 水道料金の変せん
- 2 水道料金と加入金
  - (1) 水道料金表
  - (2) 加入金
- 3 水道料金収納方法
- 4 用途別水道料金及び使用水量調定内訳

# 第 6 章 料 金

## 1. 水道料金の変せん

用途 年月	一 般 用			業 務 用					
	基本水量	基本料金	超過料金	官 公 署 用			営 業 用		
	(m <sup>3</sup> )	(円)	(円)	(m <sup>3</sup> )	(円)	(円)	(m <sup>3</sup> )	(円)	(円)
昭和 7. 7	10	1	0.07						
11. 2	10	0.85	0.06						
18. 9	10	1.18	0.07						
21. 2	10	2.50	0.15						
21.10	10	8.75	0.50						
22. 4	10	10.62	0.80						
22. 8	10	21.25	2.00						
23. 6	10	40	4.50						
23.10	10	46.25	5.50						
24. 6	10	70	8				10	100	13
27. 9	10	85	10				10	120	13
29.10	10	100	12				10	130	14
32. 4	10	120	15				15	220	17
36. 4	10	160	20				15	260	22
40. 4	10	220	30m <sup>3</sup> まで 27 31m <sup>3</sup> 以上 32	10	220	30	10	220	32
44. 4	10	260	20m <sup>3</sup> まで 35 21m <sup>3</sup> 以上 40	10	300	40	10	300	44
48. 4	10	290	20m <sup>3</sup> まで 47 21m <sup>3</sup> 以上 54	10	400	60	10	400	70
51.10	10	350	30m <sup>3</sup> まで 70 31m <sup>3</sup> 以上 80	10	550		30m <sup>3</sup> まで 31m <sup>3</sup> 以上		85 100
53. 4	10	470	30m <sup>3</sup> まで 85 31m <sup>3</sup> 以上 95	10	670		30m <sup>3</sup> まで 31m <sup>3</sup> 以上		100 115
56. 4	10	600	30m <sup>3</sup> まで 100 31m <sup>3</sup> 以上 125	10	860		30m <sup>3</sup> まで 31m <sup>3</sup> 以上		130 150
58.10	10	780	30m <sup>3</sup> まで 125 31m <sup>3</sup> 以上 160	10	1,100		30m <sup>3</sup> まで 31m <sup>3</sup> 以上		165 200
平成 3.12	10	1,030	20m <sup>3</sup> まで 165 30m <sup>3</sup> まで 170 31m <sup>3</sup> 以上 180	10	1,320		30m <sup>3</sup> まで 50m <sup>3</sup> まで 51m <sup>3</sup> 以上		185 205 225
11.12	10	1,230	20m <sup>3</sup> まで 195 30m <sup>3</sup> まで 200 31m <sup>3</sup> 以上 210	10	1,470		30m <sup>3</sup> まで 50m <sup>3</sup> まで 51m <sup>3</sup> 以上		220 240 265
19. 4	10	1,230	20m <sup>3</sup> まで 193 30m <sup>3</sup> まで 197 31m <sup>3</sup> 以上 205	10	1,470		30m <sup>3</sup> まで 50m <sup>3</sup> まで 51m <sup>3</sup> 以上		216 234 257
26. 4	10	1,216	20m <sup>3</sup> まで 191 30m <sup>3</sup> まで 195 31m <sup>3</sup> 以上 203	10	1,453		30m <sup>3</sup> まで 50m <sup>3</sup> まで 51m <sup>3</sup> 以上		213 231 254

※ 平成元年度・9年度・26年度・令和元年度に消費税導入及び改定に伴う料金改定を実施。

※ 平成26年度から端数処理を10円未満切捨てから1円未満切捨てに変更。

工 場 用			浴 場 營 業 用			共 用 栓		
基本水量	基本料金	超過料金	基本水量	基本料金	超過料金	基本水量	基本料金	超過料金
(m <sup>3</sup> )	(円)	(円)	(m <sup>3</sup> )	(円)	(円)	(m <sup>3</sup> )	(円)	(円)
100	7	0.04	100	7	0.04	8	0.04	0.05
100	5	0.05	100	5	0.04	10	0.30	0.04
80	5	0.05	80	5	0.04	6	0.35	0.05
80	12	0.12	80	11.80	0.11	6	1.50	0.10
80	40	0.40	80	36	0.36	6	3.50	0.50
50	45	0.60	50	40	0.54	6	5.50	0.08
50	45	1.80	50	80	1.62	6	12	1.80
100	100	4.50	100	360	4.10	8	30	4
100	400	5.50	100	400	5	8	30	4
100	750	9	100	500	6	10	50	6
100	900	10	200	1,400	8	10	70	8
100	1,000	12	200	1,600	10	10	85	9
100	1,300	15	200	2,000	13	10	100	10
100	1,700	17	200	2,500	15	10	140	14
10	220	26	10	220	22	10	200	22
30	900	39	10	260	26	10	260	35
30	1,500	65	10	290	35	10	290	47
			10	350	50			
			10	470	65			
			10	600	80			
			10	780	95			
			10	1,030	11m <sup>3</sup> 以上 105			
			10	1,230	11m <sup>3</sup> 以上 120			
			10	1,230	11m <sup>3</sup> 以上 117			
			10	1,216	11m <sup>3</sup> 以上 116			

## 2. 水道料金と加入金

### (1) 水道料金表（1か月、消費税抜き）

平成26年4月1日施行

用途	区分	基本料金		超過料金 (1 m <sup>3</sup> につき)	
		水量	料金		
一般用	0~10 m <sup>3</sup>	1,216 円	11~20 m <sup>3</sup>	191 円	
			21~30 m <sup>3</sup>	195 円	
			31 m <sup>3</sup> 以上	203 円	
業務用	0~10 m <sup>3</sup>	1,453 円	11~30 m <sup>3</sup>	213 円	
			31~50 m <sup>3</sup>	231 円	
			51 m <sup>3</sup> 以上	254 円	
浴場営業用	0~10 m <sup>3</sup>	1,216 円	11 m <sup>3</sup> 以上	116 円	
臨時使用	0~50 m <sup>3</sup>	20,000 円	51 m <sup>3</sup> 以上	500 円	
船舶給水栓	1 m <sup>3</sup> につき 190 円				

### (2) 加入金（消費税抜き）

平成17年11月1日施行

口径 (mm)	13	20	25	30	40	50	75	100 以上
金額 (円)	50,000	80,000	150,000	220,000	450,000	900,000	2,200,000	管理者が定める

※ 水道管の口径を太くする場合は、これまでの口径との差額を納付する。

## 3. 水道料金収納方法

(消費税含む)

年度	調 定		収 納 方 法							
			口 座 制				納 付 制			
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額		
	(件)	(円)	(件)	(%)	(円)	(%)	(件)	(%)	(円)	(%)
H30	398,234	3,009,654,771	327,159	82.2	2,510,203,326	83.4	71,075	17.8	499,451,445	16.6
R元	400,428	2,987,518,042	327,077	81.7	2,480,060,505	83.0	73,351	18.3	507,457,537	17.0
2	394,437	3,020,192,791	322,426	81.7	2,519,293,532	83.4	72,011	18.3	500,899,259	16.6
3	404,232	3,042,522,103	329,311	81.5	2,533,141,782	83.3	74,921	18.5	509,380,321	16.7
4	407,123	3,002,247,507	328,617	80.7	2,487,838,107	82.9	78,506	19.3	514,409,400	17.1

#### 4. 用途別水道料金及び使用水量調定内訳

(消費税含む)

用途	区分	年間 使用水量 (m <sup>3</sup> )	年間 水道料金 (円)	1か 月 平 水道料金 (円)	1か 月 平 均 使用水量 (m <sup>3</sup> )	1 m <sup>3</sup> 平均 水道料金 (円)	1 か 月 1 戸 当 たり 平 均		給水栓数 (栓)
							水道料金 (円)	使用水量 (m <sup>3</sup> )	
一般用	家庭用	11,017,377	2,095,611,955	174,634,330	918,115	190.21	2,785	14.6	62,699
業務用	官公署用	545,465	151,555,791	12,629,649	45,455	277.85	27,942	100.6	452
	営業用	2,167,275	557,856,567	46,488,047	180,606	257.40	9,507	36.9	4,890
	工場用	704,575	190,682,906	15,890,242	58,715	270.64	81,488	301.1	195
	小計	3,417,315	900,095,264	75,007,938	284,776	263.39	13,547	51.4	5,537
	浴場営業用	2,541	353,650	29,471	212	139.18	3,684	26.5	8
	臨時使用	371	185,350	15,446	31	499.60	0	0.0	0
	船舶給水栓	13,657	2,854,313	237,859	1,138	209.00	118,930	569.0	2
	分水	17,703	3,146,975	262,248	1,475	179.30	131,124	737.6	2
	計	14,468,964	3,002,247,507	250,187,292	1,205,747	207.50	3,666	17.7	68,248

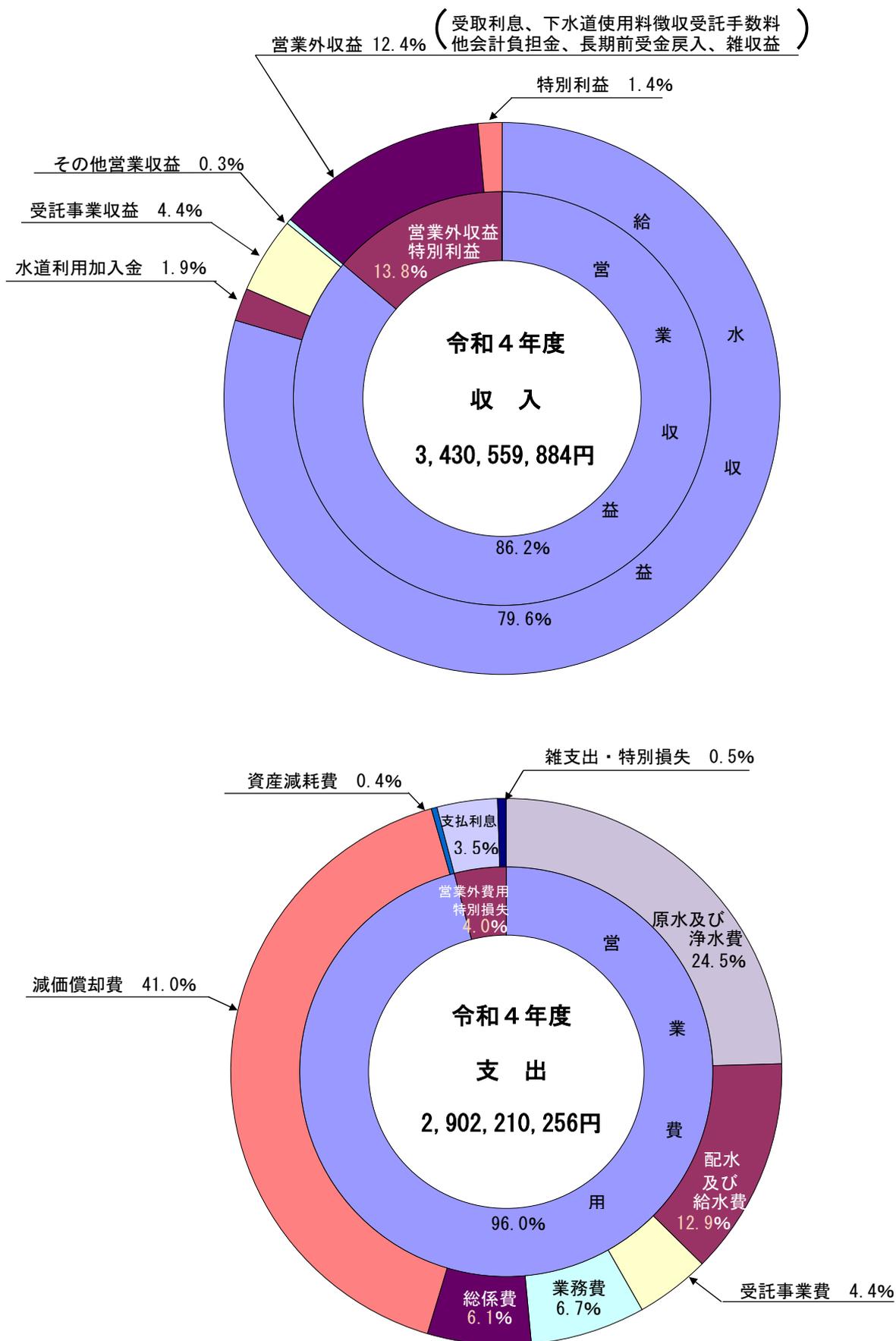
# 第 7 章

## 財 務

- 1 水道事業収益・費用分析グラフ
- 2 損益計算書の推移
- 3 貸借対照表の推移
  - (1) 資産の部（借方）
  - (2) 負債及び資本の部（貸方）
- 4 収益的支出（費用構成）の推移
- 5 原価構成
  - (1) 供給単価・給水原価の推移
  - (2) 部門別原価構成
  - (3) 目的別原価構成
- 6 資本的収支の推移
- 7 固定資産明細書
  - (1) 有形固定資産明細書
  - (2) 投資明細書
- 8 企業債明細書
- 9 キャッシュ・フロー計算書
- 10 経営分析表
  - (1) 業務の概況
  - (2) 収益性
  - (3) 減価償却の状況
  - (4) 財務比率
  - (5) 施設の効率
  - (6) 生産性
  - (7) 料金に関する項目
  - (8) 費用に関する項目

# 第 7 章 財 務

## 1. 水道事業収益・費用分析グラフ（消費税抜き）



## 2. 損益計算書の推移

科目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)
収入	3,367,611,395	100.0	3,355,907,251	100.0	3,315,757,076	100.0
営業収益	2,892,955,706	85.9	2,841,132,990	84.7	2,817,952,297	85.0
給水収益	2,787,017,101	82.7	2,749,674,068	82.0	2,745,976,712	82.8
水道利用加入金	86,890,000	2.6	70,890,000	2.1	50,890,000	1.5
受託事業収益	9,416,225	0.3	11,176,074	0.3	12,404,642	0.4
その他営業収益	9,632,380	0.3	9,392,848	0.3	8,680,943	0.3
営業外収益	434,013,461	12.9	437,614,813	13.0	457,519,281	13.8
受取利息	437,930	0.0	151,271	0.0	221,777	0.0
下水道使用料徴収 受託手数料	94,170,170	2.8	95,082,848	2.8	72,521,183	2.2
他会計負担金	22,322,559	0.6	23,057,493	0.7	69,499,697	2.1
長期前受金戻入	315,900,331	9.4	317,733,149	9.5	314,600,492	9.5
雑収益	1,182,471	0.1	1,590,052	0.0	676,132	0.0
特別利益	40,642,228	1.2	77,159,448	2.3	40,285,498	1.2
固定資産売却益	643,411	0.0	—	—	214,568	0.0
過年度損益修正益	—	—	—	—	—	—
退職給付引当金 戻入益	39,998,817	1.2	77,159,448	2.3	40,070,930	1.2
支出	2,736,146,309	100.0	2,719,879,843	100.0	2,737,506,097	100.0
営業費用	2,582,054,904	94.4	2,576,895,759	94.7	2,601,416,423	95.0
原水及び浄水費	814,615,165	29.8	780,611,337	28.7	785,100,399	28.7
配水及び給水費	233,403,503	8.5	233,791,147	8.6	279,612,996	10.2
受託事業費	6,835,679	0.3	7,745,931	0.3	9,826,762	0.3
業務費	178,487,528	6.5	176,341,393	6.5	174,344,341	6.4
総係費	191,551,072	7.0	196,222,308	7.2	175,291,800	6.4
減価償却費	1,128,231,090	41.2	1,153,977,086	42.4	1,160,494,754	42.4
資産減耗費	28,930,867	1.1	28,206,557	1.0	16,745,371	0.6
営業外費用	154,061,807	5.6	142,404,090	5.3	136,025,637	5.0
支払利息	152,624,425	5.5	140,179,827	5.2	127,138,565	4.7
雑支出	1,437,382	0.1	2,224,263	0.1	8,887,072	0.3
特別損失	29,598	0.0	579,994	0.0	64,037	0.0
固定資産売却損	—	—	526,655	0.0	—	—
過年度損益修正損	29,598	0.0	53,339	0.0	64,037	0.0
退職給付引当金 繰入額	—	—	—	—	—	—
賞与引当金繰入額	—	—	—	—	—	—
差引損益	631,465,086	—	636,027,408	—	578,250,979	—

(消費税抜き)

令和3年度		令和4年度		す う 勢 比 率				
金 額 (円)	構成比率 (%)	金 額 (円)	構成比率 (%)	H30年度 (%)	R元年度 (%)	2年度 (%)	3年度 (%)	4年度 (%)
3,350,064,536	100.0	3,430,559,884	100.0	100	100	98	99	102
2,853,764,097	85.2	2,958,276,686	86.2	100	98	97	99	102
2,766,284,135	82.6	2,729,672,667	79.6	100	99	99	99	98
58,870,000	1.7	65,960,000	1.9	100	82	59	68	76
19,331,470	0.6	152,982,805	4.4	100	119	132	205	1,625
9,278,492	0.3	9,661,214	0.3	100	98	90	96	100
422,776,076	12.6	425,168,212	12.4	100	101	105	97	98
75,065	0.0	48,484	0.0	100	35	51	17	11
73,253,965	2.2	73,907,543	2.2	100	101	77	78	78
35,222,563	1.1	36,493,358	1.1	100	103	311	158	163
313,090,142	9.3	310,146,114	9.0	100	101	100	99	98
1,134,341	0.0	4,572,713	0.1	100	134	57	96	387
73,524,363	2.2	47,114,986	1.4	100	190	99	181	116
1,055,240	0.0	1,013,372	0.0	100	—	—	164	157
36,000	0.0	—	—	—	—	—	—	—
72,433,123	2.2	46,101,614	1.4	100	193	100	181	115
2,714,307,269	100.0	2,902,210,256	100.0	100	99	100	99	106
2,596,008,659	95.6	2,784,838,760	96.0	100	100	101	101	108
728,671,766	26.8	711,994,659	24.5	100	96	96	89	87
285,052,952	10.5	373,807,161	12.9	100	100	120	122	160
24,132,514	0.9	127,432,324	4.4	100	113	144	353	1,864
189,106,980	7.0	195,594,772	6.7	100	99	98	106	110
169,507,204	6.2	176,387,703	6.1	100	102	92	88	92
1,179,325,118	43.5	1,189,667,937	41.0	100	102	103	105	105
20,212,125	0.7	9,954,204	0.4	100	97	58	70	34
118,084,784	4.4	117,313,892	4.0	100	92	88	77	76
114,403,187	4.2	102,577,745	3.5	100	92	83	75	67
3,681,597	0.2	14,736,147	0.5	100	155	618	256	1,025
213,826	0.0	57,604	0.0	100	1,960	216	722	195
85,900	0.0	—	—	—	—	—	—	—
127,926	0.0	57,604	0.0	100	180	216	432	195
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
635,757,267	—	528,349,628	—	—	—	—	—	—

### 3. 貸借対照表の推移

#### (1) 資産の部（借方）

科目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)
固定資産	27,190,242,326	92.4	27,111,007,896	91.9	27,258,392,496	91.8
(1)有形固定資産	26,966,111,326	91.6	26,886,876,896	91.1	27,034,261,496	91.0
土地	199,546,288	0.7	199,546,288	0.7	290,087,524	1.0
建物	212,701,707	0.7	199,167,976	0.7	199,852,124	0.7
構築物	25,477,338,775	86.6	25,490,319,453	86.4	25,604,762,047	86.2
機械及び装置	920,648,705	3.1	838,741,637	2.8	768,739,707	2.6
量水器	71,235,983	0.2	74,464,522	0.2	74,251,913	0.2
車両運搬具	6,402,741	0.0	7,820,549	0.0	6,734,227	0.0
工具器具及び備品	63,637,127	0.2	60,316,471	0.2	50,243,954	0.2
建設仮勘定	14,600,000	0.1	16,500,000	0.1	39,590,000	0.1
(2)投資	224,131,000	0.8	224,131,000	0.8	224,131,000	0.8
出資金	224,131,000	0.8	224,131,000	0.8	224,131,000	0.8
流動資産	2,240,271,898	7.6	2,394,335,078	8.1	2,428,884,193	8.2
(1)現金及び預金	1,899,181,647	6.5	2,034,924,138	6.9	2,036,009,578	6.9
(2)未収金	336,884,177	1.1	326,814,723	1.1	341,456,560	1.2
営業未収金	309,273,836	1.0	311,964,422	1.1	316,716,757	1.1
営業外未収金	4,005,341	0.0	8,751,901	0.0	3,997,503	0.0
その他未収金	23,605,000	0.1	6,098,400	0.0	20,742,300	0.1
(3)貸倒引当金	△ 19,954,482	△ 0.1	△ 19,995,578	△ 0.1	△ 18,850,057	△ 0.1
(4)貯蔵品	11,915,450	0.1	12,040,695	0.1	13,691,755	0.0
(5)前払費用	676,760	0.0	681,080	0.0	683,780	0.0
(6)前払金	11,568,346	0.0	39,870,020	0.1	55,892,577	0.2
資産合計	29,430,514,224	100.0	29,505,342,974	100.0	29,687,276,689	100.0

令和3年度		令和4年度		す う 勢 比 率				
金 額 (円)	構成比率 (%)	金 額 (円)	構成比率 (%)	H30年度 (%)	R元年度 (%)	2年度 (%)	3年度 (%)	4年度 (%)
27,374,045,930	91.8	27,571,609,614	91.2	100	100	100	101	101
27,149,914,930	91.0	27,347,478,614	90.5	100	100	100	101	101
290,087,524	1.0	290,772,949	1.0	100	100	145	145	146
192,671,740	0.6	185,020,047	0.6	100	94	94	91	87
25,739,507,073	86.3	26,021,407,158	86.1	100	100	101	101	102
753,304,424	2.5	700,006,639	2.3	100	91	83	82	76
77,089,900	0.3	68,751,307	0.2	100	105	104	108	97
5,568,469	0.0	4,887,901	0.0	100	122	105	87	76
37,826,800	0.1	26,784,613	0.1	100	95	79	59	42
53,859,000	0.2	49,848,000	0.2	100	113	271	369	341
224,131,000	0.8	224,131,000	0.7	100	100	100	100	100
224,131,000	0.8	224,131,000	0.7	100	100	100	100	100
2,461,334,276	8.2	2,653,128,785	8.8	100	107	108	110	118
2,110,853,920	7.1	2,157,340,258	7.1	100	107	107	111	114
334,413,442	1.1	469,079,103	1.6	100	97	101	99	139
315,565,423	1.1	443,097,418	1.5	100	101	102	102	143
6,756,079	0.0	8,362,685	0.0	100	219	100	169	209
12,091,940	0.0	17,619,000	0.1	100	26	88	51	75
△ 17,416,060	△ 0.1	△ 16,821,245	△ 0.1	100	100	94	87	84
12,619,591	0.0	12,954,932	0.1	100	101	115	106	109
685,940	0.0	991,700	0.0	100	101	101	101	147
20,177,443	0.1	29,584,037	0.1	100	345	483	174	256
29,835,380,206	100.0	30,224,738,399	100.0	100	100	101	101	103

## (2) 負債及び資本の部（貸方）

科目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)
固定負債	7,539,540,987	25.6	7,061,318,422	23.9	6,674,264,079	22.5
(1) 企業債	6,787,999,348	23.1	6,449,621,231	21.8	6,102,637,818	20.6
建設改良等企業債	6,787,999,348	23.1	6,449,621,231	21.8	6,102,637,818	20.6
(2) 引当金	751,541,639	2.5	611,697,191	2.1	571,626,261	1.9
退職給付引当金	677,794,829	2.3	600,635,381	2.0	560,564,451	1.9
修繕引当金	73,746,810	0.2	11,061,810	0.1	11,061,810	0.0
流動負債	850,927,465	2.9	849,289,761	2.9	977,943,017	3.2
(1) 企業債	537,243,542	1.8	568,378,117	2.0	576,983,413	1.9
建設改良等企業債	537,243,542	1.8	568,378,117	2.0	576,983,413	1.9
(2) 未払金	227,522,342	0.8	157,111,424	0.5	306,783,285	1.0
営業未払金	100,498,773	0.4	118,074,768	0.4	122,751,435	0.4
営業外未払金	10,048,600	0.0	22,015,300	0.1	30,392,400	0.1
その他未払金	116,974,969	0.4	17,021,356	0.0	153,639,450	0.5
(3) 引当金	27,301,741	0.1	26,105,514	0.1	26,103,129	0.1
賞与引当金	27,301,741	0.1	26,105,514	0.1	26,103,129	0.1
修繕引当金	—	—	—	—	—	—
(4) その他流動負債	58,859,840	0.2	97,694,706	0.3	68,073,190	0.2
繰延収益	6,963,912,691	23.7	6,845,998,368	23.2	6,670,323,506	22.5
(1) 長期前受金	13,848,567,689	47.1	14,027,292,748	47.5	14,149,999,405	47.7
(2) 長期前受金 収益化累計額	△ 6,884,654,998	△ 23.4	△ 7,181,294,380	△ 24.3	△ 7,479,675,899	△ 25.2
資本金	13,139,461,553	44.6	13,830,198,713	46.9	14,538,415,933	49.0
(1) 自己資本金	13,139,461,553	44.6	13,830,198,713	46.9	14,538,415,933	49.0
剰余金	936,671,528	3.2	918,537,710	3.1	826,330,154	2.8
(1) 資本剰余金	6,944,364	0.0	6,944,364	0.0	6,944,364	0.0
補助金	6,944,364	0.0	6,944,364	0.0	6,944,364	0.0
(2) 利益剰余金	929,727,164	3.2	911,593,346	3.1	819,385,790	2.8
未処分利益剰余金	929,727,164	3.2	911,593,346	3.1	819,385,790	2.8
負債・資本合計	29,430,514,224	100.0	29,505,342,974	100.0	29,687,276,689	100.0

令和3年度		令和4年度		す う 勢 比 率				
金 額 (円)	構成比率 (%)	金 額 (円)	構成比率 (%)	H30年度 (%)	R元年度 (%)	2年度 (%)	3年度 (%)	4年度 (%)
6,302,700,775	21.1	6,237,296,743	20.6	100	94	89	84	83
5,803,507,637	19.5	5,784,205,219	19.1	100	95	90	85	85
5,803,507,637	19.5	5,784,205,219	19.1	100	95	90	85	85
499,193,138	1.6	453,091,524	1.5	100	81	76	66	60
488,131,328	1.6	442,029,714	1.5	100	89	83	72	65
11,061,810	0.0	11,061,810	0.0	100	15	15	15	15
922,365,942	3.1	874,646,822	2.9	100	100	115	108	103
585,130,181	2.0	558,302,418	1.8	100	106	107	109	104
585,130,181	2.0	558,302,418	1.8	100	106	107	109	104
248,067,743	0.8	201,429,236	0.7	100	69	135	109	89
116,984,555	0.4	112,805,712	0.4	100	117	122	116	112
21,270,900	0.1	10,180,700	0.0	100	219	302	212	101
109,812,288	0.3	78,442,824	0.3	100	15	131	94	67
26,529,226	0.1	46,947,458	0.2	100	96	96	97	172
26,529,226	0.1	26,947,458	0.1	100	96	96	97	99
—	—	20,000,000	0.1	—	—	—	—	—
62,638,792	0.2	67,967,710	0.2	100	166	116	106	115
6,571,577,523	22.0	6,509,843,689	21.6	100	98	96	94	93
14,353,149,589	48.1	14,586,620,533	48.3	100	101	102	104	105
△ 7,781,572,066	△ 26.1	△ 8,076,776,844	△ 26.7	100	104	109	113	117
15,172,454,778	50.9	15,817,423,151	52.3	100	105	111	115	120
15,172,454,778	50.9	15,817,423,151	52.3	100	105	111	115	120
866,281,188	2.9	785,527,994	2.6	100	98	88	92	84
6,944,364	0.0	6,944,364	0.0	100	100	100	100	100
6,944,364	0.0	6,944,364	0.0	100	100	100	100	100
859,336,824	2.9	778,583,630	2.6	100	98	88	92	84
859,336,824	2.9	778,583,630	2.6	100	98	88	92	84
29,835,380,206	100.0	30,224,738,399	100.0	100	100	101	101	103

#### 4. 収益的支出（費用構成）の推移

科目	年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)
人件費		348,557,798	12.7	328,808,101	12.1	341,595,769	12.5
・給料		148,410,802	5.4	139,685,287	5.1	153,050,235	5.6
・手当等		58,143,034	2.1	53,397,652	2.0	52,763,190	1.9
・賞与引当金繰入額		22,598,462	0.8	21,671,008	0.8	21,577,885	0.8
・法定福利費		41,983,497	1.6	38,814,642	1.4	39,872,858	1.5
・退職給付費		77,422,003	2.8	75,239,512	2.8	74,331,601	2.7
物件費等経費		47,776,062	1.8	50,385,476	1.9	30,577,001	1.1
・A群		17,402,250	0.7	19,108,309	0.7	986,577	0.0
・B群		14,463,565	0.5	15,981,425	0.6	17,163,492	0.6
・C群		15,910,247	0.6	15,295,742	0.6	12,426,932	0.5
維持管理費		325,872,224	11.9	317,802,031	11.7	328,864,567	12.0
・A群		191,303,649	7.0	210,766,193	7.8	209,113,509	7.6
・B群		59,134,214	2.2	49,962,854	1.8	58,970,923	2.2
・C群		72,337,410	2.6	54,136,337	2.0	57,996,457	2.1
・D群		3,096,951	0.1	2,936,647	0.1	2,783,678	0.1
受水費		671,442,838	24.5	667,264,144	24.5	693,262,137	25.3
動力費		19,667,699	0.7	19,165,623	0.7	17,397,596	0.6
受託事業費		6,835,679	0.3	7,745,931	0.3	9,826,762	0.4
修繕引当金繰入額		—	—	—	—	—	—
貸倒引当金繰入額		4,740,647	0.2	3,540,810	0.1	2,652,466	0.1
減価償却費		1,128,231,090	41.2	1,153,977,086	42.4	1,160,494,754	42.4
資産減耗費		28,930,867	1.1	28,206,557	1.0	16,745,371	0.6
支払利息		152,624,425	5.5	140,179,827	5.2	127,138,565	4.7
雑支出		1,437,382	0.1	2,224,263	0.1	8,887,072	0.3
特別損失		29,598	0.0	579,994	0.0	64,037	0.0
合計		2,736,146,309	100.0	2,719,879,843	100.0	2,737,506,097	100.0

※ 物件費等経費 A群…賃金、恩給及び退職給与金、研修厚生費、旅費、被服費、食糧費、交際費、諸謝金、賠償及び補償費、報償費

B群…光熱費、通信運搬費、備用品費、印刷製本費、図書費、広告料

C群…手数料、賃借料、負担金、公課費、保険料

維持管理費

A群…委託料

B群…量水器補修費、量水器移設費、漏水修理費、給水管整備費、鉛給水管整備費

C群…修繕費、工事請負費、材料費

D群…薬品費、燃料費、下水道使用料

(消費税抜き)

令和3年度		令和4年度		す う 勢 比 率				
金 額 (円)	構成比率 (%)	金 額 (円)	構成比率 (%)	H30年度 (%)	R元年度 (%)	2年度 (%)	3年度 (%)	4年度 (%)
322,208,966	11.9	342,787,478	11.8	100	94	98	92	98
141,582,628	5.2	157,029,206	5.4	100	94	103	95	106
50,657,827	1.9	55,354,192	1.9	100	92	91	87	95
22,066,503	0.8	22,524,158	0.8	100	96	95	98	100
37,797,608	1.4	40,967,267	1.4	100	92	95	90	98
70,104,400	2.6	66,912,655	2.3	100	97	96	91	86
35,217,982	1.3	29,919,478	1.0	100	105	64	74	63
815,726	0.0	1,042,269	0.0	100	110	6	5	6
14,770,053	0.6	16,085,267	0.6	100	110	119	102	111
19,632,203	0.7	12,791,942	0.4	100	96	78	123	80
357,787,655	13.2	437,631,186	15.1	100	98	101	110	134
261,013,490	9.6	261,971,740	9.0	100	110	109	136	137
54,382,010	2.0	78,351,666	2.7	100	84	100	92	132
39,566,295	1.5	94,283,294	3.3	100	75	80	55	130
2,825,860	0.1	3,024,486	0.1	100	95	90	91	98
636,240,042	23.4	603,809,935	20.8	100	99	103	95	90
18,196,716	0.7	20,037,189	0.7	100	97	88	93	102
24,132,514	0.9	127,432,324	4.4	100	113	144	353	1,864
—	—	20,000,000	0.7	—	—	—	—	—
2,687,541	0.1	3,599,029	0.1	100	75	56	57	76
1,179,325,118	43.5	1,189,667,937	41.0	100	102	103	105	105
20,212,125	0.7	9,954,204	0.4	100	97	58	70	34
114,403,187	4.2	102,577,745	3.5	100	92	83	75	67
3,681,597	0.1	14,736,147	0.5	100	155	618	256	1,025
213,826	0.0	57,604	0.0	100	1,960	216	722	195
2,714,307,269	100.0	2,902,210,256	100.0	100	99	100	99	106

## 5. 原価構成

### (1) 供給単価・給水原価の推移

(消費税抜き)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
供給単価 (A)	(円) 189.18	(円) 189.13	(円) 185.05	(円) 188.62	(円) 188.66
給水原価 (B)	(円) 163.81	(円) 164.65	(円) 162.60	(円) 160.84	(円) 169.11
販売利益 (A-B=C)	(円) 25.37	(円) 24.48	(円) 22.45	(円) 27.78	(円) 19.55
利益率 (C/A)×100	(%) 13.41	(%) 12.94	(%) 12.13	(%) 14.73	(%) 10.36

※ 供給単価＝給水収益÷年間総有収水量

※ 給水原価＝{経常費用－(受託事業費＋不用品売却原価＋附帯事業費)－長期前受金戻入}  
÷年間総有収水量

### (2) 部門別原価構成

(消費税抜き)

科目	令和3年度			令和4年度		
	有収水量 14,665,938m <sup>3</sup>			14,468,964m <sup>3</sup>		
	金額 (円)	構成比率 (%)	1 m <sup>3</sup> 当たり (円)	金額 (円)	構成比率 (%)	1 m <sup>3</sup> 当たり (円)
営業費用	2,554,083,995	95.6	152.80	2,639,679,286	95.8	161.00
原水及び浄水費	728,671,766	27.3	49.68	711,994,659	25.8	49.21
配水及び給水費	270,180,202	10.1	18.42	358,999,411	13.0	24.81
業務費	186,187,580	7.0	12.70	192,675,372	7.0	13.31
総係費	169,507,204	6.3	11.56	176,387,703	6.4	12.19
減価償却費	1,179,325,118	44.1	59.06	1,189,667,937	43.2	60.79
資産減耗費	20,212,125	0.8	1.38	9,954,204	0.4	0.69
営業外費用	117,859,829	4.4	8.04	117,313,892	4.2	8.11
支払利息	114,403,187	4.3	7.80	102,577,745	3.7	7.09
雑支出	3,456,642	0.1	0.24	14,736,147	0.5	1.02
合計	2,671,943,824	100.0	160.84	2,756,993,178	100.0	169.11

※ 費用＝経常費用－(受託事業費＋不用品売却原価＋附帯事業費)

※ 給水原価の算出では、減価償却費から長期前受金戻入分を除く

## (3) 目的別原価構成

(消費税抜き)

科目	年 度	令 和 3 年 度			令 和 4 年 度		
	有収水量	14,665,938 <sup>m</sup>			14,468,964 <sup>m</sup>		
	金 額	金 額	構成比率	1 m <sup>3</sup> 当たり	金 額	構成比率	1 m <sup>3</sup> 当たり
		(円)	(%)	(円)	(円)	(%)	(円)
給 料		141,582,628	5.3	9.66	157,029,206	5.7	10.85
手 当 等		50,657,827	1.9	3.45	55,354,192	2.0	3.83
賞与引当金繰入額		22,066,503	0.8	1.50	22,524,158	0.8	1.56
法定福利費		37,797,608	1.4	2.58	40,967,267	1.5	2.83
退職給付費		70,104,400	2.6	4.78	66,912,655	2.4	4.62
人件費計		322,208,966	12.0	21.97	342,787,478	12.4	23.69
受水費		636,240,042	23.8	43.38	603,809,935	21.9	41.73
動力費		18,196,716	0.7	1.24	20,037,189	0.7	1.38
修繕引当金繰入額		0	0.0	0.00	20,000,000	0.7	1.38
貸倒引当金繰入額		2,687,541	0.1	0.18	3,599,029	0.1	0.25
減価償却費		1,179,325,118	44.1	59.06	1,189,667,937	43.2	60.79
支払利息		114,403,187	4.3	7.80	102,577,745	3.7	7.09
委託料		243,221,340	9.1	16.59	244,244,590	8.9	16.88
資産減耗費		20,212,125	0.8	1.38	9,954,204	0.4	0.69
修繕費		30,681,465	1.1	2.09	83,969,077	3.0	5.80
漏水修理費		32,788,798	1.2	2.24	47,563,459	1.7	3.29
鉛給水管整備費		3,258,792	0.1	0.22	7,676,206	0.3	0.53
給水管整備費		5,373,720	0.2	0.37	4,047,901	0.1	0.28
量水器補修費		5,320,700	0.2	0.36	7,329,100	0.3	0.51
燃料費		1,912,500	0.1	0.13	2,128,752	0.1	0.15
薬品費		913,360	0.0	0.06	895,734	0.0	0.06
印刷製本費		1,845,170	0.1	0.13	1,748,860	0.1	0.12
通信運搬費		5,539,631	0.2	0.38	5,730,717	0.2	0.40
備用品費		4,460,273	0.2	0.30	5,403,742	0.2	0.37
手数料		8,277,605	0.3	0.57	8,768,157	0.3	0.61
光熱費		1,818,118	0.1	0.12	2,066,061	0.1	0.14
賃借料		221,858	0.0	0.02	254,140	0.0	0.02
その他		33,036,799	1.3	2.25	42,733,165	1.6	2.95
合 計		2,671,943,824	100.0	160.84	2,756,993,178	100.0	169.11

※ 費用 = 経常費用 - (受託事業費 + 不用品売却原価 + 附帯事業費)

※ 給水原価の算出では、減価償却費から長期前受金戻入分を除く

## 6. 資本的収支の推移

科目	年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)
収入		389,953,981	100.0	411,044,587	100.0	395,609,923	100.0
企業債		250,000,000	64.1	230,000,000	56.0	230,000,000	58.1
配水施設整備事業債		250,000,000	64.1	230,000,000	56.0	230,000,000	58.1
補助金		12,000,000	3.1	17,000,000	4.1	15,835,000	4.0
他会計出資金		35,226,545	9.0	36,575,934	8.9	37,758,685	9.6
他会計負担金		17,044,545	4.4	17,378,556	4.2	21,139,383	5.3
工事負担金		73,583,989	18.9	108,699,400	26.5	89,389,800	22.6
固定資産売却代		2,098,902	0.5	1,390,697	0.3	1,487,055	0.4
支出		1,864,555,527	100.0	1,673,521,130	100.0	1,985,709,211	100.0
水道施設整備事業費		1,311,894,822	70.4	1,100,303,611	65.7	1,295,446,062	65.2
建設改良事業費		217,003,588	11.7	211,513,208	12.6	230,427,820	11.6
配水施設整備事業費		1,094,891,234	58.7	888,790,403	53.1	1,065,018,242	53.6
固定資産購入費		33,985,995	1.8	35,973,977	2.2	121,885,032	6.1
企業債償還金		518,674,710	27.8	537,243,542	32.1	568,378,117	28.7
資本的収支差引額		△ 1,474,601,546	—	△ 1,262,476,543	—	△ 1,590,099,288	—
補 て ん 財 源	過年度分損益勘定 留保資金	1,081,386,567	—	897,870,929	—	1,243,828,311	—
	当年度分損益勘定 留保資金	—	—	—	—	—	—
	減債積立金	298,262,078	—	275,565,938	—	241,134,811	—
	建設改良積立金	—	—	—	—	—	—
	当年度分消費税 及び地方消費税 資本的収支調整額	94,952,901	—	89,039,676	—	105,136,166	—
計		1,474,601,546	—	1,262,476,543	—	1,590,099,288	—

(消費税込み)

令和3年度		令和4年度		す う 勢 比 率				
金 額 (円)	構成比率 (%)	金 額 (円)	構成比率 (%)	H30年度 (%)	R元年度 (%)	2年度 (%)	3年度 (%)	4年度 (%)
537,721,872	100.0	814,154,862	100.0	100	105	101	138	209
286,000,000	53.2	539,000,000	66.2	100	92	92	114	216
286,000,000	53.2	539,000,000	66.2	100	92	92	114	216
58,688,000	10.9	123,450,000	15.2	100	142	132	489	1,029
38,232,612	7.1	35,865,551	4.4	100	104	107	109	102
20,046,784	3.7	14,266,207	1.8	100	102	124	118	84
133,924,900	24.9	101,191,500	12.4	100	148	121	182	138
829,576	0.2	381,604	0.0	100	66	71	40	18
1,997,508,487	100.0	2,083,557,272	100.0	100	90	106	107	112
1,332,194,244	66.7	1,458,668,846	70.0	100	84	99	102	111
338,650,647	17.0	252,866,136	12.1	100	97	106	156	117
993,543,597	49.7	1,205,802,710	57.9	100	81	97	91	110
88,330,830	4.4	39,758,245	1.9	100	106	359	260	117
576,983,413	28.9	585,130,181	28.1	100	104	110	111	113
△ 1,459,786,615	—	△ 1,269,402,410	—	—	—	—	—	—
1,130,103,662	—	908,804,173	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
223,579,557	—	250,234,002	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
106,103,396	—	110,364,235	—	—	—	—	—	—
1,459,786,615	—	1,269,402,410	—	—	—	—	—	—

## 7. 固定資産明細書（令和5年3月31日現在）

### (1) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	290,087,524	685,425	0	290,772,949
建物	616,226,862	0	2,025,000	614,201,862
構築物	51,918,963,314	1,360,491,658	40,372,456	53,239,082,516
機械及び装置	1,798,265,202	33,551,200	0	1,831,816,402
量水器	199,870,996	3,798,200	3,469,134	200,200,062
車両運搬具	46,879,252	0	0	46,879,252
工具器具備品	160,026,641	3,017,255	0	163,043,896
建設仮勘定	53,859,000	3,700,000	7,711,000	49,848,000
合計	55,084,178,791	1,405,243,738	53,577,590	56,435,844,939

### (2) 投資明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
出資金	224,131,000	0	0	224,131,000

(単位：円)

減 価 償 却 累 計 額			年 度 末 償 却 未 済 高
当年度増加額	当年度減少額	累 計	
0	0	0	290,772,949
7,075,319	1,448,626	429,181,815	185,020,047
1,069,213,743	30,994,626	27,217,675,358	26,021,407,158
86,848,985	0	1,131,809,763	700,006,639
11,789,880	3,122,221	131,448,755	68,751,307
680,568	0	41,991,351	4,887,901
14,059,442	0	136,259,283	26,784,613
0	0	0	49,848,000
1,189,667,937	35,565,473	29,088,366,325	27,347,478,614

(単位：円)

備 考
水道用水供給事業出資金

8. 企業債明細書（令和5年3月31日現在）

（単位：円）

事業	年度	借入先	発行総額	当年度償還高	償還高累計	未償還高
更生工事	H 6～H 7	公企業 金融公庫	48,000,000	3,139,570	46,909,384	1,090,616
老朽管 （石綿管）	H 4～H 8	公企業 金融公庫	561,000,000	33,893,913	520,858,664	40,141,336
3次配水施設 整備事業	H 4～H 7	資運 用 金部	2,179,000,000	124,040,774	1,952,391,227	226,608,773
	H 4～H 6	公企業 金融公庫	91,000,000	6,320,111	91,000,000	0
4次配水施設 整備事業	H 8～H12	資運 用 金部	1,543,100,000	70,673,435	1,120,853,821	422,246,179
	H 9～H12	公企業 金融公庫	1,238,900,000	61,595,414	978,365,142	260,534,858
5次配水施設 整備事業	H13～H15	財政融 資金	1,295,000,000	53,443,406	711,196,775	583,803,225
	H14～H17	公企業 金融公庫	960,000,000	42,145,471	495,250,180	464,749,820
整備事業	H18	財政融 資金	300,000,000	11,379,398	113,004,584	186,995,416
1次水道施設 整備事業	H19～H23	財政融 資金	880,000,000	31,643,802	234,358,229	645,641,771
	H20	地方公営企業等 金融機構	200,000,000	8,151,789	68,102,397	131,897,603
2次水道施設 整備事業	H24～H25	財政融 資金	500,000,000	17,588,142	75,511,326	424,488,674
	H26～H28	地方公共団体 金融機構	730,000,000	24,900,183	127,682,111	602,317,889
3次水道施設 整備事業	H29～R 3	地方公共団体 金融機構	1,196,000,000	39,866,702	114,533,460	1,081,466,540
4次水道施設 整備事業	R 4	地方公共団体 金融機構	539,000,000	0	0	539,000,000
水道事業 計			12,261,000,000	528,782,110	6,650,017,300	5,610,982,700

(単位：円)

事業	年度	借入先	発行総額	当年度償還高	償還高累計	未償還高
福岡配水区	H10～H12	資運用金部	313,800,000	11,733,361	269,314,286	44,485,714
	H13～H17	財政融資金	133,500,000	5,426,990	69,684,854	63,815,146
上向田配水区	H12	資運用金部	11,900,000	505,119	7,175,277	4,724,723
	H13、H17	財政融資金	29,400,000	1,214,337	15,870,625	13,529,375
	H17	公営企業庫	25,000,000	1,077,543	11,617,304	13,382,696
五位配水区	H12	資運用金部	7,000,000	297,129	4,220,752	2,779,248
	H13	財政融資金	34,000,000	1,431,661	19,675,568	14,324,432
沢川配水区	H17、H19	財政融資金	15,300,000	579,445	5,719,528	9,580,472
	H19	公営企業庫	7,700,000	318,021	2,900,084	4,799,916
上蓑配水区	H13～H16	財政融資金	131,900,000	5,387,570	73,158,120	58,741,880
福岡南部配水区	H17～H25	財政融資金	538,900,000	20,052,389	175,645,315	363,254,685
	H18～H19	公営企業庫	45,000,000	1,872,371	17,625,562	27,374,438
	H20	地方公営企業等 金融機構	81,100,000	3,305,551	27,615,522	53,484,478
	H26～H28	地方公共団体 金融機構	37,000,000	1,261,675	6,534,119	30,465,881
鉛給水管	H16～H17	財政融資金	48,000,000	1,884,909	21,218,147	26,781,853
旧簡易水道事業計			1,459,500,000	56,348,071	727,975,063	731,524,937
合計			13,720,500,000	585,130,181	7,377,992,363	6,342,507,637

## 9. キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項目	年度	令和4年度 決算	令和3年度 決算	増減(△)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
当年度純利益(△純損失)		528,349,628	635,757,267	△ 107,407,639
減価償却費		1,189,667,937	1,179,325,118	10,342,819
引当金の増加額(△減少)		△ 26,278,197	△ 73,441,023	47,162,826
長期前受金戻入額		△ 310,146,114	△ 313,090,142	2,944,028
固定資産除却損		9,954,204	20,212,125	△ 10,257,921
固定資産売却損・益(△)		△ 1,013,372	△ 969,340	△ 44,032
受取利息収入(△)		△ 48,484	△ 75,065	26,581
支払利息		102,577,745	114,403,187	△ 11,825,442
未収金の増加(△)・減少額		△ 129,138,601	△ 1,607,242	△ 127,531,359
未払金の増加・減少(△)額		△ 15,269,043	△ 14,888,380	△ 380,663
たな卸資産の増加(△)・減少額		△ 335,341	1,072,164	△ 1,407,505
その他の流動資産の増加(△)・減少額		△ 309,354	△ 34,026	△ 275,328
その他の流動負債の増加・減少(△)額		3,462,918	532,602	2,930,316
小計		1,351,473,926	1,547,197,245	△ 195,723,319
利息受取額		48,484	75,065	△ 26,581
利息支払額		△ 102,577,745	△ 114,403,187	11,825,442
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		1,248,944,665	1,432,869,123	△ 183,924,458
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
固定資産取得・建設改良事業等実施額		△ 1,367,169,556	△ 1,296,170,737	△ 70,998,819
固定資産取得・建設改良実施に係る補助金等収入		203,782,891	174,437,375	29,345,516
固定資産売却収入		1,360,285	1,809,400	△ 449,115
投資				0
他会計からの繰入金による収入		14,266,207	20,046,784	△ 5,780,577
投資活動に伴う前払金等の債権の増加(△)・減少額		△ 14,930,060	44,397,360	△ 59,327,420
投資活動に伴う未払金等の債務の増加・減少(△)額		△ 29,503,464	△ 49,794,162	20,290,698
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		△ 1,192,193,697	△ 1,105,273,980	△ 86,919,717
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
建設改良等に係る企業債による収入		539,000,000	286,000,000	253,000,000
建設改良等に係る企業債償還による支出		△ 585,130,181	△ 576,983,413	△ 8,146,768
他会計貸付金による支出		△ 100,000,000	△ 200,000,000	100,000,000
他会計貸付金の返済による収入		100,000,000	200,000,000	△ 100,000,000
他会計からの出資による収入		35,865,551	38,232,612	△ 2,367,061
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		△ 10,264,630	△ 252,750,801	242,486,171
<b>IV 資金増加額(又は減少額)</b>		46,486,338	74,844,342	△ 28,358,004
<b>V 資金期首残高</b>		2,110,853,920	2,036,009,578	74,844,342
<b>VI 資金期末残高</b>		2,157,340,258	2,110,853,920	46,486,338

## 10. 経営分析表

### (1) 業務の概況

項 目		単 位	平 成 30年度	令 和 元年度	令 和 2年度	令 和 3年度	令 和 4 年 度		令和3年度 全国平均
普 及 率	$\frac{\text{給 水 人 口}}{\text{給 水 区 域 内 人 口}} \times 100$	%	90.6	90.6	90.6	90.7	$\frac{149,686}{165,021}$	90.7	94.1
給 水 人 口 1人1日当たり 使 用 水 量	$\frac{\text{1日平均使用水量}}{\text{給 水 人 口}} \times 1,000$	L	260	259	266	266	$\frac{39,641}{149,686}$	265	291

※ 使用水量＝有収水量

### (2) 収益性

(金額：千円)

項 目		単 位	平 成 30年度	令 和 元年度	令 和 2年度	令 和 3年度	令 和 4 年 度		令和3年度 全国平均
総 収 支 比 率	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	%	123.1	123.4	121.1	123.4	$\frac{3,430,560}{2,902,210}$	118.2	112.2
経 常 収 支 率	$\frac{\text{経 常 収 益}}{\text{経 常 費 用}} \times 100$	%	121.6	120.6	119.7	120.7	$\frac{3,383,445}{2,902,152}$	116.6	112.3
営 業 収 支 率	$\frac{\text{営業収益－受託事業収益}}{\text{営業費用－受託事業費}} \times 100$	%	112.0	110.2	108.3	110.2	$\frac{2,805,294}{2,657,406}$	105.6	103.3
自 己 資 本 回 転 率	$\frac{\text{営業収益－受託事業収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \div 2}$	回	0.14	0.13	0.13	0.13	$\frac{2,805,294}{22,861,554}$	0.12	0.13
固 定 資 産 回 転 率	$\frac{\text{営業収益－受託事業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \div 2}$	回	0.11	0.10	0.10	0.10	$\frac{2,805,294}{27,472,828}$	0.10	0.11
未 収 金 回 転 率	$\frac{\text{営業収益－受託事業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) \div 2}$	回	8.39	8.53	8.40	8.39	$\frac{2,805,294}{401,746}$	6.98	7.24
総 資 本 利 益 率	$\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \div 2} \times 100$	%	2.0	1.9	1.8	1.9	$\frac{481,293}{30,030,059}$	1.6	1.2

※ 自己資本＝資本金・剰余金・評価差額等・繰延収益の合計

※ 総資本＝負債・資本の合計

注) 令和3年度全国平均は、総務省編「地方公営企業年鑑」の給水人口15万人以上30万人未満の事業体の平均値。

## (3) 減価償却の状況

(金額：千円)

項 目		単 位	平 成 30年度	令 和 元年度	令 和 2年度	令 和 3年度	令 和 4 年 度		令和3年度 全国平均
減 価 償 却 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{減価償却費}} \times 100$	%	4.0	4.1	4.2	4.2	$\frac{1,189,668}{28,196,526}$	4.2	4.2
有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 率	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	%	47.9	49.1	50.1	51.0	$\frac{29,088,367}{56,095,224}$	51.9	50.1
企 業 債 償 還 元 金 対 減 価 償 却 費 率	$\frac{\text{企 業 債 償 還 元 金}}{\text{減 価 償 却 費}} \times 100$	%	46.0	46.6	49.0	48.9	$\frac{585,130}{1,189,668}$	49.2	53.9

## (4) 財務比率

(金額：千円)

項 目		単 位	平 成 30年度	令 和 元年度	令 和 2年度	令 和 3年度	令 和 4 年 度		令和3年度 全国平均
流 動 比 率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	%	263.3	281.9	248.4	266.9	$\frac{2,653,129}{874,647}$	303.3	306.1
当 座 比 率 (酸性試験比率)	$\frac{\text{現金預金} + \text{(未収金-貸倒引当金)}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	%	260.4	275.7	241.2	263.2	$\frac{2,609,598}{874,647}$	298.4	290.5
固 定 資 産 構 成 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	%	92.4	91.9	91.8	91.8	$\frac{27,571,609}{30,224,738}$	91.2	87.7
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	%	95.1	94.6	94.9	94.7	$\frac{27,571,609}{29,350,092}$	93.9	91.4
固 定 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	%	129.2	125.5	123.7	121.1	$\frac{27,571,609}{23,112,794}$	119.3	123.7
自 己 資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	%	71.5	73.2	74.2	75.8	$\frac{23,112,794}{30,224,738}$	76.5	70.9
固 定 負 債 構 成 比 率	$\frac{\text{固 定 負 債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	%	25.6	23.9	22.5	21.1	$\frac{6,237,297}{30,224,738}$	20.6	25.1

## (5) 施設の効率

(金額：万円)

項 目		単位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和4年度		令和3年度 全国平均
施設利用率	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	%	57.0	56.2	57.8	56.7	$\frac{43,210}{77,237}$	55.9	62.6
最大稼働率	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	%	63.8	64.4	70.7	66.5	$\frac{66,013}{77,237}$	85.5	68.4
負 荷 率	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	%	89.4	87.2	81.8	85.3	$\frac{43,210}{66,013}$	65.5	91.5
固定資産 使用効	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	m <sup>3</sup> /万円	6.06	6.00	6.12	5.91	$\frac{15,771,796}{2,734,748}$	5.77	6.74
配 水 管 使用効	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	m <sup>3</sup> /m	13.04	12.84	13.13	12.69	$\frac{15,771,796}{1,269,403}$	12.42	18.91
有 収 率	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	%	90.2	90.1	89.6	91.4	$\frac{14,468,964}{15,771,796}$	91.7	90.2

## (6) 生産性

(金額：千円)

項 目		単位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和4年度		令和3年度 全国平均
職員一人当たり 給 水 人 口	$\frac{\text{給 水 人 口}}{\text{損益勘定職員数}}$	人	3,523	3,657	3,052	3,214	$\frac{149,686}{46}$	3,254	3,326
職員一人当たり 有 収 水 量	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	m <sup>3</sup>	334,822	346,164	296,775	312,041	$\frac{14,468,964}{46}$	314,543	353,219
職員一人当たり 営 業 収 益	$\frac{\text{営業収益-受託事業収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	千円	65,535	67,380	56,111	60,307	$\frac{2,805,294}{46}$	60,985	63,277
職員一人当たり 給 水 収 益	$\frac{\text{給 水 収 益}}{\text{損益勘定職員数}}$	千円	63,341	65,468	54,920	58,857	$\frac{2,729,673}{46}$	59,341	60,539

※ 令和2年度より会計年度任用職員制度開始に伴い、損益勘定職員数に会計年度任用職員を含む

## (7) 料金に関する項目

(金額：円)

項 目		単位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和4年度		令和3年度 全国平均
給水原価	経常費用－(受託事業費+不用品 売却原価+附帯事業費)－長期 前受金戻入	円/m <sup>3</sup>	163.81	164.65	162.6	160.84	2,446,847,064	169.11	162.77
	年間総有収水量								
供給単価	給水収益	円/m <sup>3</sup>	189.18	189.13	185.05	188.62	2,729,672,667	188.66	171.39
	年間総有収水量								
回収率	供給単価	%	115.5	114.9	113.8	117.3	188.66	111.6	105.3
	給水原価 ×100								
1か月 10m <sup>3</sup> あたり 家庭用料金	10m <sup>3</sup> あたり料金×消費税	円	1,313	1,337	1,337	1,337	1,337		1,308

## (8) 費用に関する項目

(金額：千円)

項 目		単位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和4年度		令和3年度 全国平均
費用構成比	職員給与費	%	10.0	9.3	9.8	9.3	273,915	9.9	11.3
	支払利息	%	5.6	5.2	4.7	4.3	102,578	3.7	3.8
	減価償却費	%	41.3	42.6	42.5	44.1	1,189,668	43.2	37.3
	動力費及び薬品費	%	0.7	0.7	0.6	0.7	20,933	0.7	4.1
	修繕費	%	3.7	2.9	2.7	2.6	143,257	5.1	4.5
	委託料	%	7.0	7.8	7.7	9.1	244,245	8.9	11.8
	その他	%	31.7	31.5	32.0	29.9	782,397	28.5	27.2

※ 費用 = 経常費用 - (受託事業費 + 不用品売却原価 + 附帯事業費)

※ 職員給与費…給料 + 手当等(児童手当除く) + 法定福利費 + 退職給付費(退職負担金除く)

※ 令和2年度より会計年度任用職員制度開始に伴い、職員給与費に会計年度任用職員を含む

※ 修繕費…修繕費 + 漏水修理費 + 給水管整備費 + 鉛給水管整備費

(金額：千円)

項 目		単位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和4年度		令和3年度 全国平均
給水収益に 対する割合	職員給与費	%	9.7	9.2	9.7	9.0	273,915	10.0	11.8
	企業債利息	%	5.5	5.1	4.6	4.1	102,578	3.8	4.0
	減価償却費	%	40.5	42.0	42.3	42.6	1,189,668	43.6	39.2
	企業債償還元金	%	18.6	19.5	20.7	20.9	585,130	21.4	21.1
職員給与費 対 営業収益比率	職員給与費 営業収益－受託事業収益 ×100	%	9.4	8.9	9.5	8.8	273,915 2,805,294	9.8	11.3
有収水量 1万m <sup>3</sup> /日あたり 職員数	職員数 年間総有収水量 ÷ 365 ÷ 1万m <sup>3</sup>	人	10.9	10.6	12.3	11.7	46 3.96	11.6	10.3
利子負担率	支払利息+企業債取扱諸費 建設改良の財源に充てる ための企業債・長期借入金 +その他の企業債・長期借入金 +一時借入金+リース債務 ×100	%	2.1	2.0	1.9	1.8	102,578 6,342,508	1.6	1.4

※ 職員給与費…給料 + 手当等(児童手当除く) + 法定福利費 + 退職給付費(退職負担金除く)

※ 有収水量1万m<sup>3</sup>/日あたり職員数…分母中の365(日)は閏年については366(日)で計算(令和元年度)

※ 令和2年度より会計年度任用職員制度開始に伴い、職員給与費及び損益勘定職員数に会計年度任用職員を含む

# 第 8 章

## 組 織

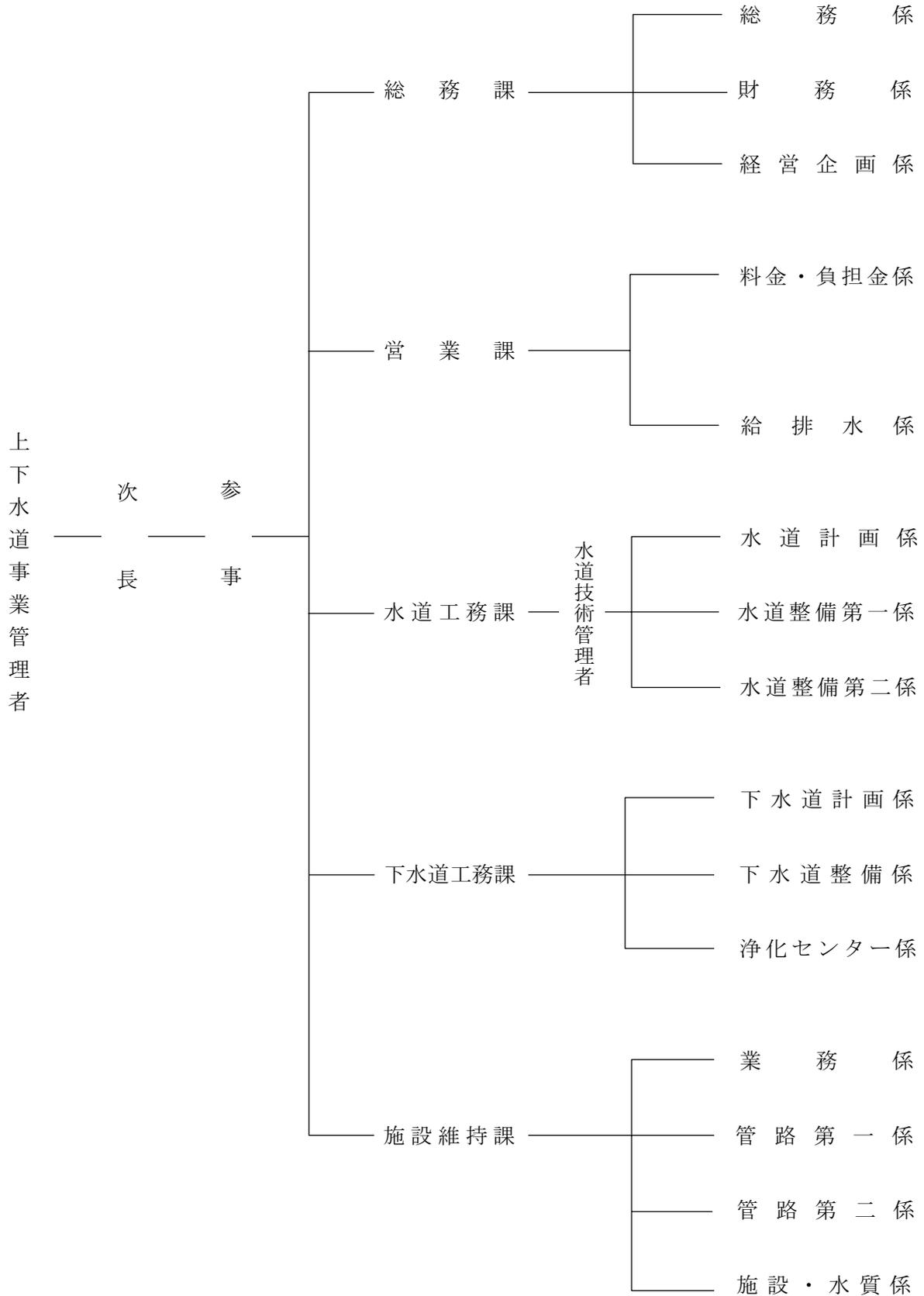
1 機 構 図

2 職 員 配 置 図

3 事 務 分 掌

# 第 8 章 組 織

## 1. 機 構 図 (令和5年4月1日現在)



2. 職員配置図 (管理者・再任用短時間勤務職員等を除く)

(令和5年4月1日現在)

職名 課係名		事務職員							技術職員							技能 労務 職員	合 計					
		次 長	課 長	主 幹	副 課 長	副 主 幹	係 長	主 任	主 事	計	参 事	課 長	総 括 専 門 員	主 幹	副 課 長			係 長	主 査	主 任	技 師	計
		1							1	1										1		2
総 務 課	総務係		1						1													1
	財務係				1			2	2	5												5
	経営企画係							1	1	2	4											4
	計							2		2					1					1		3
		1		1		1	5	4	12					1						1		13
営 業 課										1										1		1
	料金・負担金係						1	1	1	3												3
	給排水係														1				2	3		3
							1	1	1	3	1				1				2	4		7
水 道 工 務 課										1	1									2		2
	水道計画係								1	1					1			1		2		3
	水道整備第一係														1			3	1	5		5
	水道整備第二係															1		2	1	4		4
								1	1	1	1		1	2		6	2	13		14		
下 水 道 工 務 課										1										1		1
	下水道計画係							1	1	2					1		3	1	5		7	
	下水道整備係														1		3	2	6		6	
	浄化センター係														1		2		3		3	
							1	1	2	1				3		8	3	15		17		
施 設 維 持 課										1										1		1
	業務係						1	1	2									1	1		3	
	管路第一係													1			1	1	3	1	4	
	管路第二係														1		1	2	4		4	
	施設・水質係							1	1						1			1	2		3	
							1	2	3	1				1	2		3	4	11	1	15	
合 計		1	1	0	1	0	3	9	7	22	1	4	1	0	2	9	0	17	11	45	1	68

## 2. 事務分掌（令和5年4月1日現在）

### 総務課

- (1) 局内の庶務及び事務の連絡調整に関する事。
- (2) 議会对応に関する事。
- (3) 職員の任免、分限、懲戒及び服務に関する事。
- (4) 職員等の給与、人事及び勤務時間その他の勤務条件に関する事。
- (5) 職員の研修及び福利厚生に関する事。
- (6) 工事、物品等の入札及び契約に関する事。
- (7) 賠償責任保険等の契約及び車両等の事故処理事務に関する事。
- (8) 条例、管理規程等の審査、制定及び改廃に関する事。
- (9) 文書の保管、保存及び廃棄に関する事。
- (10) 公印の管理に関する事。
- (11) 日本水道協会、下水道関係団体及びその他関係団体との連絡調整に関する事。
- (12) 労働組合に関する事。
- (13) 本庁舎の管理に関する事。
- (14) 財政計画、資金計画及び起債計画に関する事。
- (15) 予算の編成及び執行管理に関する事。
- (16) 決算の調整に関する事。
- (17) 財産の取得、管理及び処分に関する事。
- (18) 経営資料に関する事。
- (19) 受水に関する事。
- (20) 高岡市総合計画の調整及び進行管理に関する事。
- (21) 上下水道ビジョンに関する事。
- (22) 災害対策及び危機管理体制に関する事。
- (23) 広域連携及び官民連携に関する事。
- (24) 広報、広聴及び情報公開に関する事。
- (25) 情報システムに関する事。
- (26) DXの推進に関する事。
- (27) カーボンニュートラルに関する事。

### 営業課

- (1) 営業サービスの向上に関する事。
- (2) 上下水道利用に係る相談及び苦情処理に関する事。
- (3) 料金システムの円滑運営に関する事。
- (4) 給水装置工事事業者及び排水設備工事店の指定、審査、指導等に関する事。
- (5) 上下水道料金、加入金、受託工事その他の収入の調定及び納付書の発行に関する事。
- (6) 上下水道料金等の収納に関する事。
- (7) 上下水道料金徴収等包括業務の管理監督及び指導に関する事。
- (8) 上下水道料金等の欠損業務に関する事。
- (9) 下水道事業受益者負担金の徴収に関する事。
- (10) 給排水サービス向上に関する事。
- (11) 給水需要開発に関する事。
- (12) 給水装置工事申請及び排水設備工事申請の受付、審査並びに承認等に関する事。
- (13) 専用水道及び貯水槽水道の監視、指導、助言等に関する事。
- (14) 専用水道の布設工事設計確認、給水開始届の受理、立入検査等に関する事。
- (15) 所管予算の適正執行に関する事。

## 水道工務課

- (1) 道路占用等の届出業務及び断水通知に関すること。
- (2) 国庫補助申請に関すること。
- (3) 水道施設整備に係る工事の施工計画、指揮、設計及び監督に関すること。
- (4) 水道管路、水道施設整備の設計及び積算基準に関すること。
- (5) 開発行為等に係る工事の審査及び監督に関すること。
- (6) 水道管路、水道施設の整備計画に関すること。
- (7) 管路管理システム及び設計積算システムの円滑運営に関すること。
- (8) 上下水道震災対策計画及び水質汚染事故対策計画に関すること。
- (9) 防災訓練の計画及び実施に関すること。
- (10) 認可（届出）に関すること。
- (11) 所管予算の適正執行に関すること。

## 下水道工務課

- (1) 下水道事業の計画及び工事の設計施工に関すること。
- (2) 下水道施設の更新計画及び工事の設計施工に関すること。
- (3) 浄化センター、ポンプ場等の包括的民間委託業務の監視及び評価に関すること。
- (4) 下水道事業受益者負担金の賦課及びシステムの運用管理に関すること。
- (5) 国庫補助申請に関すること。
- (6) 排水区域及び処理区域の告示に関すること。
- (7) 下水道台帳に関すること。
- (8) 開発行為及び建築行為の審査及び指導に関すること。
- (9) 下水道施設の占用に関すること。
- (10) 流域下水道との調整に関すること。
- (11) 特定事業場に関すること。
- (12) 下水道事業及び農業集落排水事業の統計に関すること。
- (13) 内水対策及び災害時の対応に関すること。
- (14) 所管予算の適正執行に関すること。

## 施設維持課

- (1) 上関庁舎の維持管理に関すること。
- (2) 災害用資材等の管理運用に関すること。
- (3) 車両の安全運行管理及び更新等の計画に関すること。
- (4) 公道漏水修繕工事、給水管整備工事等の施工及び精算に関すること。
- (5) 管路パトロール及び他企業等との立会い業務に関すること。
- (6) 消火栓、仕切弁等の図面台帳に関すること。
- (7) 漏水防止対策の計画書の策定及び調査に関すること。
- (8) 公共下水道、流域下水道、農業集落排水施設の管渠施設の維持管理及び修繕に関すること。
- (9) 給水装置の苦情に係る相談及び調査に関すること。
- (10) 集中監視設備の管理及び運用に関すること。
- (11) 水道用地、施設の維持管理及び保全に関すること。
- (12) 水質の検査及び調査に関すること。
- (13) 水安全計画の運用に関すること。
- (14) 量水器の管理業務に関すること。
- (15) 上下水道料金徴収等包括業務の管理監督及び指導に関すること。
- (16) 所管予算の適正執行に関すること。

# 第 9 章

## 経 営 目 標

### 1 経営目標と年度別実績

## 第9章 経営目標

### 1. 経営目標と年度別実績

業務指標名		業務指標の定義	業務評価	令和3年度	令和4年度	令和8年度経営目標値
経営の健全性	経常収支比率 (%)	経常収益／経常費用×100	↑	120.7	116.6	107.5
	累積欠損金比率 (%)	累積欠損金／(営業収益－受託工事収益)×100	↓	0	0	0
	流動比率 (%)	流動資産／流動負債×100	↑	266.9	303.3	246.0
	企業債残高対給水収益比率 (%)	企業債残高／給水収益×100	↓	230.9	232.4	262.0
経営の効率性	料金回収率 (%)	供給単価／給水原価×100	↑	117.3	111.6	102.8
	給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	経常費用－(受託事業費＋不用品売却原価＋附帯事業費)－長期前受金戻入／年間総有収水量	↓	160.84	169.11	183.20
施設の効率性	施設利用率 (%)	一日平均配水量／一日配水能力×100	↑	56.7	55.9	54.9
	有収率 (%)	年間総有収水量／年間総配水量×100	↑	91.4	91.7	90.7
施設管理	有形固定資産減価償却率 (%)	有形固定資産減価償却累計額／有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価×100	↑	51.0	51.9	54.8
	管路経年化率 (%)	法定耐用年数を超過している管路延長／管路延長×100	↓	26.7	28.4	33.6
	管路更新率 (%)	更新された管路延長／管路延長×100	↑	0.44	0.62	0.48
	管路の耐震化率 (%)	耐震管延長／管路延長×100	↑	25.3	25.8	28.7
	配水池の耐震化率 (%)	耐震対策の施された配水池有効容量／配水池等有効容量×100	↑	64.1	64.1	64.3

※ 業務評価記号の凡例

↑…高いほど良い    ↓…低いほど良い

## 第 1 章

# 沿 革

- 1 工業用水道事業のあゆみ
- 2 工業用水道の事業及び工事の概要

# 第 1 章 沿 革

## 1. 工業用水道事業のあゆみ

年 月 日	事 項
昭和	
29. 10.	新牧野用水の余剰水を利用し、工業用水として日本鋼管(株)へ供給を開始する。
33. 2. 17	市臨時議会において「高岡市工業用水道事業会計の設置」が可決され、工業用水道事業として発足する。 日本重化学工業(株)より給水の申し込みを受ける。
33. 3. 27	高岡市工業用水道給水条例が制定される。
33. 4. 1	新牧野用水の補強工事を施工し、2 事業所へ供給を開始する。
36. 6.	小矢部川水系の建設工事 (6 月～10 月) に着工。
36. 11.	日重鋼機工業(株)・東亜合成化学工業(株)へ供給を開始する。
38. 3. 15	小矢部川水系の水利使用が許可される。(県知事)
38. 4. 30	新牧野用水の余剰水では水量不足が生じるため、新たに庄川の表流水を水源とする第 1 期拡張事業 (昭和 38 年度～昭和 39 年度) に着工。
38. 11. 15	庄川水系の水利使用が許可される。(県知事)
39. 3. 24	工業用水道法の施設基準に適合する旨の許可を得る。(通商産業省)
39. 12.	サンエツ金属(株)より給水申し込みを受け庄川水系にて対応する。(昭和 40 年 9 月供給開始)
45. 4. 1	需要の増加に対応するため、第 2 期拡張事業に着工。
46. 1. 30	庄川水系の水利使用変更が許可される。(建設省、増量申請)
46. 4. 1	工業用水道料金改定。(平均 24.0%値上げ)
46. 5. 31	給水能力変更届が許可される。(通商産業省、第 2 期拡張事業による)
49. 3. 30	小矢部川水系の取水能力変更申請を提出する。(建設省)
51. 6. 1	両水系の取水設備の点検及び取水の防塵作業を民間へ委託する。
51. 6. 28	給水能力変更届が許可される。(通商産業省)
51. 10. 1	工業用水道料金改定。(平均 43.1%値上げ)
53. 2. 1	庄川水系水利使用期間の更新申請を提出する。(建設省)
55. 10. 1	庄川水系の水利使用期間が承認される。(建設省、昭和 63 年 3 月 31 日まで)
56. 4. 1	小矢部川水系を富山県企業局へ移管売却する。 工業用水道料金改定。(平均 43.6%値上げ)
60. 3. 15	遠方監視装置の稼働。
62. 6. 15	取水口除塵装置の稼働。
63. 12. 21	庄川水系の水利使用期間が承認される。(建設省、平成 10 年 3 月 31 日まで) 取水口スクリーン装置の稼働。
平成	
元. 3. 12	給水能力変更届を提出する。(通商産業省、新牧野用水からの取水不能により)
元. 3. 27	消費税導入に伴う料金改定が議決、平成元年 4 月 1 日施行。
3. 4. 1	老朽管 (石綿管) 布設替工事 (平成 3 年度～平成 9 年度) に着工。
3. 7. 11	取水ポンプ場の高圧引込線及び電気設備の老朽化に伴い、電気設備全般の更新に着工。
6. 9. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (15%減量、日本重化学工業(株) 27,030 m <sup>3</sup> /日、日本鋼管(株) 21,760 m <sup>3</sup> /日)

年 月 日	事 項
平成	
9. 3. 26	消費税率改定に伴う料金改定が議決、平成9年4月1日施行。
10. 1. 14	庄川水系水利使用期間の更新申請を提出する。(建設省)
10. 3. 4	庄川水系の水利使用期間が承認される。(建設省、平成20年3月31日まで)
10. 4. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (日本重化学工業(株) 23,530 m <sup>3</sup> /日、サンエツ金属(株) 1,800 m <sup>3</sup> /日)
11. 4. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (日本重化学工業(株) 6,000 m <sup>3</sup> /日、日本鋼管(株) 20,760 m <sup>3</sup> /日)
11. 7. 1	日本鋼管(株)がエヌケーケーマテリアル(株)に社名変更。
12. 4. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (サンエツ金属(株) 2,600 m <sup>3</sup> /日)
13. 10. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (日本重化学工業(株) 5,200 m <sup>3</sup> /日、エヌケーケーマテリアル(株) 18,200 m <sup>3</sup> /日)
15. 4. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (日本重化学工業(株) 3,000 m <sup>3</sup> /日) エヌケーケーマテリアル(株)がJ F Eマテリアル(株)に社名変更。
17. 10. 14	工業用水道供給の契約水量の変更。 (J F Eマテリアル(株) 23,200 m <sup>3</sup> /日)
17. 11. 1	<b>高岡市と福岡町が合併し、新「高岡市」誕生。</b>
18. 1. 10	工業用水道供給の契約水量の変更。 (サンエツ金属(株) 2,770 m <sup>3</sup> /日)
18. 2. 21	工業用水道供給の契約水量の変更。 (J F Eマテリアル(株) 18,200 m <sup>3</sup> /日)
20. 3. 27	庄川水系水利使用期間の更新申請を提出。(国土交通省)
21. 5. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (J F Eマテリアル(株) 16,000 m <sup>3</sup> /日、サンエツ金属(株) 2,600 m <sup>3</sup> /日)
26. 3. 20	消費税率改定に伴う料金改定が議決、平成26年4月1日施行。
26. 4. 1	<b>高岡市上下水道事業の組織統合により、『高岡市上下水道局』が発足。</b>
26. 4. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (J F Eマテリアル(株) 15,000 m <sup>3</sup> /日)
27. 7. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (J F Eマテリアル(株) 14,000 m <sup>3</sup> /日)
28. 7. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (J F Eマテリアル(株) 12,000 m <sup>3</sup> /日)
28. 10. 31	3号配水ポンプ更新工事完成。(工事費 19,440 千円)
29. 3. 31	<b>高岡市上下水道ビジョン(計画期間：平成29年度～平成38年度)の策定・公表。</b>
29. 4. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (J F Eマテリアル(株) 9,000 m <sup>3</sup> /日、サンエツ金属(株) 3,700 m <sup>3</sup> /日)
30. 2. 23	庄川水系水利使用期間の更新申請を提出。(国土交通省)
30. 2. 28	原水系水質計器設置。(工事費 5,264 千円)

年 月 日	事 項
平成	
31. 3. 26	消費税率改定に伴う料金改定が議決、令和元年10月1日施行。
令和	
元. 9. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (JFEマテリアル(株) 11,300 m <sup>3</sup> /日)
2. 12. 1	工業用水道供給の契約水量の変更。 (JFEマテリアル(株) 9,000 m <sup>3</sup> /日)
4. 3.	高岡市上下水道ビジョンの見直し。
4. 4. 1	JFEマテリアル(株)がJFEミネラル(株)に社名変更。
5. 3. 24	工業用水道料金単価4.3円/m <sup>3</sup> から7.0円/m <sup>3</sup> への改定が議決、令和5年4月1日施行。 (令和5年4月1日から令和7年3月31日までは経過措置により5.7円/m <sup>3</sup> )

## 2. 工業用水道の事業及び工事の概要

(単位:円、税抜き)

工事名	年 度	主 な る 工 事 内 容	費 用
農業用水 補強改良 工事	S33	取水ポンプ室 (19.8 m <sup>2</sup> ) 導水路築造 (1,535m) 取水ポンプ (15ps×2台) 電気設備 (1式)	10,500,000
取水工事	S36～S37	導水路築造 (820m) 用水路笠上 (520m) 取水ポンプ (1台)	7,900,000
第1期 拡張事業	S38～S39	取水口 着水井 配水ポンプ (7 m <sup>3</sup> /分×4台、水中ポンプ) 電気室 (コンクリートブロック造り、13.2 m <sup>2</sup> ) 配水管 (φ200mm A C P=477m、φ250mm G=270m、φ600mm A C P= 4,100m、φ250mm G Pコンクリート造=47m) 4,894m メータ室 (鉄筋コンクリート、4m×5m×1.8m)	68,000,000
第2期 拡張事業	S45	取水口 樋管 (鉄筋コンクリート1.2m×1.2m) L=129.74m 着水井 (鉄筋コンクリートD=6m、H=11m) 電気室 (コンクリートブロック造り、5.4m×7.2m) 電気設備 (受電、配電盤) 1式 配水管 (φ900mm D I P=850m、φ700mm D I P=1,450m) L=2,300m 量水器設備 (φ900mm ベンチュリーメータ) 1基	145,000,000
遠方監視 設備	S59	監視装置 (1式) 監視区間 庄川水系工業用水道電気室～上関コントロール室	8,900,000
取水口 除塵設備	S62	鋼管 (φ500mm×18m×2本) 並列 鋼管杭 (φ500mm×2本)	5,730,000
取水口 スクリーン	S63	スクリーン (上部幅 1.2m、下部幅 1.8m) L=13.2m H= 1.9m	8,440,000
電気設備 改良工事	H 3	受配電盤 (1式) ポンプ盤 (1式) 等	75,000,000
老朽管 布設替工事 (石綿管)	H 3	φ 600 mm D I P L=465m	35,458,000
	H 4	φ 600 mm D I P L=404m	44,650,000
	H 5	φ 600 mm D I P L=370m	61,400,000
	H 6	φ 600 mm D I P L=235m	50,000,000
	H 7	φ 500 mm D I P L=220m	25,270,000
	H 8	φ 500 mm D I P L=146m	18,437,000
	H 9	φ 200 mm D I P L=295m	16,209,900
配水管 移設工事 (県道改良)	H22	φ 600 mm D I P L=308m	70,232,000

工事名	年 度	主 なる 工 事 内 容	費 用
配水ポンプ 更新工事	H28	3号配水ポンプ (300A×10.5m <sup>3</sup> /分×20m×55KW)	18,000,000
原水系水質 計器設置	H29	水質自動測定装置 (濁度、PH、水温)	4,874,000

## 第 2 章

# 工業用水道施設整備計画

工  
水  
施  
設  
整  
備  
計  
画

### 1 第4次工業用水道施設整備事業の推移

## 第 2 章 工業用水道施設整備計画

### 1. 第 4 次工業用水道施設整備事業の推移

年 度		令和 4 年度		令和 5 年度	
		事業量 (台)	金額 (千円)	事業量 (台)	金額 (千円)
水 質 計 器 の 整 備	計 画				
	実 績				
流 量 計 の 整 備	計 画				
	実 績				
ポ ン プ の 更 新	計 画				
	実 績				
水 位 計 の 更 新	計 画				
	実 績				
高 圧 受 電 機 器 の 更 新	計 画	1	3,102		
	実 績	1	1,100		
計	計 画	1	3,102		
	実 績	1	1,100		
財	地 方 債	計 画			
		実 績			
源	そ の 他	計 画			
		実 績			
内	一 般 財 源	計 画		3,102	
		実 績		1,100	
訳	合 計	計 画		3,102	
		実 績		1,100	
累 積 進 捗 率 (%)		計 画		9.4	
		実 績		3.3	

令和6年度		令和7年度		令和8年度		計	
事業量(台)	金額(千円)	事業量(台)	金額(千円)	事業量(台)	金額(千円)	事業量(台)	金額(千円)
1	30,000					1	30,000
						1	3,102
						1	1,100
1	30,000					2	33,102
						1	1,100
	30,000						33,102
							1,100
	30,000						33,102
							1,100
	100.0						100.0

## 第 3 章

# 施設 の 概 要

- 1 石瀬ポンプ場
- 2 管布設状況

# 高岡市工業用水道概況図



施設概要		供給現況	
取水地点及取水量・水系 高岡市石瀬606-2地先（庄川左岸）		水量	契約水量 (1日当たり)
取水口	取水樋管 (RC1.2m×1.2m) L=129.74m	供給先	
着水井	円形鉄筋コンクリート造り 内径6m 深さ10m 1井	庄川水系	日本重化学工業㈱ 3,000m³
配水ポンプ	水中モーターポンプ φ300mm×10.5 <sup>m³</sup> /分×20m×50kw×1台 φ300mm×10.5 <sup>m³</sup> /分×20m×55kw×3台 φ300mm×11.5 <sup>m³</sup> /分×20m×55kw×1台		JFEミネラル㈱ 9,000m³
電気室	コンクリートブロック造り 5.4m×7.2m		サンエツ金属㈱ 3,700m³
量水器及び電気設備	φ900mmベンチュリメーター 1基 φ200mm量水器 1基 受配電盤 1式 水質自動測定装置 (濁度、PH、水温)	計	15,700m³
配水管	φ200mm～φ900mm L=4,582m		



## 第 4 章

# 業務統計及び料金

- 1 供給水量及び契約単価
- 2 月別使用料金
- 3 供給水量の推移
- 4 料金の変せん
- 5 水質検査状況

## 第 4 章 業 務 統 計 及 び 料 金

### 1. 供給水量及び契約単価

供 給 先	供 給 水 量		1m <sup>3</sup> 当たりの 契 約 単 価 (円)
	日 量 (m <sup>3</sup> )	年間水量 (m <sup>3</sup> )	
日 本 重 化 学 工 業 (株)	3,000	1,095,000	4.30
J F E ミ ネ ラ ル (株)	9,000	3,285,000	4.30
サ ン エ ツ 金 属 (株)	3,700	1,350,500	4.30
計	15,700	5,730,500	—

### 2. 月別使用料金

(単位：円、消費税含む)

区分 月別	日本重化学工業(株)	J F E ミ ネ ラ ル (株)	サンエツ金属(株)	計
4 月	425,700	1,277,100	525,030	2,227,830
5 月	439,890	1,319,670	542,531	2,302,091
6 月	425,700	1,277,100	525,030	2,227,830
7 月	439,890	1,319,670	542,531	2,302,091
8 月	439,890	1,319,670	542,531	2,302,091
9 月	425,700	1,277,100	525,030	2,227,830
10 月	439,890	1,319,670	542,531	2,302,091
11 月	425,700	1,277,100	525,030	2,227,830
12 月	439,890	1,319,670	542,531	2,302,091
1 月	439,890	1,319,670	542,531	2,302,091
2 月	397,320	1,191,960	490,028	2,079,308
3 月	439,890	1,319,670	542,531	2,302,091
計	5,179,350	15,538,050	6,387,865	27,105,265

### 3. 供給水量の推移

(単位：m<sup>3</sup>/日)

年月日	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和
区分	33. 4. 1	36.10. 1	38.11. 1	39. 1. 1	39. 4. 1	40. 1. 1
日本重化学工業(株)	10,000	10,000	9,000	9,000	6,200	6,500
日本鋼管(株)	10,000	10,000	10,000	15,000	15,000	15,000
サンエツ金属(株)	—	—	—	—	—	—
計	20,000	20,000	19,000	24,000	21,200	21,500

年月日	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和
区分	40. 8. 1	46. 4. 1	46. 9. 1	47. 3. 1	47. 4. 1	48. 1. 1
日本重化学工業(株)	6,500	16,500	19,500	26,500	26,500	33,500
日本鋼管(株)	15,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
サンエツ金属(株)	1,600	1,600	1,600	1,600	2,600	2,600
計	23,100	39,100	42,100	49,100	50,100	57,100

年月日	昭和	昭和	平成	平成	平成	平成
区分	48. 4. 1	56. 4. 1	2. 4. 1	6. 9. 1	10. 4. 1	11. 4. 1
日本重化学工業(株)	33,500	33,500	31,800	27,030	23,530	6,000
日本鋼管(株)	27,000	27,000	25,600	21,760	21,760	20,760
サンエツ金属(株)	2,600	2,600	2,600	2,600	1,800	1,800
計	63,100	63,100	60,000	51,390	47,090	28,560

年月日	平成	平成	平成	平成	平成	平成
区分	12. 4. 1	13.10. 1	15. 4. 1	17.10.14	18. 1.10	18. 2.21
日本重化学工業(株)	6,000	5,200	3,000	3,000	3,000	3,000
JFEマテリアル(株)	20,760	18,200	18,200	23,200	23,200	18,200
サンエツ金属(株)	2,600	2,600	2,600	2,600	2,770	2,770
計	29,360	26,000	23,800	28,800	28,970	23,970

年月日	平成	平成	平成	平成	平成	令和
区分	21. 5. 1	26. 4. 1	27. 7. 1	28. 7. 1	29. 4. 1	元. 9. 1
日本重化学工業(株)	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
JFEマテリアル(株)	16,000	15,000	14,000	12,000	9,000	11,300
サンエツ金属(株)	2,600	2,600	2,600	2,600	3,700	3,700
計	21,600	20,600	19,600	17,600	15,700	18,000

年月日	令和
区分	2.12. 1
日本重化学工業(株)	3,000
JFEマテリアル(株)	9,000
サンエツ金属(株)	3,700
計	15,700

- ※ 平成11年 7月 1日 日本鋼管(株)がエヌケーケーマテリアル(株)に社名変更
- ※ 平成15年 4月 1日 エヌケーケーマテリアル(株)がJFEマテリアル(株)に社名変更
- ※ 令和 4年 4月 1日 JFEマテリアル(株)がJFEミネラル(株)に社名変更

#### 4. 料金の変せん

(単位：円/m<sup>3</sup>)

区 分	社 名	昭和 36.10. 1	昭和 38. 6. 1	昭和 40.11. 1	昭和 46. 4. 1	昭和 51.10. 1	昭和 56. 4. 1
甲 地 区	日本重化学工業(株)	0.75	1.07	1.40	2.00	2.90	4.30
乙 地 区	日本鋼管(株)、サンエツ金属(株)	—	1.07	1.97	2.20	3.10	

社 名	令和 5. 4. 1
日本重化学工業(株)、JFEミネラル(株)、サンエツ金属(株)	5.70

※ 平成元年度・9年度・26年度・令和元年度に消費税導入及び改定に伴う料金改定を実施

#### 5. 水質検査状況

##### 工業用水道の検査結果(庄川水系・石瀬)

採水年月日：令和4年5月17日

検査機関：富山県薬剤師会

項 目 名	検 査 結 果
水温	13.0℃
濁度	7.4度
pH値	7.4
アルカリ度	26.5mg/L
カリウム、マグネシウム等(硬度)	30.8mg/L
蒸発残留物	57mg/L
塩化物イオン	3.9mg/L
鉄及びその化合物	0.63mg/L

# 第 5 章

## 財 務

- 1 工業用水道事業会計の推移
- 2 貸借対照表の推移
  - (1) 資産の部（借方）
  - (2) 負債及び資本の部（貸方）
- 3 目的別原価構成
- 4 固定資産明細書
- 5 キャッシュ・フロー計算書
- 6 経営分析

## 第 5 章 財 務

### 1. 工業用水道事業会計の推移 (収益的収支は消費税抜き、資本的収支は消費税込み)

科目	年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)
収 益 的	収 入	26,485,253	100.0	28,599,688	100.0	29,023,526	100.0
	営業収益	24,641,150	93.0	26,815,230	93.8	27,054,310	93.2
	給水収益	24,641,150	93.0	26,815,230	93.8	27,054,310	93.2
	営業外収益	1,844,103	7.0	1,784,458	6.2	1,969,216	6.8
	受取利息	59,531	0.3	—	—	184,758	0.6
	長期前受金戻入	1,784,458	6.7	1,784,458	6.2	1,784,458	6.2
	雑収益	114	0.0	—	—	—	—
	消費税還付金	—	—	—	—	—	—
	支 出	30,356,670	100.0	32,857,687	100.0	35,252,753	100.0
	営業費用	30,356,670	100.0	32,816,364	99.9	35,090,752	99.5
原水費	19,730,959	65.0	23,688,964	72.1	26,145,788	74.2	
総係費	354,940	1.2	306,646	0.9	339,538	0.9	
減価償却費	10,270,771	33.8	8,820,754	26.9	8,605,426	24.4	
資産減耗費	—	—	—	—	—	—	
営業外費用	—	—	1,523	0.0	162,001	0.5	
雑支出	—	—	1,523	0.0	162,001	0.5	
特別損失	—	—	39,800	0.1	—	—	
固定資産売却損	—	—	39,800	0.1	—	—	
差引損益	△ 3,871,417	—	△ 4,257,999	—	△ 6,229,227	—	
資 本 的	収 入	—	—	220	100.0	—	—
	固定資産売却代	—	—	220	100.0	—	—
	支 出	—	—	421,200	100.0	—	—
	建設改良事業費	—	—	—	—	—	—
	固定資産購入費	—	—	421,200	100.0	—	—
	資本的収支差引額	—	—	△ 420,980	—	—	—
収 支 財 源	補 て ん 財 源	過年度分損益勘定 留保資金	—	—	389,800	—	—
	建設改良積立金	—	—	—	—	—	—
	当年度分消費税 及び地方消費税 資本的収支調整額	—	—	31,180	—	—	—
	計	—	—	420,980	—	—	—

令和3年度		令和4年度		すう勢比率				
金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)	H30年度 (%)	R元年度 (%)	2年度 (%)	3年度 (%)	4年度 (%)
26,931,450	100.0	26,489,073	100.0	100	108	110	102	100
24,641,150	91.5	24,641,150	93.0	100	109	110	100	100
24,641,150	91.5	24,641,150	93.0	100	109	110	100	100
2,290,300	8.5	1,847,923	7.0	100	97	107	124	100
2,082	0.0	2,608	0.0	100	—	310	3	4
1,784,458	6.6	1,784,458	6.8	100	100	100	100	100
503,760	1.9	60,857	0.2	100	—	—	441,895	53,383
—	—	—	—	—	—	—	—	—
32,230,209	100.0	35,933,495	100.0	100	108	116	106	118
32,230,209	100.0	35,933,495	100.0	100	108	116	106	118
23,464,478	72.8	27,131,969	75.5	100	120	133	119	138
454,917	1.4	344,800	1.0	100	86	96	128	97
8,310,814	25.8	8,264,446	23.0	100	86	84	81	80
—	—	192,280	0.5	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
△ 5,298,759	—	△ 9,444,422	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	1,100,000	100.0	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	1,100,000	100.0	—	—	—	—	—
—	—	△ 1,100,000	—	—	—	—	—	—
—	—	1,000,000	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	100,000	—	—	—	—	—	—
—	—	1,100,000	—	—	—	—	—	—

## 2. 貸借対照表の推移

### (1) 資産の部（借方）

科目	年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)
固定資産		191,162,584	31.4	182,691,830	30.3	174,086,404	29.3
(1)有形固定資産		191,162,584	31.4	182,691,830	30.3	174,086,404	29.3
土地		4,333,660	0.7	4,333,660	0.7	4,333,660	0.7
建物		173,086	0.0	144,020	0.0	114,959	0.0
構築物		151,857,366	25.0	144,908,032	24.0	137,981,376	23.3
機械及び装置		34,385,352	5.7	32,779,518	5.5	31,173,684	5.2
量水器		85,000	0.0	390,000	0.1	346,125	0.1
車両運搬具		297,920	0.0	106,400	0.0	106,400	0.0
工具器具及び備品		30,200	0.0	30,200	0.0	30,200	0.0
流動資産		417,409,031	68.6	420,173,612	69.7	419,149,642	70.7
(1)現金及び預金		415,146,097	68.2	417,531,572	69.3	416,844,851	70.3
(2)未収金		2,260,234	0.4	2,639,340	0.4	2,302,091	0.4
営業未収金		2,260,234	0.4	2,639,340	0.4	2,302,091	0.4
営業外未収金		—	—	—	—	—	—
(3)前払費用		2,700	0.0	2,700	0.0	2,700	0.0
資産合計		608,571,615	100.0	602,865,442	100.0	593,236,046	100.0

### (2) 負債及び資本の部（貸方）

科目	年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)	金額 (円)	構成比率 (%)
固定負債		28,274,516	4.6	28,770,589	4.7	23,552,868	3.9
(1)引当金		28,274,516	4.6	28,770,589	4.7	23,552,868	3.9
退職給付引当金		16,281,616	2.7	16,777,689	2.8	17,179,968	2.9
修繕引当金		11,992,900	1.9	11,992,900	1.9	6,372,900	1.0
流動負債		1,748,162	0.3	1,588,373	0.3	5,190,383	0.9
(1)未払金		1,016,207	0.2	824,230	0.2	4,413,134	0.8
営業未払金		169,907	0.0	176,830	0.0	1,071,434	0.2
営業外未払金		846,300	0.2	647,400	0.2	178,700	0.0
その他未払金		—	—	—	—	3,163,000	0.6
(2)引当金		731,955	0.1	764,143	0.1	777,249	0.1
賞与引当金		731,955	0.1	764,143	0.1	777,249	0.1
繰延収益		53,722,121	8.8	51,937,663	8.6	50,153,205	8.5
(1)長期前受金		73,434,464	12.1	73,434,464	12.2	73,434,464	12.4
(2)長期前受金額 収益化累計		△ 19,712,343	△ 3.3	△ 21,496,801	△ 3.6	△ 23,281,259	△ 3.9
資本金		447,834,651	73.6	447,834,651	74.3	447,834,651	75.5
(1)自己資本金		447,834,651	73.6	447,834,651	74.3	447,834,651	75.5
剰余金		76,992,165	12.7	72,734,166	12.1	66,504,939	11.2
(1)資本剰余金		—	—	—	—	—	—
(2)利益剰余金		76,992,165	12.7	72,734,166	12.1	66,504,939	11.2
減債積立金		15	0.0	15	0.0	15	0.0
利益積立金		62,213,567	10.2	58,342,150	9.7	47,854,924	8.1
建設改良積立金		18,650,000	3.1	18,650,000	3.1	18,650,000	3.1
未処分利益剰余金		—	—	—	—	—	—
未処理欠損金		△ 3,871,417	△ 0.6	△ 4,257,999	△ 0.7	—	—
負債・資本合計		608,571,615	100.0	602,865,442	100.0	593,236,046	100.0

令和3年度		令和4年度		す う 勢 比 率				
金 額 (円)	構成比率 (%)	金 額 (円)	構成比率 (%)	H30年度 (%)	R元年度 (%)	2年度 (%)	3年度 (%)	4年度 (%)
165,775,590	28.3	158,318,864	27.4	100	96	91	87	83
165,775,590	28.3	158,318,864	27.4	100	96	91	87	83
4,333,660	0.7	4,333,660	0.8	100	100	100	100	100
114,959	0.0	114,959	0.0	100	83	66	66	66
131,320,271	22.5	124,558,886	21.6	100	95	91	86	82
29,567,850	5.1	28,916,384	5.0	100	95	91	86	84
302,250	0.0	258,375	0.0	100	459	407	356	304
106,400	0.0	106,400	0.0	100	36	36	36	36
30,200	0.0	30,200	0.0	100	100	100	100	100
419,116,542	71.7	418,703,974	72.6	100	101	100	100	100
416,811,751	71.3	416,397,983	72.2	100	101	100	100	100
2,302,091	0.4	2,302,091	0.4	100	117	102	102	102
2,302,091	0.4	2,302,091	0.4	100	117	102	102	102
—	—	—	—	—	—	—	—	—
2,700	0.0	3,900	0.0	100	100	100	100	144
584,892,132	100.0	577,022,838	100.0	100	99	97	96	95

令和3年度		令和4年度		す う 勢 比 率				
金 額 (円)	構成比率 (%)	金 額 (円)	構成比率 (%)	H30年度 (%)	R元年度 (%)	2年度 (%)	3年度 (%)	4年度 (%)
24,195,128	4.1	25,209,840	4.4	100	102	83	86	89
24,195,128	4.1	25,209,840	4.4	100	102	83	86	89
17,822,228	3.0	18,836,940	3.3	100	103	106	109	116
6,372,900	1.1	6,372,900	1.1	100	100	53	53	53
3,287,426	0.5	5,632,300	1.0	100	91	297	188	322
2,503,395	0.4	4,857,166	0.9	100	81	434	246	478
2,169,895	0.4	4,487,566	0.8	100	104	631	1,277	2,641
333,500	0.0	369,600	0.1	100	76	21	39	44
—	—	—	—	—	—	—	—	—
784,031	0.1	775,134	0.1	100	104	106	107	106
784,031	0.1	775,134	0.1	100	104	106	107	106
48,368,747	8.3	46,584,289	8.1	100	97	93	90	87
73,434,464	12.6	73,434,464	12.7	100	100	100	100	100
△ 25,065,717	△ 4.3	△ 26,850,175	△ 4.6	100	109	118	127	136
447,834,651	76.6	447,834,651	77.6	100	100	100	100	100
447,834,651	76.6	447,834,651	77.6	100	100	100	100	100
61,206,180	10.5	51,761,758	8.9	100	94	86	79	67
—	—	—	—	—	—	—	—	—
61,206,180	10.5	51,761,758	8.9	100	94	86	79	67
15	0.0	15	0.0	100	100	100	100	100
42,556,165	7.3	33,111,743	5.7	100	94	77	68	53
18,650,000	3.2	18,650,000	3.2	100	100	100	100	100
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	100	110	—	—	—
584,892,132	100.0	577,022,838	100.0	100	99	97	96	95

### 3. 目的別原価構成

(消費税抜き)

科目	年度	令和3年度			令和4年度		
	契約水量	5,730,500 m <sup>3</sup>			5,730,500 m <sup>3</sup>		
	金額	金額 (円)	構成比率 (%)	1m <sup>3</sup> 当たり (円)	金額 (円)	構成比率 (%)	1m <sup>3</sup> 当たり (円)
給料		5,960,364	18.5	1.04	6,280,596	17.5	1.10
手当等		1,991,804	6.2	0.35	1,694,508	4.7	0.30
賞与引当金繰入額		784,031	2.4	0.13	775,134	2.2	0.13
法定福利費		1,436,298	4.5	0.25	1,454,769	4.1	0.25
退職給付費		1,203,668	3.7	0.21	1,588,984	4.4	0.28
人件費計		11,376,165	35.3	1.98	11,793,991	32.9	2.06
減価償却費		8,310,814	25.8	1.14	8,264,446	23.0	1.13
資産減耗費		0	0.0	0.00	192,280	0.5	0.03
動力費		8,094,160	25.1	1.41	9,385,159	26.1	1.64
委託料		1,700,373	5.3	0.30	1,693,473	4.7	0.30
維持管理費		1,658,000	5.1	0.29	3,946,450	11.0	0.69
通信運搬費		168,227	0.5	0.03	185,806	0.5	0.03
その他		922,470	2.9	0.16	471,890	1.3	0.08
合計		32,230,209	100.0	5.31	35,933,495	100.0	5.96

※ 維持管理費 = 修繕費 + 漏水修理費 + 工事請負費

※ 費用合計 = 経常費用 - 受託事業費 - 不用品売却原価

※ 給水原価の算出では、減価償却費から長期前受金戻入分を除く。

### 4. 固定資産明細書（令和5年3月31日現在）

(単位：円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末 償却未済高
					当年度 増加額	当年度 減少額	累計	
土地	4,333,660	0	0	4,333,660	0	0	0	4,333,660
建物	2,606,062	0	0	2,606,062	0	0	2,491,103	114,959
構築物	414,439,437	0	920,000	413,519,437	6,661,105	819,720	288,960,551	124,558,886
機械及び装置	165,670,817	1,000,000	920,000	165,750,817	1,559,466	828,000	136,834,433	28,916,384
量水器	390,000		0	390,000	43,875	0	131,625	258,375
車両運搬具	1,064,000	0	0	1,064,000	0	0	957,600	106,400
工具器具備品	426,000	0	0	426,000	0	0	395,800	30,200
合計	588,929,976	1,000,000	1,840,000	588,089,976	8,264,446	1,647,720	429,771,112	158,318,864

## 5. キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項目	年度	令和4年度 決算	令和3年度 決算	増減(△)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
当年度純利益(△純損失)		△ 9,444,422	△ 5,298,759	△ 4,145,663
減価償却費		8,264,446	8,310,814	△ 46,368
引当金の増加額(△減少)		1,005,815	649,042	356,773
長期前受金戻入額		△ 1,784,458	△ 1,784,458	0
固定資産除却損		192,280		192,280
固定資産売却損・益(△)				0
受取利息収入(△)		△ 2,608	△ 2,082	△ 526
支払利息				0
未収金の増加(△)・減少額				0
未払金の増加・減少(△)額		2,353,771	△ 1,909,739	4,263,510
その他の流動資産の増加(△)・減少額		△ 1,200		△ 1,200
その他の流動負債の増加・減少(△)額				0
小 計		583,624	△ 35,182	618,806
利息受取額		2,608	2,082	526
利息支払額				0
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		586,232	△ 33,100	619,332
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
固定資産取得・建設改良事業等実施額		△ 1,000,000		△ 1,000,000
固定資産取得・建設改良実施に係る補助金等収入				0
固定資産売却収入				0
投資				0
他会計からの繰入金による収入				0
投資活動に伴う前払金等の債権の増加(△)・減少額				0
投資活動に伴う未払金等の債務の増加・減少(△)額				0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		△ 1,000,000	0	△ 1,000,000
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
建設改良等に係る企業債による収入				0
建設改良等に係る企業債償還による支出				0
他会計貸付金による支出				0
他会計貸付金の返済による収入				0
他会計からの出資による収入				0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		0	0	0
<b>IV 資金増加額(又は減少額)</b>		△ 413,768	△ 33,100	△ 380,668
<b>V 資金期首残高</b>		416,811,751	416,844,851	△ 33,100
<b>VI 資金期末残高</b>		416,397,983	416,811,751	△ 413,768

## 6. 経営分析

(金額：円)

項	目	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和3年度 全国平均
契約率	$\frac{\text{一日契約水量 (年度末契約水量)}}{\text{一日施設能力}} \times 100$	%	26.2	30.0	26.2	26.2	$\frac{15,700}{60,000}$		78.5
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	%	87.2	87.0	82.3	83.6	$\frac{26,489,073}{35,933,495}$		127.2
営業収支率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託事業収益}}{\text{営業費用}-\text{受託事業費}} \times 100$	%	81.2	81.7	77.1	76.5	$\frac{24,641,150}{35,933,495}$		114.8
自己資本 回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託事業収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本}) \div 2}$	回	0.0	0.0	0.0	0.0	$\frac{24,641,150}{551,795,138}$		0.1
未収金 率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託事業収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金}) \div 2}$	回	10.9	10.9	10.9	10.7	$\frac{24,641,150}{2,302,091}$		9.1
総利益 率	$\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本}) \div 2} \times 100$	%	△ 0.6	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.9	$\frac{\Delta 9,444,422}{580,957,485}$		1.7
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	%	23,877	26,453	8,076	12,749	$\frac{418,703,974}{5,632,300}$		860.9
固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}} \times 100$	%	31.4	30.3	29.3	28.3	$\frac{158,318,864}{577,022,838}$		74.6
固定資産 対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	%	31.5	30.4	29.6	28.5	$\frac{158,318,864}{571,390,538}$		76.9
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$	%	33.0	31.9	30.8	29.7	$\frac{158,318,864}{546,180,698}$		99.3
自己資本 構成比率	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	%	95.1	95.0	95.2	95.3	$\frac{546,180,698}{577,022,838}$		75.2
固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	%	4.6	4.8	4.0	4.1	$\frac{25,209,840}{577,022,838}$		21.9
流動資産 回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託事業収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産}) \div 2}$	回	0.1	0.1	0.1	0.1	$\frac{24,641,150}{418,910,258}$		0.3

※ 一日契約水量・一日施設能力の単位は、m<sup>3</sup>/日

※ 自己資本＝資本金・剰余金・評価差額等・繰延収益の合計

※ 総資本＝負債・資本の合計

注) 令和3年度全国平均は、総務省編「地方公営企業年鑑」の工業用水道事業(市)の平均値。

## 第 6 章

# 経 営 目 標

### 1 経営目標と年度別実績

## 第6章 経営目標

### 1. 経営目標と年度別実績

業務指標名		業務指標の定義	業務評価	令和3年度	令和4年度	令和8年度 経営目標値
経営の健全性	経常収支比率 (%)	経常収益／経常費用×100	↑	83.6	73.7	102.8
	累積欠損金比率 (%)	累積欠損金／(営業収益－受託工事収益)×100	↓	0	0	0
	流動比率 (%)	流動資産／流動負債×100	↑	12,749	7,434	35,087
経営の効率性	料金回収率 (%)	供給単価／給水原価×100	↑	81.0	72.1	102.8
	給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	経常費用－(受託事業費＋不用品売却原価＋附帯事業費)－長期前受金戻入／年間総有収水量	↓	5.31	5.96	6.8
施設の効率性	契約率 (%)	一日契約水量／一日配水能力×100	↑	26.2	26.2	26.2
	有収率 (%)	年間総有収水量／年間総配水量×100	↑	94.6	95.5	90.4
施設管理	有形固定資産減価償却率 (%)	有形固定資産減価償却累計額／有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価×100	↑	72.4	73.6	76.2
	管路経年化率 (%)	法定耐用年数を超えている管路延長／管路延長×100	↓	53.3	53.3	53.3
	管路更新率 (%)	更新された管路延長／管路延長×100	↑	0.0	0.0	0.0
	管路の耐震化率 (%)	耐震管延長／管路延長×100	↑	0.6	0.6	0.6

※ 業務評価記号の凡例

↑…高いほど良い    ↓…低いほど良い